ドイツ物語

東京 合資會社 三友社發兌

ドイツ物語

樫葉勇著

ミュンヘン市街

合資會社
東京三友社發行

はしがき

日本と仲よしの國はどこかと問はれたら、皆さんは誰でも滿洲國とドイツとイタリーだと答へるでせう。日本とドイツとイタリーは、防共協定といふかたい約束を結んで、互に力を合せて目に見えない共產主義といふ恐ろしい惡魔の手から世界を救はうとしてゐます。

ですから私たちは、ぜひこの日本と仲よしであるドイツやイタリーのことをよく知つてゐなければなりません。皆さんは自分のお友だちのことはよく知つてゐるやうに、日本のお友だちのことをはつきり知つておくことは非常に大切なことなのです。

そこで私はこの本の中で、日本と仲よしの國の一つであるドイツのことを皆さんにお話しようと思ひます。皆さんの知りたいこと、知らねばなら

ないことがすつかりこの本の中に書かれてゐます。たゞドイツの地理や歴史だけではありません。ヒツトラーをはじめ偉人のお話や傳說や童話その他珍しい話、面白い話がどつさりあつて、それを讀んでゐるうちに、今のドイツの姿がはつきりと皆さんの目にうつつてくるのです。はる〳〵日本へ訪ねてきたヒツトラー・ユーゲントとはどんなものか、ドイツの少年少女たちはどんなことをしてゐるか、そして日本の皆さんはどうしなければならぬか、それはこの本がくわしく物語つてゐます。

この本を讀んで下さつた皆さんは、きつとドイツからいろ〳〵なことを學んで下さるでせう。そしてドイツの少年少女たちにまけないやうに、しつかりしなければならないと考へるでせう。

昭和十三年夏　　ヒツトラー・ユーゲント來訪の日

著　者

目次

ドイツの物語

樫葉勇著

一 車中の出來事

ひどい風雨の日でした。私は長野から汽車に乘つて東京へかへつて來ましたが、お客は全部で僅か二三十人で、汽車がどの驛に停つても降りる人も乘る人もほとんどありませんでした。碓氷峠のトンネルを越えて、近くに溫泉のある小さい驛からやつと五六人のお客が乘りましたが、その中にお母さんにつれられた尋常三年生か四年生位の男の子がありました。その子供とお母さんは私のすぐそばに座りましたので、今までさみしくてたまらなかつた私は何となく心がにぎやかになりました。この子供は多

分からだが弱いので、溫泉にゐたのでせう、まだあをい顔をしてあまり元氣のない樣子でした。

やがてまもなく汽車が高崎驛に着くと、私も子供も思はず窓をあけてホームを見ました。といふのは、ホームで盛んに「萬歳々々」の聲が聞えたからです。出征なさるんだなと思ひながら、聲の方を見ますと、何十人何百人といふ見送り人に、ごあいさつをしてゐるのは一人の應召兵です。

「萬歳！」のどよめきが又一しきり起りました。もう一度見送り人に頭を下げた一人の應召兵は、私たちの乘つてゐる車に入つて來て、私たちのすぐ近くの窓をあけて顔を出しました。萬歳の聲が次から次へと起つて辨當やお茶の驛賣の聲がすつかりそれに消されてしまひました。雨はまだ強く降つてゐるのですが、その雨がホームの屋根をうつ音もほとんど氣がつかぬ位です。

いよ〱發車しました。萬歳の聲はいつまでも汽車を追つかけて來ました。しかし

雨が窓から飛びこむので、兵隊さんはもう一度つき出した頭を下げてから窓をしめて私の近くへ座りました。すると今まで元氣のなささうな顏をしてゐたさつきの男の子が、いかにもうれしさうに、兵隊さんのそばに近づいて、

「兵隊さん、戰爭に行くの。」

とふいに尋ねてゐました。兵隊さんは突然なので、一寸驚いたやうでしたが、見れば可愛い子供ですから、

「さうだ、戰爭に行くんだよ。」

といつて笑つてゐました。

「どつちの方へ行くの。」

「さあ、それはわからないね。」

すると子供はお母さんのところにもどつて、何かしきりとささやいてゐましたが、まもなく小さいお煎餅の罐を持つて又兵隊さんのそばへ走つて行き、

「兵隊さん、これ上げよう。」

といつてそれをさし出しました。

「ありがたう、いたゞいていゝのですか。」

「えゝ、僕のお土產に買つていただいたんだけれど、兵隊さんに上げます。兵隊さん、戰爭に行つたらお國のためにしつかり働いて下さい。」

「ありがたう、小父さんはこのお煎餅をたべてしまつても、坊ちやんの言葉は忘れない。きつと惡い支那兵を退治てやります。」

兵隊さんのいせいのいゝ言葉に、子供の目はうれしさうにかがやいてゐました。そしてお母さんのところへもどつて、

「お母さん、兵隊さんに上げて來たよ。」

とにこ〳〵しながら話してゐました。

そばで見てゐた私も何だかうれしくなりました。尙も子供の樣子に注意してゐると

子供は、又お母さんのそばをはなれてちよこ〳〵と車内を走つて行つたかと思ふと、腰をかがめて何か拾つてゐるのです。お金でも拾つたのかと思つてゐると、子供の拾つたのはそこに捨てられてゐた煙草の銀紙でした。

「お母さん、銀紙が落ちてゐました。」

子供はそれをお母さんに見せてから自分のポケットに入れました。私は何といふ心掛のよい子供かとすつかり感心してしまひました。

まもなく子供からお煎餅をもらつた兵隊さんが、お母さんのそばに近づいて來て、

「たゞ今、どうもありがたうございました。」

とていねいにお禮をいつてゐました。この子供とは反對にいかにも血色のよい、三十五六と見えるお母さんは少し氣まりわるさうに、

「いえ、どうも子供が失禮しました。この子は兵隊さんさへ見ると、勝つて下さいと聲をかけないではゐられないのです。子供でございますが、今度の事變が、どれ

ほど重大なことかよくわかつてゐると見えまして、決して無駄遣ひはしませんし、釘一本落ちてゐても拾つてあつめて置くといふほどで、私どもの方が恥づかしい位でございます。今さし上げたお煎餅も親類の方からいたゞいたもので、自分からは何一つ買ひたいなど丶申しません。」

「さうですか、それは感心ですね、小父さんも坊ちやんに負けないやうに、しつかりやつて來ます。」

「あの、失禮ですが、お名前を伺ひたいのですが……、あとで又この子が慰問袋をお送りしますから……」

「はい、ありがたうございます。」

見も知らぬ人からのこの親切に、兵隊さんは目を涙にうるませて、小さい紙片に自分の宛名を書いて子供に渡してゐました。私もさつきからの様子を見てゐて、いつのまにか目頭があつくなつて來ました。

それから汽車が上野へ着くまでに兵隊さんと子供はすつかり仲よしになつてしまひましたが、私もいつのまにかその仲間に入つてゐたのです。

うつかり私はその子供の名も學校もきいておきませんでしたが、その子供の姿が兵隊さんと一しよにいつも目の前に浮んで來ます。

こんな汽車の中の小さい出來事ですが、私は思ひ出す每にうれしくてたまらないのです。この兵隊さんの心は取りもなほさず、戰場に出てゐる日本の兵隊さんみんなの心であるし、この子供の心は銃後の國民全部の心です。戰線の勇士の心と銃後の國民の心を、汽車の中で目の前に見た私は、何となく一そう頼もしい氣がしました。

皆さんもきつとこの私の出會つた子供と同じ心にちがひありません。この子供と同じやうに、今の日本の非常時がどんなに重大な時であるかをよく知つてゐるにちがひありません。そしてめい／＼お國のために一生けんめいつくしてゐること〻思ひます。

日本は勝つにはきまつてゐますが、事變がいつまでつづくかわからないのです。ながくつゞけばつゞくほど、いろ〳〵な品物が足りなくなります。しかし戰爭に必要なものはどうしてもとゝへなければなりませんから、國民はどこまでも不自由をしのんで、どんなつらいこと、苦しいことがあつても決してそれにまけないやうに、東洋平和をうち立てるといふ目的に向つて眞直進んで行かねばなりません。

皆さんも知つてゐる通り木綿も羊毛も革も鐵もその他いろ〳〵な品物がもうこれから自由に買へないことになりました。鉛筆をけづりたいと思つてもむやみに新らしいナイフを買ふことが出來ません。毬投げをしたいと思つてもゴムマリは一寸手に入らなくなりませう。ランドセルも靴も先づ新らしい物は買へないと思はねばなりません。

しかし今の私たちの不自由さ位は何でもないのです。今から凡そ二十年前世界大戰で敗れた後のドイツのことを思へば、こんなこと位で辛いとか不自由だとかいつたらほんとに恥づかしいことです。

日本はありがたいことに食べる物だけは國內で產出しますから、たとへいくらながく戰爭がつづいても、お米や魚には先づ不自由しないのですが、大戰後のドイツなんかと來たらそれは〳〵大變なことでした。

「小母さん、パンを一つ下さいな。」

と皆さんが五錢玉か十錢玉を一つ持つて行けばおいしいパンが一つか二つ買へるでせうが、大正十二年頃のドイツではパン一切を買ふために、一マルク紙幣ならトラックに一ぱい積んで行かねばならないといふまるで噓のやうな話です。

日本の一圓がこの頃ドイツでは二兆二千億マルクであつたといふことですが、これはどれだけの紙幣だか想像が出來ますか。若し一マルクの紙幣を積み重ねるとすると富士山を五萬八千位重ねた高さになるのですから大變なものです。それが日本のたつた一圓の値打しかないとは實に驚いたことではありませんか。

この位ですから思ふやうに食事が出來る筈もありません。ワラを食べたり、酵母と

云ふ一種のバイキンで牛肉のやうなものをつくつて食べたりしました。今の日本に品物が足りないどころの話ではなかつたのです。それでドイツがどんなにみじめであつたか、どんなにあはれであつたかがわかると思ひますが、こんなに苦しみの底につき落されても、ドイツは決して滅びはしませんでした。それどころか再び世界の強國として立ち上つて來たのです。ドイツ人のからだの中には祖先からうけついで來たドイツ魂が宿つてゐたのです。そしてこのドイツ魂を呼びさまし、新ドイツ國家を建設したのはいふまでもなく、アドルフ・ヒツトラーその人であります。全く新ドイツはヒツトラーとともに生れたといつてもよいのですが、ドイツにもやはり歴史があります。今のドイツがひよつこり急に出來上つたのではなくて、ながい歴史の土臺の上にきづかれたのです。しかしあまり古いことからお話してはかへつてむづかしくなりますから、略しておきませう。

二　フレデリック大王

大王とお婆さん

今から二百年程前に、今のドイツの中にプロシヤといふ國が興つて、フレデリック大王といふえらい王様が出ました。大王は幼い頃から人にすぐれた智慧をもつてゐましたので、お父さんの王様は、今にこの子はりつぱな王様になるにちがひないとたのしんでゐましたが、大きくなるにつれて、悪い友だちと交はつてだん／＼なまけ者になり、きれいな着物を着て横笛を吹いて喜んでゐました。「朱に交はれば赤くなる」といふ諺がありますが、友だちの感化は實におそろしいものです。父の王様が非常に心配してどうかして悪い癖をなほしたいと思ひ、大王を牢屋のやうな要塞の中に入れて數年の間大變苦しい生活をさせました。その結果忍耐強い勇氣のあるりつぱな若者となつたので父の王様は安心して位をゆづつたのが大王の二十八の時であつたのです。

大王はお父さんのあとをついで一層政治に心を用ひ、オーストリヤやその他の國々と戰つて國威を輝かし、見る／＼プロシヤがヨーロツパ强國の一つに數へられるやうになりました。

フレデリツク大王

　大王は一方ではなか／＼きびしいところがありましたが、一方ではやさしい情深いところがあつて、今尙名君つまり、りつぱな王樣として尊敬されてゐます。それについてこんな面白い話があります。

　或る時大王がシレツツエンといふ所からベルリンに行く途中、一人のお婆さんが、人々の止めるのもきかず大王の馬車に近づいて行きましたので、おつきの者がさん／″＼お婆さんの無禮を叱りつけました。そのとき大王は馬車をとめさせて、

「何か用があるのか。」

と言葉やさしくお尋ねになりました。するとお婆さんは、
「私は長い間一度でもいいから王様のお顔を拜みたいと思つてをりましたが、幸今日はここでお迎へすることが出來ました。けれどもお車との間があまり遠くて、目の惡い私にはよく拜まれませんので、思はずお車に近づいて、御無禮を致しました。どうぞお許し下さいませ。」
お婆さんの言葉をおききになつた大王は、何と思つたか自分のポケットから一つの銀貨を取り出し、
「朕は今急ぎの用であるから、ゆつくりお前に顔を見せてやることが出來ない。しかしお前の望みをむだにするのもかはいさうだから、この銀貨をお前に與へる。この銀貨の面に刻まれてゐるのは朕の顔だから、よく見るがよい。」
といつて、銀貨をお婆さんに與へると急いで馬車を走らせました。
一寸したこの一つのお話で大王がどんな人だつたかわかるではありませんか。

フレデリック大王の前に、我が國の平安朝時代の始の頃、オットー大帝といふえらい王様が出て、ドイツは非常な勢で榮えたことがありましたが、それからはこのオットー大帝の帝國もだん／＼亂れて、フレデレック大王の頃までながい間は殆ど名ばかりの國となつてしまつてゐたのですから、フレデリック大王の力によつて、ドイツは生れ代つたのです。

ポーランドの分割

このフレデリック大王が出たのは十八世紀のことですが、この頃のヨーロッパの有様はどうだつたのでせう。これから前十六世紀の頃にはスペインやポルトガルが非常な勢で盛んに海外に發展し、我が國にも來たことがありますが、その後だん／＼衰へ、それに代つたのはイギリスやフランスです。イギリスは十六世紀の末に、スペインの無敵艦隊を小艦隊で以て擊ち破つてから、非常な勢で海軍が發達し、商業も盛んとなつて、しきりに海外に手を伸し、その頃小さいながら海外で活躍してゐたオラン

ダを追ひ越すほどになりました。

フランスも十七世紀の半頃からは實に物すごいほど榮えるし、今まであまりヨーロツパの歴史の上に出て來なかつたロシャがペートル大帝の頃からめき／＼と強くなり遠くシベリヤにまで勢をのばすやうになりました。フレデリツク大王の出たのはちようどこの頃のことです。

つまりその頃までヨーロツパで盛んであつたスペイン、ポルトガル、それからスヱーデンやポーランドがすつかり昔の面影がなくなり、イギリス、フランス、ロシヤ、プロシヤがこれに代つてしまつたのですが、この中で殊にあはれなのはポーランドです。

ポーランドといふ國は中世の頃から、東ヨーロツパの大國として威勢をふるつてゐたのですが、十六世紀の半頃からだん／＼衰へ出したところへ、ロシヤが新に頭を持ち上げて來たのです。ロシヤにはペートル大帝の後にカザリン二世といふ女の皇帝が

人ですから、どつか領地をひろめるところがないかと、慾深い目で四方を見まはしたとき、先づカザリンの目にうつつたのはポーランドでした。そこでカザリンはだん／＼とポーランドに手を伸し始めたのですが、それをぢつとながめてゐられないものがありました。それがプロシヤのフレデリック大王で、大王はカザリンだけにポーランドを取られてしまつては大變だと思つて、オーストリアをさそひ、カザリンと相談して、三國でよつてたかつてポーランドを分けてしまひました。ポーランドにもコシユーシコといふやうな愛國心に燃えた人がゐて義兵をあげましたが、強い三國の前にはどうすることも出來ず、ポーランドといふ國が、全くヨーロツパの地圖から消えてしまひました。

それといふのもポーランドの國民が互に相爭つて一致しなかつたからで、若し擧國一致して外敵を防いでゐたら、こんな憐な滅亡を見ずにすんだでせう。

三　ベートーベンの話

十八世紀の文明

こんなお話をくわしくしてゐると大變長くなりますが、兎に角ヨーロッパには、イギリス、フランス、プロシヤ、オーストリア、ロシヤ等の强國が現れて、互に物すごい勢力爭ひをしてゐるかと思ふと、同じ國の中で謀叛を起して新しい國を建てるものもあつたりして、平和な時が殆どない位でありましたが、その間にも文明は絶えず進んでゐたのです。さうして各國からはいろ〳〵な學者や文學者や藝術家等がたくさん出ましたが、其の中でドイツの大哲學者カントの名はどうしても忘れることが出來ません。

哲學といふのはどんな學問か、皆さんにはむづかしいでせうが、カントは實に偉大な學者でした。プロシヤのケーニッヒベルヒに生れて、十六歳の時その土地の大學で勉

強しました。卒業してからその大學の先生になつて一生學問のために身を捧げた人です。カントは非常に規則正しい人で散歩の時間さへちやんときまつてゐて、一生の間たつた一度か二度の外は決して時刻をまちがへたことがないといふほどでした。ですから町の人々はカントを時計の代りにしてゐました。

カント

「カント先生が通るから今何時だ。」といふ風にカントの散歩姿を見ては正しい時間を知つたさうですが、時計より正しかつたにちがひありません。

この頃は又グーテやシルレルといふ名高い文學者が出ました。イギリスのシェーキスピアとともに不朽の名を殘してゐます。今はまだむづかしいかも知れませんが、も

つと大きくなつたら、皆さんもゲーテやシルレルの作つたものを讀めるやうになりませう。

小學校國語讀本の巻十一に「月光の曲」といふ物語の出てゐるのを知つてゐますか。この「月光の曲」を作つたのはやはりドイツの人で、ベートーベンです。ベートーベンはドイツの生んだ最も名高い大音樂家です。

「月光の曲」やその他ベートーベンの作つた曲が時々ラヂオでも放送されますからよく注意してゐて下さい。こんなえらい音樂家の一生の中には、私たちが學ばねばならないことがいくらもあるだらうと思ひますから、少しベートーベンのお話をいたしませう。

びつしよぬれのベートーベン

ベートーベンといふのはこの人の姓で、その名はルドウヰヒといひました。今から百七十年ほど前、一七七〇年に、ドイツの西の方を流れる有名なライン河の岸にあるボ

なり尊敬されてゐましたが、給料が安かつたので非常に貧乏な生活をしてゐました。
ンといふ都會で生れました。お父さんは王宮に仕へた音樂家であつて、世の中からか

ルドウヰヒはその人の次男なのです。

お父さんは大變嚴格なやかましい人で、ルドウヰヒをりつぱな音樂家に育てたいと思つて、四つの時から自分でピアノを敎へましたが、その稽古のはげしいこと、朝から晩まで休みなし、父子と思へないほどのきびしさでした。まだ小さいルドウヰヒはあまりの辛さに泣いたことが何度あつたか知れないが、その度にやさしいお母さんに慰められるのでした。

しかしお父さんのきびしい稽古とベートーベンの一心不亂の勉强とで九つの時にはもうお父さんの力では敎へられないほどの腕前になりました。そこでお父さんはもつと偉い先生に賴んでこの子を仕込んでもらひました。ベートーベンも益々勵み勉めたので、たつた十二の時、その頃有名だつた王宮音樂師のネーフェ先生の代理をつとめ

る位になりました。實に驚くべきことであります、これはベートーベンが人に勝れた天分をもつてゐたからでありませうが、いくら天才があつても、もしベートーベンが普通の勉強をしてゐたのだつたら、こんなにも早く上達しなかつたでありませう。
十七歳になつた時、ネーフエ先生と別れてオーストリアの都ウイーンに出かけました。といふのはこの市にはその頃世界第一の音樂家といはれたモザルトがゐたからです。モザルトはかね〴〵ベートーベンの噂を聞いてゐたので、初めて會つたとき、
「今すぐ何でも思ひついたことを作曲しながら彈いてごらんなさい。」
と命じましたが、ベートーベンは即座に見事に一曲を彈き終りました。それがあまりりつぱに出來たので、モザルトは、
「これは今ここで作つたのでなく、前から作つておいたのにちがひない。」
といつてほんとにしません。そこでベートーベンは、
「それでは何か題をお出し下さい。それで一曲作つてみますから。」

といふので、モザルトが題を出しますと、ベートーベンはすぐりつぱに一曲を作り上げました。モザルトはすつかり感心して、

「この人は今に世界第一の音樂家になるにちがひない。」

といつて驚いたのです。

ベートーベンはここでモザルトの敎を受けたいと思つてゐましたが、不幸にも故郷にゐるお母さんが危篤であるといふ知らせが來ましたので、母思ひのベートーベンは急いで飛んで歸つたら、お母さんは今にも息を引き取るところでありました。

二十二歳の時、再びウヰーンに行き、それから後一生ここで暮しました。二度目に行つた時にはもうモザルトはこの世にゐなかつたが、モザルトとならんで有名だつたハイドンといふ老音樂家に知られ、その敎を受けることになりました。しかしそれもたつた二年間で、ベートーベンが二十四歳の時先生のハイドンが英國へ行つてしまつたので、ベートーベンはそれから自分一人で一本立ちになつて世の中に出ることにな

りました。その頃にはもうウィーンの市ではベートーベンを知らないものがない位で、貴族やお金持は爭つてベートーベンの音樂を聞かうとしました。

ベートーベン

ベートーベンはさつきもいつた通り生れつき音樂の才能が勝れてもゐたが、又實に熱心に勉強しました。毎日五時間も六時間もつづけてピアノの稽古をするものですから、指の頭が熱くなる、すると水の中に指をつつこんで又すぐと練習する、曲がはげしいところになるとからだをふり動かしては指を水入れの中につつこむので、水入れがひつくりかへつて部屋中水だらけにしてしまふこともありました。こんなとき下宿のおかみさんが小言をいはうも

のなら、ベートーベンはその日の中にさつさと引つ越してしまふのでした。

ベートーベンは毎日散歩に出かけるが、歩きながら作曲を考へてゐます。どんなに雨が降つても、びつしよぬれになつて平氣で歩いてゐたから近所の子供たちは「びつしよぬれのベートーベン」と呼んでゐました。いつも汚い古い帳面を一冊持つてゐて何か作曲の考が浮ぶと、食事中だらうが、人と話をしてゐる最中だらうが、どこでもおかまひなしにすぐ古帳面に作曲を書きつける、時には人や車のはげしく通る街の眞中に立ち止つて、氣狂ひのやうに帳面に何か書いてゐる姿を見受けることもあつたといふことです。

ベートーベンがこんなに熱心に勵んだものですから、りつぱな作曲がたくさん出來て、その名を世界に輝かすやうになつたのです。しかし何といふ悲しいことでせう。三十を過ぎてからだん〳〵耳が惡くなり遂に全く聾になつてしまつたのです。音樂家で耳が聞えなければ、これほど困ることはありません。ベートーベンはどんなに落膽

したことでせう。けれども流石はベートーベン、決して自暴自棄にならないで、五十六で死ぬまで音樂のために力を盡しました。

世界第一の音樂家ベートーベンが死んだといふ報道が傳はると、全世界の人々が驚き悲しみました。お葬式の時には、その柩の後に二萬人の人たちが從ひ、お寺の入口は數萬の人々で非常な混雜だつたので、軍隊が護衞してやつと道を開かせたといふことです。

ベートーベンが音樂に捧げた一生は實に尊いものでありますが、何事によらずベートーベンのやうに自分の仕事に魂を打ちこんでやらなければならないのです。

四　ビスマルク

フランスの大革命

フレデリック大王の力で、プロシャはイギリス、フランス、ロシャ等と肩をならべ

てヨーロッパの强國の一つとなりましたが、まもなくヨーロッパの天地に大變なことが起りました。それはフランスの大革命で、この革命の中から大英雄ナポレオンが現はれたことです。

ナポレオンはフランスを統一すると皇帝の位に即き、忽ちのうちに四方を征服しましたが、一八〇六年にはプロシャもナポレオンのためにさん〴〵に打ちやぶられ、その領地も殆ど失つてしまひました。

けれどもドイツ國民の愛國心はいつまでもナポレオンの征服に甘んじてゐませんでした。やがてプロシャ、オーストリアの兩國はイギリス、ロシヤと同盟して一八一三年遂にナポレオンをワーテルローの戰に撃破しました。そしてヨーロッパ全土をふみにじつたナポレオンも、はなれ小島のセントヘレナに流されたことは、皆さんもよく知つてゐるでせう。

其の結果ナポレオンに奪はれた領土ももとにもどつて、プロシャの勢がだん〳〵盛

んとなるにつれて、今度はオーストリアと一戰を交へなければならないやうな氣運になつて來たのです。

ここで少し説明しておかねばならないのはドイツの聯邦といふことです。これまでも歴史の上に度々ドイツといふ名が出て來ますが、これは聯邦といつて、たくさんの國々が寄り合つてゐるのです。プロシヤもその一つです。今までも何とかしてドイツを統一し强固な國家を作り上げようとしたことがあるのですが、常にオーストリアが聯邦を抑へて、ドイツの統一を妨げてゐたのです。ところへ聯邦の一つであるプロシヤが急にむく／＼と頭を上げ、すばらしい勢で發展してドイツ統一をなしとげようとしたのですから、オーストリアといつかは衝突しなければならなかつたのです。

プロシヤでは一八六一年ウイルヘルム一世が王樣の位に上りましたが、どうかしてドイツ統一を完成したいと思つて、有名なビスマルクを宰相つまり總理大臣とし、モルトケを參謀總長に任じ、その機會の來ることを待つてゐました。

慈愛の紙細工

このビスマルクはウイルヘルム一世を助けてドイツ帝國を建設したえらい人で、生れたのは一八一五年四月一日で今からざつと百二十年前のことでありました。昔からえらい人といへば大てい貧しい家に生れた人が多いのですが、ビスマルクの生れた家は代々身分の高い家柄で、大へんひろい領地もつてゐました。

こんなりつぱな家の長男に生れたのですから、お父さんはどんなにうれしかつたか知れませんが、流石は英雄の父だけあつて、ビスマルクが生れたからとて別にお祝ひらしいこともせず、方々からのお祝の品もみんなことわつてしまひました。そしてビスマルクをずいぶんきびしく育てたのです。お父さんがきびしい人であつたにひきかへ、お母さんはほんとにやさしい慈愛にみちた人でした。

ビスマルクが生れてから一年たつと、お父さんやお母さんにつれられて田舎の方の領地に移つて住むことになりました　ビスマルクは虫氣もつかずにずん／＼大きくな

りましたが、それと一しよにいたづらも日に日にはげしくなりました。けれどもそれは別にお母さんの心配の種にはなりませんでした。お母さんの心配は外にあつたのです。といふのはビスマルクは御飯をたべることが大へんはやくて、口に入れたかと思ふとろくにかみもせず、ぐいとのみこんでしまふので、

「そんなにはやくたべるものではありません、ゆつくりよくかんでいただきなさい。」

とお母さんがいひきかせるとそのときは、

「ハイ〳〵」

と返事はしても二度目にはもういつもの早食です。

お母さんはこれが心配でたまらない。なぜなら食物をよくかまないと、身體が弱くて長生きが出來ないからです。そこでお母さんはどうかしてこの惡い癖をなほしたいと考へてゐたが、或日何を思ひついたのか、

「さう〳〵、さうすればきつとなほるにちがひない。」

と獨語。

次の日のお晝時、ビスマルクはお母さんと一しよにテイブルの前にすはりました。テイブルの上にはおいしさうな御馳走がならんでゐます。

「さあ、いただきませう。」

やさしいお母さんの言葉を待ちかねてゐたビスマルクは、急いで肉の一切を口の中に入れてそのままのみこまうとしたとき、

「坊や、この中をごらん。」

お母さんはどこにかくしてゐたのか、小さい紙の袋を出してビスマルクの前におきました。

「これ、なあに。」

ビスマルクが口をもぐ〳〵させながらきくと、

「まあ、あけてごらん。」

といふので、袋をさかさにしてふつて見ると、出たわ／＼中から犬や猫や兎やいろいろな紙の玩具がおどり出しました。

「やあ、面白い。」

とそれをテイブルの上にならべて喜んでゐたが、こんなことでいつも早くすむ食事が大へん長くかかり、知らないまによく食物をかんでゐました。お母さんは毎日工夫して紙細工を作りそれを見せてゐるうちに、ビスマルクの早食の惡い癖をすつかりなほしてしまつたのです。

もしお母さんがビスマルクの早食をそのままにすてておいたら、後になつてドイツ帝國建設といふ大事業も出來なかつたであらうし、八十餘年の長命は思ひもよらなかつたかも知れません。

靴屋の降参

或ときベルリンの靴屋へビスマルクが長靴を一足注文しました。そのときは或役所につとめてゐたのですが、靴屋へやつて來たビスマルクは靴の寸法をとつたあとで、

「靴屋さん、いつまでに出來るかね。」

と尋ねました。すると靴屋はペコペコ頭を下げて、

「へイ、一週間の中にはきつと出來てをります。」

といかにもたしからしく約束しました。

ところが一週間たつて行つて見ると、靴屋は頭をかきかき

「まことにすみません。仕事が忙しかつたものですから……へい、もう三日だけ待つていただきたうございます。」

といふので、自分が約束に背くことの大嫌ひなビスマルクはぐつとしやくにさはりま

したが、その日は別に怒りもせずそのままかへりました。

三日たつたが出來てゐません。靴屋はうまいりくつをつけて、また二日待つてくれといふ。その二日たつてもやはり出來てゐない。ビスマルクは何とかしてこの嘘つきの靴屋をこらしめてやりたいと思つてしきりに考へてゐたが、どんなことを思ひついたのか、

「さうだ。」

と叫んで元氣よく靴屋を飛び出しました。

その翌日、靴屋へビスマルクのところから使がやつて來ました。

「ビスマルク様の靴は出來てをりますか。」

「相すみませんが、まだでございます。」

「さうですか、さようなら。」

使がすた〳〵かへつたかと思ふとすぐ別の使がやつて來ました。

「ビスマルク様の靴は出來てをりますか。」
「いえ、まだでございます。」
「さうですか、さようなら。」

かへつたかと思ふと又別の使が來る。引つきりなしに來る使に靴屋はすつかり弱つてしまひ、とう〱その日の中に仕上げて靴をビスマルクのところへ屆けたといふことです。

ビスマルクはこんな負けず嫌ひな、どちらかといへば亂暴な行も少くなかつたが、しかし人のためには自分の命をすてることさへ何とも思はぬ氣高い精神が、生涯はなれたことがなかつたのでした。

ベルリンからずつとはなれた片田舍に火事があつて、農家が四五軒、天をこがして燃えてゐましたが、その中の一軒に一人の農夫が火炎に包まれてすつかり逃げ場を失つてゐます。人々も助けることも出來ないでただワイ〱立ちさわいでゐるばかり。

この危險の迫つた最後の一分間、向ふの方から馬に一鞭くれて一散にかけつけて來た一人の若い紳士、いきなり焰に近づいてもがき狂ふ農夫の髮をひつつかみ、そのまま猛火をくぐつて逃れ出ました。

天狗が人をさらふといつてもこんな早業は出來ないでせう。お蔭で農夫は僅か火傷しただけで助かりましたが、この農夫の命の親こそ、この頃田舍の領地にかへつてゐたビスマルクであつたのです。この二つ三づの話で、ビスマルクがどんな人であつたかよくわかるだらうと思ひます。

五　ドイツ帝國の建設

占ひの煙草

ビスマルクはドイツ帝國の建設のためには何よりも先づ强い軍隊が必要であると考へました。ウイルヘルム一世もこれに贊成しましたが、國民の代表で成り立つてゐる

下院つまり衆議院の議員たちは殆どこれに反對し、國民もビスマルクをにくんで中には暗殺しようとつけねらつたものもありました。しかしビスマルクは少しも怖れません。一人の青年が暗殺しようとしたときビスマルクは青年に向つていひました。

「今こそ國民は私の命をとりたがつてゐるが、もう二三年もたてば、きつと私のしたことを喜んでくれるにちがひない。」

何といふ自信の強い言葉でせうか。

ビスマルクが下院の反對があつても少しもひるまず軍備をととのへようとしたのは、やがて強敵を相手に戰はねばならぬことを知つたからです。

ビスマルク

プロシヤが主人公になつて、他の小さい國を一かたまりにし、大帝國を築き上げるにはオーストリアといふ邪魔者をドイツ聯邦の仲間から追ひ拂はねばならない、その

ためにはいやでもオーストリアと戰はねばならぬといふこと位は、ビスマルクの鋭い目はとつくに見ぬいてゐたのです。ドイツ聯邦の中に勢を爭ふ老大國オーストリアと新興プロシヤとは、おそかれ早かれ一戰を交へねばならぬ運命にあつたのです。

いよ／＼時が來ました。たま／＼デンマークのシュレスツヒ、ホルスタインといふ所を二國が互に自分の物にしようとしたことから、とう／＼一八六六年の夏、プロシヤは老大國オーストリアと戰端を開くことになりました。

「おのれ生意氣な小僧め。」

とばかり、オーストリアの二十六萬の大軍は、雪崩をうつてケーニツヒグレーツの平原に押しよせて來ました。

プロシヤではウイルヘルム一世が自ら元帥となり、名將モルトケ將軍が參謀長となつて、一擊の下にオーストリア軍を打ち碎いてやらうと遮二無三に突進しました。ビスマルクも國王に從つて出陣しました。プロシヤ軍必死の攻擊も流石に長い間ヨーロ

ツパの强國として威勢をふるつてゐたオーストリアの軍勢を打ち破ることが出來ません。

どんなことにも驚いたことのないビスマルクも、氣が氣でありません。戰はいつまでつづくことか、果してプロシャが勝てるだらうか、ただ神の如きモルトケ將軍こそ强いたよりです。

そこでビスマルクは本營から馬に鞭打つてモルトケ將軍をさがしました。するとはるかかなたの小高い丘の上に立つて指揮してゐる將軍の姿、ビスマルクは馬を走らせて將軍に近づくとひらりと馬から飛び下りた。モルトケは一寸驚いたやうに、

「おや、あなたはいつのまに來られました。何か御用ですか。」

「いや、あなたに煙草を上げようと思ひましてな。」

ビスマルクはポケツトから二本の煙草を出してモルトケにすすめました。モルトケもビスマルクも非常に煙草が好きであつたのです。

ところが今ビスマルクの差出した二本の煙草、一本は上等だつたが一本はあまりよい煙草ではありませんでした。

「どちらでもお好きな方をお取りなさい。」

といふビスマルクの言葉をきいたモルトケ將軍は、ニッコリ笑ひながらしづかに手をさし出して取つたのが上等の方の煙草、すると何と思つたか、ビスマルクは、

「我が軍はきつと勝つぞ。」

と躍り上つて喜びました。

「我が軍は勝つにきまつてゐますよ、あなたは今になつてわかつたのですか。」

モルトケはどこまでも落ち着いてゐます。

「私は今、我が軍が勝つか負けるか、煙草で占つて見たのです。私は二本の煙草を出しました、もしあなたがこのはげしい戰に心がみだれて、煙草の善惡を見分けられないやうだつたら、我が軍は敗れる外はないが、幸、あなたは上等の煙草を選ん

でくれました。もう我が軍の勝利は疑なしです。」

「いやこれはえらい試驗をされました、もし、そつちの煙草を取つてゐたら落第でしたね。ハ……」

「どうです、この占は決して間違ひはないでせう。」

といつてビスマルクも高笑ひ、二人のプロシヤの英雄は、はげしい戰の中にしばらく愉快さうに煙草の煙を吹かせてゐました。

果して煙草の占ひに間違ひはなかつたのです。ケーニツヒグレーツの戰に、オーストリア軍は二度と立ち上れないやうな深い痛手を受けたので、八月二十三日には遂にプロシヤと和睦することになりました。プロシヤはオーストリアに代つてドイツ聯邦を支配し、プロシヤ王ウィルヘルム一世がドイツ帝國の位に上つたのは、これから後あまり間のないことでありました。

プロシヤがオーストリアと戰つたのは、日本が清國やロシヤを相手にしたと同じや

うにヨーロッパの國々でも、プロシヤがオーストリアに勝てるなどとは夢にも思つてゐなかつたのです。それが意外にも大勝利を得たのですから、ビスマルクの名は忽ちヨーロッパ全土にひびきわたり、泣く子もその名を聞けば泣き止むといふほどでした。

普佛戰爭

プロシヤの勢が日に日に加はるにつれて心ひそかに喜ばなかつたのは、フランス皇帝ナポレオン三世です。この人はナポレオンの甥でありますが、ナポレオンの足許にもよりつけない位の人でした。それだのに叔父ナポレオン大帝のやうに、自分もうんと領地をひろげてヨーロッパに威をふるひたいと飛んでもない望みを抱いてゐました。そこでナポレオン三世にとつては、プロシヤが強くなるといふことは何よりも都合の惡いことであつたのです。

ナポレオン三世はもと〳〵大してえらい人でない上に、いろ〳〵失敗がつづいてだん〳〵評判が惡くなりかけて來たところだから、何とかして人氣取の仕事をしなけれ

ばならない、それにはプロシヤと戰つて勝つことが一番よい。プロシヤの方でもどうせフランスと戰はねばならぬと覺悟して、兩方ともその折をねらつてゐたのです。ナポレオン三世はプロシヤをやつつけたいのは山〳〵だが、うつかり手を出すことが出來ないので、先づ戰に負けて深くプロシヤをうらんでゐるオーストリアを味方に引き入れ、イタリーまでもうまく仲間にさそひこんで、これなら大丈夫とプロシヤとの開戰を待ちかまへてゐました。

その頃スペインでは王樣がなくつて困つてゐたので、プロシヤ王ウイルヘルム一世は、自分の親類に當るレオポルト親王をスペイン王の位に即けようとしましたが、これには勿論ナポレオン三世は大反對です。もしそんなことになつたらプロシヤは益〳〵勢を增すにちがひなからです。しかしプロシヤの方ではナポレオン三世の反對なんかにビクともせず、どうしてもレオポルト親王をスペイン王に据えようとしました。幸レオポルト親王が自分でスペイン王となることを遠慮したのですが、にらみ合つ

たプロシヤとフランスとの間の暗雲はいよ〳〵濃くなるばかりでした。
フランスがプロシヤに向つて宣戰するとの報道が一八七〇年七月十五日ベルリンに傳はると、市中は上を下への大騷ぎ、にくむべきフランスをただ一擊の下に打ち破つてしまへといふ元氣なものもあれば、果してこの强敵に打ち勝つことが出來るかと心配するものもありましたが、今となつてはいやでも戰ふ外はないといふ覺悟は誰の心にもかたく決せられてゐました。
ウイルヘルム一世がその日の夕方、エムスからベルリンへおかへりになると、市民は破れるやうな萬歲の聲を以て迎へました。この聲の中にフランスと一戰しようとの國民の意氣があふれてゐたのです。ビスマルクはこの國民一致の樣子を見て、フランスを破ることは決してむづかしいことでないと心ひそかに喜びました。
かね〴〵ちやんと準備が出來てゐたので、忽ち七十五萬の大軍が進擊の用意をととのへて、命令の下るのを今やおそしと待ちかまへてゐました。モルトケ將軍が參謀總

長となつて全軍を指揮したことはオーストリアとの戰とかはりがありません。

その夜モルトケは目の前にひかへた大戰をまるで心に止めないやうに、前後も知らずぐつすり寢てゐましたが、眞夜中頃はげしく戶をたたく音に夢を破られました。

「誰か。」

「私でございます。閣下、お目覺めでございますか。」

「はいつてよろしい。」

モルトケの部屋にはいつて來たのは副官です。

「眞夜中に何の用か。」

「閣下、いよ／＼開戰でございます。陛下から詔が下りました。明朝我が軍は直ちに出動しなければなりません、閣下、その御用意は！」

「ただそれだけのことで起したのか、それはその机の引出の中に書いて入れておいた通りやればよいのだ。」

モルトケはかたはらの机をさし示し、

「どれ、もう一寢入りすることにしよう。」

といつたかと思ふと、又高鼾で眠つてしまひました。副官は今更ながらモルトケの大膽沈着なのに驚きながら、いはれた机の引出をあけてみると、水も洩らさぬやうな作戰計劃書がちやんとしまつてあつたのです。

ベルサイユ宮殿

翌日、雲霞のやうなプロシヤの大軍は、モルトケ將軍の作戰計劃によつて、フランス國境に向つて勇ましく進軍を開始し、ここに有名なプロシヤとフランスの戰爭、即ち普佛戰爭の火ぶたが切つて落されました。

ナポレオン三世はプロシヤと開戰すれば、必ずオーストリアやイタリーがすぐ加勢してくれるものと、他人をあてにしてゐましたが、兩國ともまあしばらく樣子を見てからにしようと、一向手傳つてくれる樣子もありません。

けれどもヨーロッパの諸國は、プロシヤはとてもフランスの敵ではなく、フランス軍は忽ちライン河を渡つてプロシヤに侵入するだらうと考へてゐました。ところがフランスが人をたのみにしてぐづ〳〵してゐる間に、プロシヤ軍はすばやくラインの岸に迫り、勢すざまじく國境を越えて進撃をつづけました。

ナポレオン三世はプロシヤ軍の思ひの外強いのに驚いて、大軍をセダンに集め、死物狂ひでプロシヤ軍を喰ひ止めようとしたが、もう洪水のやうに押せよせるプロシヤの大軍をせき止めることが出來ません。ナポレオン三世はとてもかなはないと知つて白旗をかかげた使をプロシヤの本營に走らせた。白旗はいふまでもなく降參のしるしです。その後ナポレオン三世はウイルヘルムスホーエの城中に捕虜となつて押しこめられ榮華の夢はただ朝霧のやうに消え失せてしまひました。そこでプロシヤ軍は更にフランスの都パリーに押しよせて十重二十重にかこんでしまつたのです。

パリー市民は驚いて急に假政府を組織し、共和政を布いて、市民一致して籠城しま

した。この間にガンベツタといふ愛國者が輕氣球でパリーを逃れ、地方に行つて義勇軍を募りましたが、ガンベツタの燃えるやうな愛國心も勝ちほこつたプロシャの大軍の前にはどうすることも出來ませんでした。

パリー市内もだん／＼糧食が盡きたので、遂に籠城五ケ月の後、翌年一月とうとう城を開け渡し、假政府の長官であつたチエールはプロシヤの首相ビスマルクとベルサイユで平和條約を結んだのです。その結果フランスは、アルサス、ローレンの二州をドイツに讓り、五十億フランといふとても背負ひきれないほどのたくさんの償金を出すことになりました。プロシヤの得意に引きかへて、フランスの無念さはどんなであつたでせう。これは後の話ですが、フランスはよく上下一致し、とても出せまいと思はれた五十億フランの償金を、短かい間にすつかり支拂つてしまつたのには、列國はびつくりしてしまひました。

フランスのベルサイユ宮殿といへば、壯麗なことで世界にその名を知られてゐます

が、時は一八七一年、我が國の明治四年一月十八日、このベルサイユ宮殿で、プロシヤ王ウィルヘル一世が、ドイツ皇帝になるといふおごそかな式が擧げられました。これまでもプロシヤは他の小さい國々と仲間になつてドイツ聯邦といふのが組立てられてゐたが、まだしつかりと打ち固められたドイツ帝國とはなつてゐなかつたのです。

この日正午ウィルヘルム一世はお顏も晴やかに、ビスマルクやモルトケ、その他聯邦の小さい國々の王樣たちを從へ、鏡の間に進んで、今日からドイツ皇帝になるといふことを宣しました。かうしてドイツ大帝國の基が築かれたのです。

六　えらい人々

いろ〳〵な發明

老大國オーストリアに勝ち、強敵フランスをやぶつて、帝國が建設せられてからのドイツはどうなつたでせうか、そのお話はしばらくお預りとして、少しこの頃即ち十

九世紀の文明についてお話しておきませう。

前世紀つまり十八世紀に芽を出したヨーロッパの科學文明は、十九世紀に入つてからすばらしい勢で進歩しました。イギリスのダーウィンが進化論といふ説を立てたのもこの頃ですが、ドイツにもダーウィンに負けないマイエルとか、ヘルムホルツといふやうなえらい學者が出て勢力不滅説を説き、ともに世の中に非常に大きな影響を及ぼしました。

レントゲンといふのを知つてゐますか。エックス光線ともいひ、大きな病院などにはその機械が据えつけてあります。この光線で人間の身體をうつすと、肉がすつかりすき通つて骨だけが薄黑く見えるのです。兵隊さんが敵の彈丸を身に受けた。それを取り出さなければならない。しかしやたらに切つてはたまらないから、手術の前にレントゲンの寫眞を撮つてみる、すると彈丸がどの位置にあるかといふことがよくわかるのです。このレントゲン光線はドイツのレントゲンといふ人が發明したので、醫學

を始めいろ〳〵な方面に應用されてゐます。

醫學ではドイツは何といつても世界第一といはれてゐます。今でこそドイツに負けないほどに進んだ日本の醫學も、もとは大ていドイツを先生として學んだのです。ドイツの醫學で殊に忘れてならないのは、コレラ菌を發見したコッホやヂフテリヤ菌を發見したその門人のロフレルでせう。我々はかういふ人々の發明發見によつてどれだけお蔭を受けてゐるかも知れないのですから、深く感謝するとともに自分も世の中のためにつくすことを考へなければなりません。

米人フルトンが汽船を發明し、英人スチヴンソンが汽車を發明したのもこの世紀の始めですが、ドイツ人ガウスが發明し米人モールスが改良した電信機の世に出たのもまたこの頃のことです。

この前、ドイツにカントといふ大哲學者の出たことを話しておきましたが、カントの後にもフィヒテ、ヘーゲル、ショーペンハウエルといふやうなえらい哲學者がつづ

いて出て哲學でもドイツはヨーロッパの中で一段と光つてゐました。

それから、この頃ヘルバルト、チルレル、ライン、フレーベルといふやうな名高い教育學者が續々出たこともドイツの誇です。この人たちのことも今にわかるやうになるでせうが、日本の教育もずいぶんこの人々の影響を受けたのです。この中でフレーベルといふ名は聞いたことがあるかも知れませんが、この人はいはば幼稚園の元祖なのです。

幼稚園の元祖

フレーベルがドイツのチューリンゲンの牧師の家に生れたのが一七八二年のことです。小さい時は別にすぐれた子供ではなかつたが、住んでゐた村が森林につつまれてゐたので、いつも森の中であそんでゐるうちに、自然の美しさや尊さを知るやうになりました。そして自然には風が吹くのにも水が流れるのにもちやんと法則があるといふことを考へ、それをよく知るためにイエナ大學で勉強することになりました。その

とき十七歳だつたが家が貧しいので自分で働いて勉強しなければなりませんでした。その上まもなくお父さんがなくなつたので、測量師の雇人になつたり、會社の事務員になつたりしたが、どうかして建築家になりたいといふ望みを抱いてゐました。ところがフレーベルは子供が大好きで、小學校の子供たちが無邪氣に遊んでゐるのを見ると自分も一しよにあそびたくなる位ですから、子供をあそばせることが上手です。或日小學校の校長さんが、

「君は大變子供が好きらしいね。どうだい一つ先生にならないか。」

といはれると、フレーベルはすつかりその氣になり、その校長さんの下で二年を送りました。その間に子供がよくなり成績が上るにつけて愉快でたまらなかつたのです。

「私は一生教育者として立たう、こんなに愉快な尊い仕事が外にあるだらうか。しかし子供のために私はもつと〲勉强しなければならない。」

と考へて、スイスの大教育家ペスタロッチ先生のところへ行つて、三年間熱心に勉强

しました。

フレーベルが考へたやうに成程先生といふ仕事は尊いが、それでは他の仕事が尊くはないかといふと決してそんなことはない。どんな仕事でもそれが自分に合つた職業でそれに精一杯力を打ちこんでやればよいのです。仕事に尊い卑しいがあるのではなくて、その仕事をする人の心に尊い卑しいがあるのだ、といふことを忘れないで下さい。

ペスタロッチ先生のところで勉強したフレーベルは更にドイツにかへつてからベルリン大學に入學して勉強しました。その中にフランスとの間に戰爭が始まつたので、フレーベルも又劍を握つて戰線に立ちました。戰ひながらも教育の事を忘れることが出來なかつたのでした。

やがて戰爭がすむと再び先生になりましたが、どうかして自分でりつぱな學校を作りたいと思つてゐました。しかしりつぱといつても建築のことではないのです。そこ

で村の古い一軒の百姓家を借りて、先づ親類の子供を五人集めて教育を始めたが、その時戰爭中に仲よしになつた二人の友だちが來て手傳つてくれました。

幸に生徒はだん〳〵増して學校の評判も益々よくなつたが、何よりも困つたのは貧しくてお金のないことでした。學校はボロ〳〵の古い家、おまけに備へつけの設備も殆どありません。こんなところで勉强が出來るかと思はれる位でした。けれどもフレーベルの學校の生徒は他の學校の生徒よりもずつと賢い子供でした。何故でせう。それはフレーベルの愛と熱心さのためなのです。

フレーベルは小さい時にお母さんをなくしたので、他の子供のやうにお母さんに抱かれて可愛がつて貰ふことが出來ませんでした。大人になつてもお母さんのない子を見ると、自分の小さい時に思ひくらべてかはいさうでなりません。そこで小學校へ行く子供よりもつと小さい子供の世話をしてやりたいと思ひました。そして子供のもつて生れたよい心を一層よく育ててやりたいと考へて、小さい子供ばかりを集めて、

好きなおもちやを與へ、一しよに歌ひ一しよにあそんで子供たちのよくなるのを樂しんでゐました。これが幼稚園の出來た始めです。

しかしその時分の人々はまだフレーベルの教育の仕方がわからないで、多くの反對者が出來て、折角の幼稚園もやめなければならなくなつたのは、フレーベルにとつてどんなにさみしいことだつたでせう。フレーベルはこのさみしさの中に一八五二年、七十歳でこの世を去つてしまつたのです。

かうしてフレーベルはさみしく死にました。けれどもフレーベルの精神は今もりつぱに生きてゐます。今日世界中に幼稚園がたくさん出來たことを知つたらフレーベルはどんなに喜ぶことでせう。

グリム兄弟

もう一人話しておきたい人があります。皆さんはきつとグリム童話を讀だり、きいたりしたことがあるでせう、このグリム童話を書いたグリムといふ小父さんもやはり

ドイツ人で十九世紀に出たのです。今一人といひましたが實は一人ではなくてヤコブとウイルヘルムといふ二人の兄弟です。たつた一つ違ひ、兄さんのヤコブ・グリムは一七八五年に弟のウイルヘルム・グリムはその翌年に、ライン川に近いハナウといふ小さな町で生れました。お父さんはお役人だつたが貧乏でおまけに子供が大ぜいあつたから生活はゆたかでなかつたのに、不幸にもヤコブが十一のときお父さんは死んでしまひました。その後はやさしい母の手に育てられたが、その母も早く世を去つたので二人は全く孤兒になつてしまひました。それは大變不幸なことでありますが、兄弟仲のよいことではほんとに幸福でした。二人は小さい時から一つの部屋で一つの寢床で一しよに伯母さんから教育を受け、同じ中學同じ大學で學び、そして力を合せてドイツに昔から傳はつてゐるいろ〳〵な話を集めました。それがグリム童話集で、これがさつきいつたチルレルやラインのやうなえらいドイツの教育家たちによつて、教育の上に應用されたのです。といふのはグリムの童話はただ面白いといふばかりでなく、

その一つ〳〵の話の中に、ドイツ民族の魂がはいつてゐるからです。日本の桃太郎のやうな話が尊いのはやはり同じ意味からです。

さてむづかしいお話をやめにして、一つグリム童話の中のお話をいたしませう。皆さんが一番よく知つてゐるのは「狼と七匹の小山羊」のお話でせうね。ではこれからあまり皆さんの知らない「ハンスの幸福」といふお話。

ハンスといふ子供が、七年間奉公して、その御褒美に御主人から大きな金の塊を貰つて、お母さんのところへかへつて來ました。その途中で一人の男が馬に乘つて來るのに出會ひました。

「ハンスよ、お前は何だつて變な格恰で歩いてゐるのかい。」

「金の塊が重くておしつぶされさうなんだよ。」

「さうか、それならいいことがある、お前の金の塊とこの馬と取り換へないか。」

ハンスは喜んで馬と取り換へ、氣持よさうに馬を走らせてゐますと、馬が急に早く驅

け出したので、あつと思ふまもなくハンスははね飛ばされて溝の中にころがりとんでしまひました。そこへ牛を追つたお百姓が通りかかつたのでやつと馬をつかまへてくれました。

「やれ〳〵、ひどい目にあつた。もう馬なんかに乘るものぢやない。」

「それぢや、この牛と取り換へたらどうだ。」

「ありがたう、さうすれば毎日おいしい牛乳がのめるぞ。」

ハンスは馬と取り換へて貰つた牛を追つて道を急ぎましたが、あまりのどがかはいたので牛乳をしぼつてのまうとすると一滴も出て來ません。それどころか牛の脚でいやといふほど頭をけ飛ばされました。

そこへ一人の男が一頭の豚を車にのせてやつて來ました。

「どうしたんだね、そんなところで。」

「牛にけられたんですよ、この牛にくらべて小父さんの豚はいいな。」

「よろしい、それではその牛と取り換へて上げよう。」

「これはありがたい。」

ハンスは牛と取り換へた豚をつれて歩いてゐるうちに、一羽の白い鵞鳥を持つた男と道連れになりました。ハンスは何もかも自分の思ふ通りになつた自分の運のいいことを話してゐると、その男は、

「この豚は今來る途中で惡者に盜まれたといつてさがしてゐる豚らしい。」

といつたので、ハンスはびつくりしました。

「それは大變、どうしたらいいだらう。」

「氣の毒だから、この鵞鳥と取り換へて上げよう。」

ハンスは取り換へて貰つた鵞鳥を抱いて嬉しさうに自分の家の方にかへつて行くと一人の研屋がありました。ハンスが立ち止つて研屋の仕事を見てゐると、研屋がハンスに聲をかけました。

「りつぱな鵞鳥だね、どこで買ひなさつた。」
「買つたのぢやないよ、僕の豚と取り換へたんだ。」
「ぢやその豚は？」
「それは牛の代りに貰つたんだ。」
「ぢや、その牛は。」
「馬の代りさ。」
「その馬は。」
「金の塊と取り換へたのさ。」
「その金の塊は。」
「七年間奉公した御褒美なんだよ。」
「さうか、お前は幸福だね、しかしもつと幸福になるには、わしのやうに研屋にならなければだめだ。砥石一つあればいくらでもお金がもうかるからな。」

「成程さうだ、小父さん、その砥石とこの鵝鳥と取り換へてくれないか。」

「よろしい、少し損だが取り換へて上げよう。」

ハンスは又鵝鳥と取り換へて貰つた砥石をかついで嬉しさうにおどりながら歩いてゐました。

しかし何しろ朝から歩き通したのでお腹が空いてたまりません。お腹が空くと砥石がとても重くなつて來ました。ハンスは水をのまうとして、野中の泉のそばへ行つてからだをかがめようとしたはづみに、砥石は水の中に落ちてしまつたのです。

「やれ〳〵、これで重い砥石を持たなくてもいい。」

ハンスは何もかも自分の思ふ通りになつたので、自分ほど幸福なものはないと大喜び飛ぶやうにしてお母さんのところへかへつて行きました。

お話はこれでおしまひです。ハンスはずいぶん馬鹿な子供だと思ふでせう。けれどもいつでも自分を幸福だと思つてちつともくよ〳〵したり、めそ〳〵したりしないで

元氣で愉快に走りまはつたハンスをただ馬鹿だと笑つてゐられないやうな氣がします。

七　ドイツの發展

ビスマルク時代

それはさておきお話をもどして帝國建設後のドイツがどうなつたかお話いたしませう。

ドイツ帝國の基礎がすつかり出來上つてから、その軍隊が益々強くなつたばかりでなく、產業にも學問にも目ざましい進步をとげて、他の强國とりつぱに肩をならべるやうになつたばかりか、ドイツのビスマルクの權力が全ヨーロッパを動かすほどであつたから、ビスマルク時代とさへいはれてゐました。

ドイツは始めロシヤとは仲がよかつたのですが、一八七八年頃から急に仲が惡くな

つて今までの味方がまるで敵になつてしまひました。もと／＼ドイツのためにさんざんやつつけられたフランスはいつかその復讐をしようと考へてゐるにちがひありませんから、ドイツはフランスとロシヤの二國を敵としなければなりません。これではドイツがどんなに强くても安心出來ないのです。ビスマルクはオーストリアと同盟を結ぶことになつたのが、一八七九年、明治十二年のことです。それから三年後にはイタリーも仲間にはいつてドイツ、オーストリア、イタリー三國の同盟が出來上りました。

するとビスマルクにのけ者にされたロシヤとフランスはひとりでに近づいて露佛同盟が結ばれましたから、十九世紀の末から二十世紀の初めにかけてヨーロッパでは、この獨墺伊の三國同盟と露佛同盟とが互に對立してどうやら大したこともなくてすんだのです。もし少しでもこの釣合が破れると忽ち大騷動が持ち上る危險があつたのでした。

ヨーロッパのもう一つの强國であるイギリスは、たつた一人では少し心細くなつて

來ました。殊にロシヤはアジアにあるイギリスの領地をねらつてゐるのでどうも危くて仕方がありませんから、誰かしつかりした友だちがほしいものだと思つて見つけ出したのが日本です。そこで一九〇二年には日英同盟が結ばれました。日本の明治三十五年のことです。

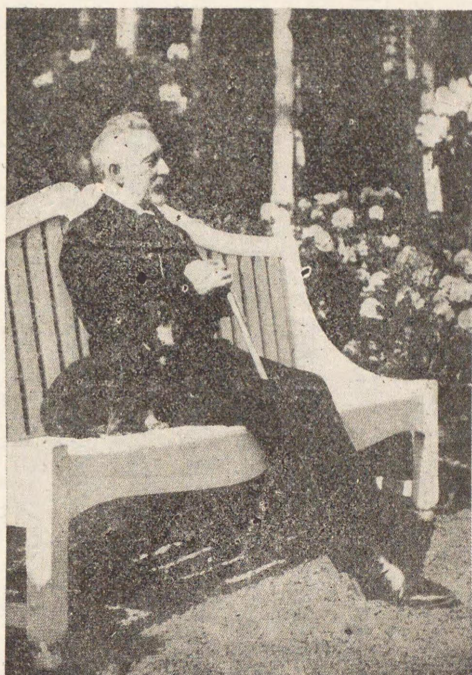
話は少し前にもどりますが、ドイツ建國の偉人ビスマルクは一八九〇年明治二十三年に、心ならずもベルリンをあとに草深い片田舍のフリードリッヒスルウといふところに引きこもらねばならないことになりました。といふのはかういふわけです。ウイルヘルム一世がなくなられて、そのあとをついだウイルヘルム二世は、はちきれるやうな元氣で、もつと〳〵ドイツを強い國にするため、何もかも自分でなさらうとしました。それにはどうもビスマルクが首相であることが邪魔になります。ビスマルクもウイルヘルム二世のお氣持がよくわかつたので、自分から首相の職を退かうと決心したのです。

いよ〳〵ビスマルクがベルリンに別を告げて、片田舍に引き移る日が來ました。ドイツ建國の偉人をのせた粗末な一頭立の馬車が、群がる人々の間をくぐつて走つて行きました。大通は人々で埋められ、男も女も老人も子供も馬車をかこんで動かうともしません。中には馬車にすがりついて聲を立てて泣くものさへありました。その昔、國民からにくまれて、暗殺されようとまでしたビスマルクが、今ベルリンを去るに當つて、こんなにまで別れを惜しまれようとは。

田舍に退いたビスマルクは、二三年で病氣にかかり、一時よくなつてウイルヘルム二世がお祝したほどでありましたが、その後數年一八九八年八十四歳で靜かにこの世を去りました。實にビスマルクの長い生涯はただドイツ帝國の建設といふことより外になかつたのですが、このビスマルクが築いたドイツ帝國は、ウイルヘルム二世の世となつていよ〳〵すざましい勢で發展したのです。

カイゼル

ウイルヘルム二世は普通カイゼルと呼ばれて、ウイルヘルム一世からうけついだドイツ帝國をもつと〱大きなイギリスのやうな世界的帝國にしようといふ志を抱いてゐました。ビスマルクをしりぞけたカイゼルは海軍の大擴張を行つて忽ちドイツを世界の海軍國としました。

カイゼル・ウイルヘルム

前にも一寸お話しましたが、カイゼルが即位してから、ドイツの發展は商工業にも

敎育にも學術にも目ざましいもので、そのすばらしい發展に世界の國々は目を見張つて驚いたのですが、殊にドイツ海軍が日に日に盛んになるのを見て氣が氣でないのは世界第一の海軍國だと自慢し、世界中に廣い領地をもつてゐるイギリスでありました。その他の國々もドイツの物すごい發展にぢつとしてゐられず、めい〳〵軍備の擴張に力をつくしました。ヨーロッパの天地は何となく怪しい雲行で、いつどんなことが起るかも知れない有樣でありましたが、果してまもなく全世界の地圖が塗りかへられるほどの大事件が起つたのです。それはどんなことでせう。きつと皆さんは口をそろへて「世界大戰だ」と答へるにちがひありません。

八　世界大戰

サラエボの銃聲

一九一四年といふと我が國の大正三年ですが、この年の六月世界大戰に火がついた

ヨーロッパの南方バルカン半島にボスニヤといふところがあります。今ではユーゴー・スラビアといふ國になつてゐますが、このときオーストリアでは陸軍大演習があつて、皇太子フエルヂナンド大公が妃殿下とともに、このボスニヤのサラエボといふ町においでになりました。このとき多くの出迎へ人の中から一人の若者が飛び出して、何かを皇太子の自動車めがけて投げつけました。幸ひに皇太子は何のこともありませんでしたが、かへりに又自動車で停車場に向ふ途中、前と同じやうな若者が飛び出してつづけさまにピストルを發射しました。皇太子と妃殿下は折り重つて倒れてしまひました。

さあ町中は大騷ぎとなり、皇太子と妃殿下を病院へおつれしましたが、その日の夕方皇太子も妃殿下もなくなられました。このことは、すぐオーストリア皇帝フランツ、ヨセフ陛下に電報で知らせられましたが、皇帝陛下の悲しみは非常なものでした。

「ああ、朕はもうこの世の中に何一つ殘されたものはない。」

といつてお泣きになりました。それもその筈、皇帝はこのときもう八十五歳のお年寄で、前に皇后陛下がイタリー旅行のとき殺されるし、たつた一人の皇子はわけがあつて自殺するし、弟の王子を皇太子とされたのですが、その皇太子フエルヂナンドが、妃殿下とともに殺されたのですから、皇帝の歎きは無理もありません。

悲しんだのは皇帝ばかりではありません。オーストリアの人々はみんな殘念がりました。なぜならこのとき皇太子は五十二歳で、ほとんど國の政治をされてゐたからです。

これが世界大戰の起りでありますが、大戰の原因といふのはもつと〳〵深いところにあつたのです。

滿洲事變がどうして起つたかといへば、奉天の少し北の柳條溝で、支那兵が我が南滿洲鐵道線路を爆破したからだし、支那事變の起つたのは、蘆溝橋で支那兵が亂暴を

働いたのがもとであるやうに思はれるけれども、その奥に深いわけがあつたのと同じやうに、世界大戰に火をつけたのはセルビアの一青年ですが、その頃のヨーロッパには一本のマッチで火をつければ、すぐ燃え上るやうな空氣がみなぎつてゐたことを考へなければなりません。それはだん〳〵わかつて來るでせう。

開戰

さて皇太子を暗殺されたオーストリアが非常に怒つたことはいふまでもありません。そこでオーストリアはすぐにセルビアと談判を始めました。そしてセルビアの若者が皇太子を殺したのは、セルビアの政府の役人が關係したにちがひないから、その役人たちをみな罰し、すべてオーストリアのいふ通りにならなければ、軍隊で攻め入るぞと無理難題をつきつけておどかしました。もと〳〵セルビアが惡いのだし、オーストリアとはくらべものにならない小さい國だから、すぐハイ〳〵とオーストリアのいふことをきくかと思つたら、セルビアはなか〳〵うんといはないのです。それはオ

ーストリアのいふことが少し無理であつたからでもありますが、もう一つはセルビアには強い後押しがあつたからなのです。大きな國が後楯になつてゐたからです。それは一體何者でせう。

「セルビア小僧さん、心配することはない、おれがついてゐるぞ。」

と後からけしかけたのはロシヤです。

セルビアの後にロシヤのあることをオーストリアも知つてゐましたが、今更つき出した腕を引つこめることが出來ないし、オーストリアにもやはり後押があつたからなか〳〵氣が強い、このオーストリアのかげで

「オーストリアのお爺さん、しつかりやれ。」

と力をつけた國こそドイツでした。

ドイツはその頃、ぐん〳〵發展して行く力を東へ伸ばさうとしてゐましたが、それを邪魔するのはロシヤでした。つまり東へ伸びようとするドイツの力と、南へ伸びよ

うとするロシヤの力が、バルカン半島でいやでもぶつからねばならなかつたのです。ところが流石のドイツもロシヤといふ國を薄氣味惡く思つてゐましたが、日露戰爭でロシヤが日本に破られたので、ロシヤもそんなにおそれることはないと考へるやうになりました。

オーストリアもセルビアもどつちも鼻息が荒いのですから、いやでも衝突する外はありません。とう〳〵その年の七月二十八日兩國間の平和が破れて戰端が開かれました。するとすぐロシヤはセルビアを助けるために立ちました。ドイツがオーストリアに味方したことはいふまでもありません。

さうするとロシヤと同盟國であつて、ドイツとは仇同志、普佛戰爭でさん〴〵な目にあつたフランスが、ぢつとしてゐる筈がありませんから、オーストリアとセルビアの戰は忽ちドイツ、オーストリアとロシヤ、フランス、セルビアとの戰爭に燃えひろがつて行つたのです。

そこでドイツは先づフランスをたたきつけておいて、それからのろまなロシヤをやつつけようと考へたのですが、フランスをたたきつけるのには、堅固な要塞のならんでゐるドイツとの國境を越えるよりも、ベルギーを通つて行つた方がずつと都合がよいのです。ところがベルギーは中立國といつて、どつちへもつかないかはりに、どの軍隊もはいつてはならないことになつてゐます。それをドイツがふみ破つて、ベルギーに侵入したのですから、今までぢつとしてゐたイギリスがベルギーを助けるといふのでフランス側に味方した。イギリスとしてはドイツの盛んになつて來たのを内々怖れてゐたのだから、ドイツをやつつけるのに、よい機會だと思つたのでせう。

ひろがる戰火

イギリスが立つと、その頃日本とイギリスは同盟國であつたので、日本もドイツに宣戰したが、それはその年の八月上旬のことでした。そしてドイツの東洋根據地であつた靑島を陷れ、ドイツ領の南洋群島を忽ち占領してしまつたのです。

それから戰爭の進むにつれて、トルコがドイツ側に加はるし、ドイツと同盟國であつたイタリヤは、反對にフランス側につきました。ドイツ側には翌年ブルガリヤといふセルビアやトルコと同じやうにバルカン半島にある國が仲間にはいりましたから、ドイツ側、これを同盟國側といつてもよいがドイツ、オーストリア、トルコ、ブルガリヤの四ケ國になりました。それに對してフランス側、つまり聯合國では、日本、フランス、イギリス、ロシヤ、イタリー、ベルギー、セルビア、ルーマニアと、數へて行つたら二十位もあつたでせう。だからヨーロッパの國々は殆どすつかり戰爭にまきこまれてしまつたのです。それにもう少し後のことですが、アメリカ合衆國も聯合國側に味方することになつたし、アジアでは日本は勿論支那も參加したのですから、ヨーロッパどころか世界中の大戰爭になつてしまひました。セルビアの一青年のピストルの彈丸がこんなにまで大きくひろがらうとは誰が考へたでせう。

さつきもいつたやうに、ドイツは先づフランスをたたきつけようとして、中立國の

ベルギーを押しつぶし、あらしのやうな勢でフランスに侵入し、首府パリーも今にも陥落するかと思はれましたが、大正三年九月のマルヌ河の戰で敗れたので、陣地を固めて英佛軍とにらめつこをしてゐました。

これは西の方の戰場ですが、その間に東の方ではドイツ軍はすつかりロシヤ軍をたたきふせ、セルビアもドイツ、オーストリア軍のためにさん〳〵にふみにじられてしまひました。

東の方でロシヤをやつつけたドイツは、戰爭が始まつてから二年目の大正五年二月今度こそフランス軍に目に物見せてくれようと、フランスが誇とするヴェルダン要塞を攻擊したのです。この戰は世界大戰の中でも最も有名な戰で、ドイツ、フランスが互にその運命をかけた激戰でありました。

ヴェルダンはフランス東方の國境近くにあつて、ライン河の支流マース河の上流にある堅固な要塞であります。ドイツ軍は四ケ月の長い間猛烈にこれを攻擊しましたが

とう〳〵落すことが出來ませんでした。日露戰爭のとき八ケ月かかつて我が軍が難攻不落といはれた旅順を陷落させたことと、思ひくらべてごらんなさい。もしヴェルダンを落すことが出來てゐたら、ドイツは思ふ通りフランスをたたきつけることが出來てゐたかも知れません。

ドイツの敗北

そのうちに聯合國側にとつて實に大變なことが起りました。それは頼みにしてゐたロシヤがすつかり崩れてしまつたことです。ロシヤの國内では、だん〳〵いろ〳〵な物が足りなくて困つて來ましたが、それがもとになつて大正六年三月八日、ロシヤの都に大騷動が持ち上りました。そして革命運動となつて三月十五日には皇帝ニコラス二世が位を退いてしまひました。

革命といふのは日本には絶對にないことですが、外國にはいくらでもあるのです。お隣の支那も昔から革命の國ですから、支那の歴史では度々國の名がかはつてゐま

す。この前は清、その前は明、それから唐だの漢だのいろ〳〵國のかはつたことは國史でもよくわかるでせう。この前のフランス大革命のやうなのは特に名高い革命で、外國では革命毎に大てい血を流すのです。こんな革命が決してない永遠に萬世一系の天皇をいただく日本國民はほんとに幸福であります。

さてロシヤでは前にペートル大帝がりつぱに大帝國を築き上げましたが、ペートル大帝の血筋をついだのがニコラス二世で、日露戰爭の時もこの皇帝でありました。それが革命のため位を退きロシヤ帝國は全く滅びて、レニン、トロツキーを頭とする過激派共産主義の政府が成立して、まるで様子がかはつてしまひました。

このことはこれからの世界にいろ〳〵なことを引き起すもととなつたので、日本との關係も非常に厄介になつて來たのです。それはあとのこととして、ロシヤに革命が起り、軍隊も殆ど戰爭をつづける元氣がなくなつたので、聯合國の仲間からはなれて獨りでドイツと講和條約を結んでしまひました。これはドイツにとつて、まことに都

合のよいことで、その上聯合國側の一つで、ロシヤの南にあるルーマニアもドイツと仲直りしてしまつたから、もう東の方を心配しなくて、全力を西の方に向けることが出來るやうになつたのです。

　これでドイツが勝つことが出來たでせうか。戰爭が始まつて以來、ドイツは殆ど世界中を相手にしてよく戰つて來ました。上下一致して戰爭の苦しみを堪へしのんで來ました。もう一息です。しかしドイツ國内にも、そろ〳〵弱音を吐くものが出て來ました。どこまでも戰爭をつづけようといふもの、早く戰爭をやめようといふものが互に相爭ふやうになつて、今までの擧國一致が崩れかけて來たのです。崩れ出したらそれをせきとめるのはなか〳〵むづかしいことなのです。

　ドイツよりももつと〳〵弱つたのはその仲間のオーストリア、トルコ、ブルガリヤです。もうとてもだめだといふ聲が、先づバルカン半島のブルガリヤに起り、トルコもつづいて聯合國側に頭を下げました。バルカン半島から起つた世界大戰が又半島か

らしづまり始めたは面白いではありませんか。
オーストリアも降參しました。仲間がみんな降參してしまつたのですから、強いドイツももう戰爭をつづける勇氣はなく、ドイツ皇帝ウイルヘルム二世即ちカイゼルは位を退いて、聯合國側と休戰することになつたのです。
ドイツが四年餘りの間、よく聯合國軍を破り、その國內へは敵の兵隊を一足も入れさせなかつたその強さは實に驚く外はありませんが、それにとう／＼聯合國側に負けてしまつたのは、仲間の國々がばら／＼になつたことにもよるが、一番大きな原因は國民の勇氣がくぢけて、擧國一致が破れたからであります。恐ろしいのは外から來る敵ではなくて、國の中のゆるみです。昔、秦の始皇帝といふ支那の王様が、北の方から侵入して來る野蠻人を防がうといふので、萬里長城を築きました。これは今も殘つてゐるし、支那事變でよく出たことだから知つてゐるでせうが、こんな堅固な長城さへこしらへて置けば、野蠻人たちも秦に攻めこむことが出來ないから、秦はいつまで

それは外からの野蠻人のためではなくて、國内から崩れてしまつたのでした。これを考へても國民が常に一致しなければならないことがわかるでせう。今よくいはれてゐる國民精神總動員といふのはこのことなのです。

ベルサイユ條約

大正三年から七年まで四年三ヶ月餘りにわたつた世界大戰は、その長さからいへば昔ヨーロッパにあつた三十年戰爭や百年戰爭にくらべて驚くほどのこともありませんが、その大仕掛なこと、その範圍のひろいこと、そしてその影響の大きいことでは、歴史上に今までなかつた大戰爭であります。大戰に參加した國々をみんな合せると、その面積は全世界の六割六分、人口は八割八分になるのだから、殆ど世界中が大戰に加はつたといつてもよい位です。

この大きな世界戰爭も、とう〳〵同盟國側が兜を脱いで終ることになつて、大正八

年六月二十八日、ちようど大戰が起つた記念日にベルサイユ宮殿でドイツに對する講和條約が結ばれました。だからこれをベルサイユ條約といつてゐます。ベルサイユといへば普佛戰爭に勝つたプロシヤ王ウイルヘルム一世が、ドイツ皇帝の位に即く式を擧げたところですが、その同じ場所でこんどは戰に敗れて講和條約を結ばねばならぬとは、ドイツ國民にとつてどんなにか悲しいことであつたでせう。

その講和條約はドイツにとつてずいぶん辛いことでした。先づその領土が四方からけづり取られました。普佛戰爭で折角フランスから讓られたアルサス、ローレンの二州はフランスに取り返されるし、ザールといふ石炭產地を十五年間フランスが治めることになりました。フランスだけならいいがベルギーにも、それからポーランドにも領土を分けてやらねばなりませんでした。

かういふときつと皆さんはをかしいと思ふにちがひありません。

「ポーランドといふ國はロシヤとプロシヤとオーストリの三國に分けられて、とつ

くに滅びてしまつたではないか。」

誰でもこんな疑問が起るでせう。成程ポーランドは十八世紀の末にヨーロッパの地圖から消えてしまつたのです。ところが世界大戰の結果、世界の地圖がいろ〳〵にかはつて、今まであつた國々が大きくなつたり小さくなつたりしたばかりでなく、新しい國々がいくつも生れて來たのです。チエコ・スロバキア、ユーゴー・スラビア、エストニア、リトワニア等みな大戰後に出來た國で、ポーランドもやはり大戰後百何十年振かで生れ代つて來たのです。

今いつた通りドイツは方々からけづり取られたが、又海外にある領地つまり植民地もみんな取上げられてしまひました。それにも劣らずドイツにとつて辛いことはとてもたくさんの償金を聯合國に拂はねばならないやうになつたことです。その上軍艦や武器や石炭はとられるし、陸軍や海軍の軍備は小さくちぢめられる、實にこの時のドイツほどあはれなものはありません。これを考へると戰爭には決して負けてはなりま

せんね。
序にお話しておきますが、ドイツよりももつとみじめなのはオーストリアでした。オーストリアはこれまでオーストリア・ホンガリアといふ二つが一しよになつてゐたのですが、これが大戰の結果オーストリア、ホンガリア、チエコ・スロバキヤの三國に分れたばかりでなく、ポーランド、ルーマニア、ユーゴー・スラビア、イタリー等に領地をけづられたので、オーストリアはもとの八分の一位に小さくなつてしまひました。そのオーストリアも最近ドイツと一しよになつてしまつたので、オーストリアといふ獨立國は全く世界地圖から姿を消してしまひました。

苦しむドイツ

大戰に敗れたドイツは、手をもがれ足を折られるやうに領土をけづりとられ、戰爭でたくさんのお金をつかつた上に、いくらでも償金をしぼり取られるのですから、ドイツ國民の苦しみは非常なもので、前にお話したやうに一切のパンが若し一マルク紙

幣で買ふとすれば、トラックに積んで行つてもまだ買へないといふ位でした。そんな高いパンがある筈がないと思ふかも知れませんが、パンが高いといふのはつまりお金の値打がなくなつてしまつたからです。これはよその國のことだと思つてはなりません。日本だつて國民がしつかりしてゐないとこんなことが起らないとも限りません。先生からお話をきいたでせうが、今貯金を特にしなければならぬといふのは、ドイツにあつたやうなことが起らぬやうにするためです。だから貯金は自分のためであるがお國のためでもあるのです。皆さんもきつと貯金をしてゐるでせうね。たつたこれ位といふ考をすてて、少しでも貯金をふやすやうにしなければなりません。ドイツがよい戒めです。

それはさうとドイツが非常に苦しみもがいてゐたのは、ただお金や食物のことばかりではなく、まだほかに大切なことがあるのです。それは共産主義といふ恐ろしい思想が國内にひろがつて、國民の心を腐らせようとしたことです。

このままにしておいたらドイツは遂に滅びてしまう外ありません。しかし幸にもドイツは救はれたのです。このドイツを救ひ、新しいドイツを築き上げた人こそアドルフ・ヒットラーです。ですから今の新しいドイツを知らうとするには、ヒットラーがどんな人であるかを知らねばなりません。

九　ヒットラーの話

見事落第

世界大戰で再び立てないほどにたたきつけられて、絶望のふちに苦しんでゐたドイツ國民の魂をよびさまし、今日のやうにドイツを世界の强國の一つにきづきあげ、國民に輝かしい希望の光を與へた總統アドルフ・ヒットラーは果してどんな人でせうか。

ドイツの南方バイエルンに近いオーストリアに、ブラウナウといふ小さい町があり

ます。アドルフ・ヒットラーは一八八九年我が明治二十二年四月二十日、この町に生れたのです。ドイツとオーストリアの國境町に生れたヒットラーが、後になつてこの二つのドイツ人の國家を合併させるやうになつたのはふしぎな縁ではありませんか。

お父さんはその頃オーストリアの身分の低い税關吏でした。税關といふのは開港場や國境の町にあつて、國と國との貿易品をしらべたり、それに税をかけたりするところで、たとへば横濱や神戸にもあるし、朝鮮から滿洲國に渡る安東にもその他方々にあります。掌ほどの田畑も持たないお百姓の家に生れたヒットラーのお父さんは、十三のとき官吏にならうといふ志を抱いて職工をやりながら散々苦學し、二十三年の後やつと目的を達しましたが、それは下級の官吏でした。官吏といふのはお役人のことです。ヒットラーのお母さんのうちもお百姓で、ヒットラーの生れたときにはお父さんが五十二歳、お母さんは二十九歳でした。この貧しい一税關吏の子アドルフが、後に大ドイツを背負つて立つ偉人にならうとは誰が考へたでせう。

お父さんはヒツトラーの八つのとき恩給を貰つてお役人をやめました。もと〳〵極く身分の低い官吏であつたので、恩給といつても僅かなものでしたが、お父さんはその苦しい中からヒツトラーをリンツといふ町の實業學校に通はせました。そして口癖のやうに、

「アドルフ、お前は大きくなつたら、お父さんよりももつと〳〵えらい官吏になるんだぞ。」

といひきかせた。しかし子供心にもヒツトラーは、官吏になることが大嫌ひでした。

「お父さん、僕、官吏なんかいやです。」

といはうものなら、お父さんはさも困つたといふやうな顔つきて

「どうしていやなのだ。官吏ほどいいものはないぞ。だまつて自分の仕事さへやつてゐれば月給が貰へるし、それにやめればお父さんのやうに、ぢつとしてゐても恩給もいたゞけるんだからな。」

と官吏のよいことを說いてきかせたが、少年ヒットラーにはそんなことにはちつとも心を引かれなかつたどころか、一層官吏がいやになるばかりでした。

「僕、どうしても官吏になるのはいやです。」

「困つたやつだ、では何になりたいのかい。」

「畫家になりたいと思ひます。」

「畫家だつて、そんなものになつてどうするのだ。官吏が一番いいのだ。」

こんなにヒットラーを官吏にしたがつたお父さんは、ヒットラーの十三歳のとき、病氣でなくなつてしまひました。ヒットラーがドイツの大總統にまでなつたのを知つたらお父さんはどんなに驚き、どんなに喜ぶことでせう。

あとはやさしいお母さんの手で育てられましたが、そのうちにヒットラーは病氣にかかりました。

「このからだで、机の上で勉強させるのは無理ですよ。」

と醫者が忠告しました。そこでお母さんは實業學校を退學させて美術學校に通はせることになりました。

畫家になりたいと望んでゐたヒツトラーは、いよいよその望み通り思ふ存分繪の勉强が出來るやうになつたのですから、雀躍して喜び、病氣を忘れて一心に勉强しました。もしヒツトラーがこのまま美術學校を卒業してゐたら、りつぱな畫家にはなつたかも知れませんが、ドイツを救ふ大偉人とはならなかつたかも知れません。

ところが運命はふしぎです。美術學校に入學したヒツトラーの喜びも一寸の間で、すぐ退學しなければなりませんでした。といふのは、お母さんはヒツトラーの小さい頃からからだが弱くて病氣勝でしたが、ヒツトラーの大きくなるにつれてお母さんの病氣は重くなる一方でありました。そしてとうとうヒツトラーの十七歳のとき、お父さんの後を追つてこの世を去つてしまつたのです。負け嫌ひな氣の强いヒツトラーもこの時には聲をあげて泣いたといふことです。

お父さんの殘してくれた僅かの貯金も、お母さんの病氣のため殆ど費つてしまつたし、官吏であつた父の子としてお上からいただく金も、とても生活を支へるほどはなかつたので、ヒットラーはどうしても自分で働いて生活して行かねばなりませんでした。それにはブラウナウのやうな小さい町では不自由なので、

「さうだ都へ出て身を立てよう。」

から決心して僅かばかりの荷物を抱へてオーストリアの都ウィーンへ旅立ちました。ちようど五十年前、お父さんが十三の時、官吏になるためウィーン上つたのですが、ヒットラーはこのときも官吏にだけはどうしてもなりたくないと思つてゐました。きつとその頃のオーストリアの官吏はよくないことでもしてゐたので、少年ヒットラーの目にも官吏はいやなものとうつつてゐたのでせう。

都に出て見ると田舍の少年ヒットラーにとつては何もかも珍しいことばかりでした。苦學するつもりでウィーンの美術學校の入學試驗を受けましたが、見事落第しま

した。このときもし及第してゐたら、私たちはヒットラーの名を知ることもなかつたでせう。

何しろお金も僅かあつたのをすつかり費つてしまひましたから、何とかして生活して行かねばならないので、何か仕事がないかとウィーンの街をうろつき歩きました。しかしうまい仕事がころがつてゐる筈もありません。やつと見つけたのは建築場で、ここで大工の下働きとなり、又圖面を描いて命をつないでゐましたが、別に出世しさうな男にも見えませんでした。

かうして苦しい生活をしてゐるうちに、だん〳〵畫家にならうといふ望が消えて行つて、世の中をどうするかとか政治をどうするかといふやうなことに心を引かれて行きました。

ウィーンには五年間住みましたが、一日として腹一杯食事を口にしたことがありませんでした。働いて得たお金ではろくに食ふものも買へない位でしたが、それでも本

事をしなかつたのです。しかしヒットラーは食ふものをやめても、本を買つて暇さへあれば、一心に讀んでゐました。後に世界を動かすやうになつた智慧や力は、この時に養はれてゐたのです。偉い人は誰でもひとりでにえらくなつたのではない、みんな小さい時から苦勞して勉強したお蔭なのです。

を買ふことを忘れず、やたらに本を讀みました。讀みたい本を買ふと二度も三度も食

五年間ウィーンにゐる間に、ヒットラーの目にうつつたことは、オーストリアは種々雑多な人種がごちや〳〵に寄合つてゐることでありました。チェッコ人がゐる、ポーランド人がゐる、ハンガリー人もゐるしセルビア人もゐる。そしてオーストリアに住むドイツ人が常に他の民族に抑へつけられて、あはれな生活をしてゐるのを見て、このときもうヒットラーの胸の中には大ドイツ建設の希望が燃えてゐたのです。

ミュンヘン

一九一二年、明治四十五年の春、ヒットラーはミュンヘンに來ました。ミュンヘン

はオーストリアには近いがドイツの町で、ビールの產地として名高いところです。ここへ來たヒツトラーは、今までのウイーンとはまるでちがつたドイツの町であることがほんとに嬉しかつたのです。ウイーンのやうにいろ〳〵な人種が、ごちや〳〵と寄り合つてゐる町ではありません。まるで生れ故鄕にかへつたやうな氣がしました。ヒツトラーの生れた町はオーストリアではありましたが、やはりドイツ人の町であつたのです。

ミユンヘンに移つてもヒツトラーの貧乏は少しもかはりません。どうかして生活を立てて行かねばならないので、廣告畫工になりました。皆さんが新聞の廣告を見ても文字だけでなくいろ〳〵の圖案があるでせう、あれを畫いて貧しい生活を二年間つづけました。

しかしヒツトラーは決して只の畫工ではありません。若いヒツトラーの胸の中にはいつも愛國心が燃えてゐたのです。ドイツをもつと〳〵りつぱな國にしようといふ希

望が、ヒツトラーの心からはなれたことがありませんでした。その頃はドイツはオーストリア、イタリーと三國同盟を結んでゐましたが、ドイツがオーストリアと同盟してゐることは、ドイツのために決してよいことではないと思つてゐたヒツトラーは、ミユンヘンの小さい集に出席する毎に、

「衰へて行くオーストリアとの同盟は一日も早くやめなければならない。さうしないと今にドイツ自身が潰れるやうなことになるだらう。」

と演說しつづけましたが、誰もヒツトラーのいふことに耳を傾けるものがありませんでした。

ところが、ヒツトラーの心配してゐたことがほんとにやつて來ました。それは大正三年夏、オーストリアの皇太子が、ボスニヤのサラエボでセルビアの一青年に殺害されたといふ大きな事件でありました。この報道を耳にしたヒツトラーは、

「戰爭はきつと起るにちがひない。そしてオーストリアはきつとドイツを戰爭にさ

そひこむにちがひない。」

といふことを考へましたが、果してドイツは同盟國の約束を守つてオーストリアと共に戰ふことになつたのです。

ヒツトラーはもうぢつとしてゐられません。これまでオーストリアと同盟してゐることはドイツのためによくないことだと叫びつづけて來たヒツトラーですが、もう戰爭になつてしまつたら仕方がありません。ドイツのために兵士となつて戰爭に出ようと決心しました。そしてバイエルン聯隊に入隊することをルドウイヒ三世へお願ひしました。

「その頃の皇帝はウイルヘルム二世ではないのですか。」

きつと皆さんからこんな質問が出るでせう。皆さんがふしぎがるのは無理もありませんが、この前いつたやうに、ドイツは聯邦といつて、徳川將軍が多くの大名をひきいて天下を治めてゐた如く、ウイルヘルム二世もいくつもの國をよせ集めて皇帝になつて

ゐるので、聯邦の一つ〳〵にやはり王様があるのです。バイエルンも聯邦の一つで、その王様がルドウイヒ三世、ミユンヘンはバイエルンの都です。

さて兵士になりたいといふヒツトラーの願が聞きとどけられたでせうか。戰爭が始まつて役所が非常に忙しかつたのに、ヒツトラーが願書を出しますと、その日すぐお許があつたので、

「いよ〳〵お國のために身を捧げるときが來た。」

とヒツトラーの喜びは大變なものでした。

ユダヤ人

今の大總統ヒツトラーもそのときはただの一兵卒でありましたが、ドイツのために戰場に出るといふことはヒツトラーにとつて非常に名譽なことでありました。

進んで戰線に出て行つたのはヒツトラーばかりではありません。ドイツ國内の勞働者たちもみな祖國のために喜んで戰場に進んで行きました。この様子を見たときヒツ

トラーの胸は嬉しさで一杯でした。なぜなら誰も勞働者たちが、こんなに喜んで祖國のため戰爭に赴くといふことを考へてゐなかつたからです。といふのはドイツ國内に住んでゐるユダヤ人が、これまで勞働者たちの中に喰ひ入つて、勞働者たちの愛國心をくさらせてゐたからです。それでいざ戰爭となつたら、勞働者たちはきつと戰爭に行くのをいやがるだらうと思はれてゐたのに、勞働者たちのドイツ魂はやはり失はれてゐなかつたのです。そしてヒツトラーと同じやうに喜んでお國のために戰場に進んで行つたのです。

一體ユダヤ人といふのはどんな人間でせうか。ユダヤ人は私たちのやうに自分の國といふものがないのです。そして世界の方々の國々の中にちらばつて住んでゐます。日本人ならたとへドイツにゐようとイギリスにゐようと、ちやんと祖國日本がありますが、ユダヤ人には自分のふるさとがないのです。世界大戰後アラビヤ半島にユダヤ人の國として、パレスチナといふ國が獨立しましたが、それもほとんど名ばかりで、

今でもやはり國々の中に巣喰つてゐます。

自分の國がないといふことは、考へて見ると氣の毒なものですが、そのために心がねぢけたのか、りつぱな國をもつてゐる他の國民が羡しいのか、世界の國々を破壞しようと考へてゐるのは困つたものです。金をもうけてためることが上手で、イギリスなどでもユダヤ人の大金持が多いといふことです。ドイツ國內にも六十萬人位のユダヤ人が住んでゐますが、早くから政治、經濟、學術その他いろ〳〵な方面に根をはつて、侮ることの出來ない力をもつてゐました。

ロシヤの共產黨も殆どユダヤ人で、權力を握つてゐるといふことです。

ヒツトラーは早くから、ドイツ國家を毒するものはユダヤ人であると考へてゐました。ヒツトラーの書いた本の中にかういふことをいつてゐます。

「まだ父が生きてゐた時分、家庭でユダヤ人といふ言葉をきいたことがない。……實業學校で、私は一人のユダヤ少年を知つた。私たちは彼をかなり尊敬してゐたが

無口でなか〳〵油斷の出來ない性質を薄々知つてゐたので、彼を信用することはなかつた。私がユダヤ人といふ言葉をたび〳〵耳にするやうになつたのは十四か十五になつてからのことだ。その頃私はそれをきくといくらかいやな氣持がした。」

始めはこの位のことだつたのですが、成長するにつれてヒツトラーは、如何にユダヤ人が恐るべきであるかを知るやうになりました。

先づユダヤ人の指導者たちは、ドイツの勞働者に社會主義をつぎこみ、その愛國心をくさらせることに骨を折りました。そこへ世界大戰が起つたので、今こそドイツの勞働者たちは戰爭に反對し、戰場に出ることを承知しないだらうと思つてゐたら、勞働者の胸の中には決して愛國心が消えてはゐなかつたのです。さつきもいつたやうに、みんな祖國ドイツを護るために喜んで戰線に向つたのです。これはヒツトラーにとつて實にうれしいことでありました。

かはつた祖國の姿

大戰が始まつてから三年目の十月、ヒツトラーは脚に負傷して戰線から送りかへされ、ベルリン郊外の病院のベツトに横はつてゐました。しばらくすると歩けるやうになつたので、許を得てベルリンの街に出て見ると驚きました。二年振りに見る故國ドイツは何といふかはり方でありませう。どこを見てもベルリンの街には戰爭に疲れて困つてゐるといふやうな人の顏が目にうつりました。

全快した後は豫備步兵大隊に編入されて、ミユンヘンに來ましたが、ミユンヘンはベルリンよりももつと〳〵ひどくなつてゐました。昔のミユンヘンの姿をどこにも見出すことが出來ません。政府のいろ〳〵な役所はすべてユダヤ人に占領されてゐたし役所で働いてゐる人々もみんなユダヤ人で、產業の方もすつかりユダヤ人に權力を握られてしまつてゐました。ドイツ人が戰線に出て、祖國のために戰つてゐる間に、ユダヤ人はドイツを支配しようと企ててゐるのです。ヒツトラーのユダヤ人に對するに

くしみの心はもう抑へることが出來ません。

まもなく前に話したやうに、ロシヤに革命が起つてドイツと講和してしまひ、聯合國側の翼が一枚とれてしまつたので、ドイツにとつてはまことに都合のよいことでありましたから、今こそフランスやイギリス軍を思ふさまやつつけようと、ドイツ軍は大攻撃の命令を待つてゐたとき、不意にドイツで大きなストライキが起りました。ストライキといふことを知つてゐますか。日本の言葉でいへば總罷業で、たとへば工場などで働いてゐる人が一度に仕事をしなくなることなのです。

このドイツのストライキのかげにはユダヤ人がゐたことはいふまでもありません。ユダヤ人たちは自分たちの利益のためには國家なんかどうでもよいのです。ヒットラーは齒をくひしばつて殘念がりました。そして心の中で將來も政治家となつて、ドイツをユダヤ人の手から救はねばならぬと堅く決心したのでした。

二度目の涙

八月から九月にかけて、ドイツの敗け色がいよ〳〵はつきりして來ました。敵の攻撃が物すごくなつたわけではないのですが、内から崩れて來たのです。大正七年の秋になるとドイツ軍の規律が益々亂れて來ました。ヒットラーは再び戰線に立つて、意氣地のない味方の樣子を見て齒がゆくてたまりませんでしたが、その頃のヒットラー一人の力ではどうすることも出來なかつたのです。

十月十三日ヒットラーたちはヴェルウィックの南方の小さい丘に陣取つて、イギリス軍の攻撃を防いでゐました。晝間はさほどでもありませんでしたが、日が暮れると物すごい敵の砲撃が始まりました。

「來たな、來るなら來て見ろ、どんなことがあつてもこの陣地を退かぬぞ。」

味方は必死になつて防ぎました。

しかしまもなく恐ろしいことが起りました。

「やつ、敵は毒ガスを使つてゐるぞ、氣をつけろ。」

誰かが叫びましたが、敵が毒ガスを使用してゐることがわかつたのです。敵の毒ガスは實に猛烈でした。ガスマスク位ではそれを完全に防ぐことが出來ません。味方はばた〱倒れて行きます。もう殘つてゐるものは僅かです。ヒツトラーもここで祖國のために死んで行くのだと思つてゐましたが、もしここでヒツトラーが戰死したら、ドイツは今どうなつてゐることでせう。

敵の毒ガス彈は一晩中あばれまはり、ヒツトラーも、その破片を受けましたが、尚も夢中になつてたたかつてゐました。しかし朝になると、だん〱負傷が痛んで來ました。兩方の目がこげつくやうに痛い。もうとてもぢつとしてゐられないほどで、七時頃しつかりと兩方の目をおさへたまま、後の方にたどりつきましたが、それからしばらくすると兩方の目は火のやうに眞赤になると一しよに、まはりがすつかり暗くなつてしまひました。盲目になつたのです。それからポメラニアのパーゼワルクといふ町

の病院に送られました。そしてここで思ひがけなく革命を見たのでした。
病院のベットには多くの傷を受けた兵士たちが横はつてゐましたが、誰もかれも戰爭のおしまひがどうなるかといふことを語り合つてゐました。ヒツトラーは目が見えないので、新聞を讀むことが出來ませんでしたが、或日、キールの水兵たちが何か亂を起したやうなことを耳にしました。キールは有名なドイツの軍港です。
しかしその樣子をはつきり知ることが出來ないので氣をもんでゐると、十一月になつて水兵たちが貨物自動車で乘りこんで來て、病院の兵士たちに革命の仲間にはいれとすゝめました。それを指揮してゐるのは四五人のユダヤ人であることを知つて、ヒツトラーはくやしくてたまりませんでした。
目はだん〳〵よくなつて來ましたが、よくなつて來る目にうつることは何もかも情ないことばかりでした、十一月十日。一人の牧師が病院に來ました。多分慰問に來てくれたのでせう。その牧師はだいぶん年をとつてゐましたが、ヒツトラーたちの前で

短かい演説をしました。その聲は始めから涙にしめてゐましたが、

「今や ドイツ帝國は滅んで、我が祖國は共和國となつてしまひました。」

といつたとき、老牧師の聲はふるへ、目に一杯涙をためてゐました。

この老牧師のお話で何もかもわかりました。ドイツ帝國は遂に戰に敗れて滅んでしまつたのです。いえ、ユダヤ人のために滅されてしまつたのです。ヒットラーはあまりのことに胸がはりさけるばかりで、老牧師の言葉をおしまひまできいてゐられませんでした。

「母が死んだ時のほかに私はまだ泣いたことがなかつた。戰友が次々に倒れて行つたことを思へば、毒ガスで目をやられた位何でもない。私は自分が盲目になつても泣かなかつたが、ドイツ帝國が倒れたことを知つた時にはどうしても泣かないではゐられなかつた。國家を救ふのは國民の義務である。自分の運の悪いことを歎くのは私事である。私はこの時、初めて私事の輕いことを知つた。」

とヒツトラーが自分でいつてゐるやうに、政治家となつてドイツを立て直さうとの決心を一層かためたのはこの時のことです。

一發やらう

その年の十一月末、ヒツトラーは再びなつかしいミユンヘンにもどつて來ましたが何一つ面白いことはありませんでした。革命の火はいよ〳〵ひろがつて行くばかりでユダヤ人の指揮する共産黨の天下となつてしまひましたが、誰もそれをどうすることも出來ません。

その頃ヒツトラーはまだ名もない青年でしたが、その燃えるやうな愛國心は、共産黨にとつて氣味の惡いものでした。何とかして今のうちにこの邪魔者をやつつけてしまひたいとつけねらつてゐたのはあたりまへのことです。

次の年の三月二十七日夜明け方、ヒツトラーは部屋の外で急にあらい足音が聞えたので、何事かと思つてゐると、やがて外から侵入して來たのは三人の男でした。

「勝手に他人の部屋に入つてくるといふことがあるか。」

ヒツトラーがどなりつけると、三人が

「だまれ、我々は命令を受けてお前をつかまへに來たのだぞ。」

といつしよになつてヒツトラーをつかまへようとしました。

けれども幾度か戰場をくぐつて來たヒツトラーは少しも騷がず、

「よし、つかまへるなら、つかまへてみろ、その前こいつを一發やらう。」

とすばやく銃を取上げて三人の前につきつけました。すると三人の男は始めの勢はどこへやら、青くなつて逃げて行つてしまひました。

演說會

それから後ミユンヘンは、共產黨の手からのがれて、新に社會民主黨の政府がうち立てられましたが、ヒツトラーはこの政府の調査委員といつて、物事を調べる役をいひつけられました。

「四五日中に「ドイツ勞働者黨」といふ名で演說會が開かれるはずだから、どんな人がどんなことをやるのかしらべて來い。」

ヒツトラーは或日からいふ命令を上官から受けたので、兎に角その演說會に行つて見ることにしました。

演說をしたのはかなり名の知られたフエーダーといふ人で、この人の演說をきいてゐるうちにヒツトラーは何となくうれしくなりました。自分の考へてゐるやうなことをいつてくれたからです。演說が終つたのでかへらうと思つて立ちかけると、突然一人の紳士が立つて、

「私はフエーダーの意見に反對である、我々はこのバイエルンをプロシヤから獨立させて、オーストリアと結んでドイツ帝國を建てなければならない。」

といひ終ると、ヒツトラーはもうぢつとしてゐられませんでした。いきなり立つてヒツトラーが演說を始めました。ヒツトラーは演說會をしらべに行つて自分が演說する

なんてをかしなことですが、この紳士のまちがつた考をこのままにしておくことが出來なかつたのです。みんなは、

「この若者は何をいひ出すのか。」

と始めは馬鹿にしてゐましたが、ヒツトラーの燃えるやうな愛國の聲はいつのまにか人々の血をわき立たせ、誰一人聲も立てずにきいてゐました。ヒツトラーはこの成功に得意になつてかへつて來ました。

ところがそれから一週間もたたないうちに、ヒツトラーのところへ一通のハガキがとどきました。何だらうと思つて讀んで見ると、

「君をドイツ勞働者黨の黨員にして上げるから、來る水曜日に出ておいでなさい。」

と書いてありました。

ヒツトラーはそれを見て始めをかしく思ひました。

「これはこのあひだ演說會を開いた人たちだ、僕をさそひ入れようとするのだな。

ないと考へて、水曜日が來るとハガキに書いて

と思ひましたが、まあ兎も角行つて見ようと考へて、水曜日が來るとハガキに書いて

あつた時刻に、書いてあつた場所に行つて見ました。

行つて見るとヒツトラーを新しい仲間に加へるといふ手續きをすることになりました。ところが「ドイツ勞働者黨」といふといかにもりつぱさうですが、その仲間つまり黨員は僅かに六人しかゐないのです。これにはヒツトラーもあきれましたが、ほんとにドイツを思ふよい人たちの集であつたので、もう笑ふことが出來ませんでした。

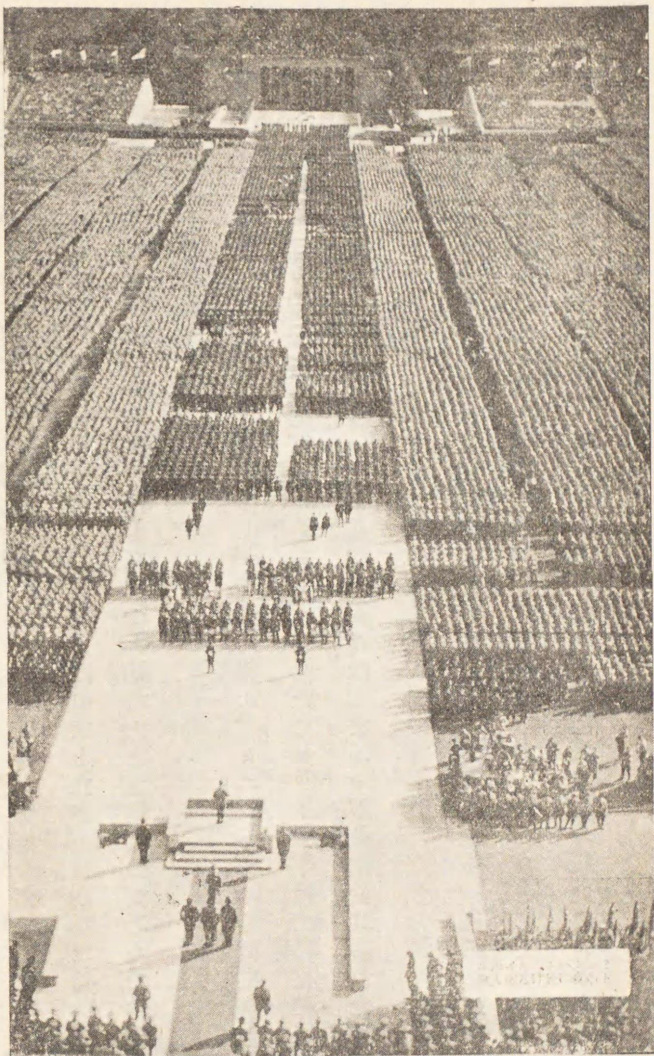
入らうか入るまいかとまよつて、その日はそのまゝかへつて來ましたが、それから二日の間いろ〳〵と思案をしたあげく、とう〳〵その黨員となる決心をしました。そして第七番目の黨員章を與へられたのですが、これこそヒツトラーが政治に足をふみ出す第一歩であつたのでした。

しかしヒツトラーたちの運動は始めはまことに小さいもので、ミユンヘンでは誰も

黨の名前さへ知らない位でした。會合を開いてもさつぱり人が集つて來ません。或時ヒツトラーは演說會を開くため八十枚の切符をくばりましたが、會が始まる時刻になつても誰一人來ないので、一時間のばしてやつと始めたとき集まつてゐたのは仲間の七人だけでありました。

これではいけないと思つて仲間が少しづつ金を集め、ミユンヘンの新聞に廣告しますと、そのときは夕方の七時に百十一名も集りました。ヒツトラーは二番目に三十分ほど演說しましたが、小さな會場に集つた人々は、まるで電氣にかけられたやうになつて、ヒツトラーの言葉に耳をかたむけました。

これからヒツトラーの働きは實に目ざましいもので、やがて三十一歲のヒツトラーによつて生れたのが即ち「國民社會主義ドイツ勞働黨」で、これを略してナチスとかナチとか呼んでゐるのです。ナチスといふ名は新聞でも度々見たことがあるでせう。

ミユンヘンにおけるナチス黨大會

その後十何年の間ドイツのために働きつづけて來たヒットラーのナチスは、いつのまにかドイツの政治をしつかりとその手におさめてしまひ、一九三四年にはヒンデンブルグ大統領がなくなると、そのあとをついだヒットラーによつて、新しいドイツがうちたてられて行きました。

どこがえらい

ヒットラーがやつた仕事についてはあとでお話することにしますが、ここでヒットラーがどんな人であるかをつけ加へておきませう。ヒットラーは現代のドイツ、いやドイツばかりではない世界の英雄であるけれども、そのえらさはどこにあるのでせうか。

ヒットラーのからだから湧き出る精力は實に驚くばかりで、その働く時間は毎日十八時間以上だといはれてゐます。するとあとはたつた六時間足らずですから、實際眠るのは三時間か四時間位でせう。たつたそれだけ眠つただけで、あんなすばらしい働

りません。ナポレオンもやはり四五時間しか眠らなかつたさうですが、英雄の眠る時間は割合に短かいのです。しかしその代りその短かい時間の間に、他の人の七時間、八時間にもまさつてぐつすり眠るのです。いくら長い時間眠つても、夢ばかり見たり、うつ〳〵して眠つてゐるのか目をさましてゐるのかわからないやうな眠り方ではだめなのです。どうです皆さんはぐつすり眠れますか。

たつた三四時間の眠りであんなに活動出來るのは、きつと滋養分の多いおいしい物を食べるからだと思ふかも知れませんが、意外にもヒツトラーは菜食であります。菜食といふのは肉や魚を口にしない、野菜類ばかりを食べてゐることで、昔から長生をした人々は菜食の人が多いのです。これを考へると御馳走を食べなければ丈夫になれないと思ふのは大間違ひです。その上ヒツトラーは酒、酒といつてもビールでせうが少しものまないし、煙草もすはない。いや、いそがしくて酒も煙草も口にするひまさ

へないのかも知れません。

ヒツトラーは大きな武器をもつてゐます。ピストルでせうか、劍でせうか、いやそんなものではありません。ピストルでも劍でもまさかの時には僅かに一人か二人の命を奪ふことしか出來ませんが、ヒツトラーの武器は何百人何千人いや何萬何百萬人の心を動かすことが出來るのです。何でせう、それはヒツトラーの雄辯であります。雄辯といふのは演說の上手なことです。ヒツトラーはこの雄辯の力によつて人々の心をすつかりつかみ人々の心を自由に動かすことが出來るのです。實にピストルよりも劍よりもつと〳〵大きな力ではありませんか。しかしかういつたからとてヒツトラーがただ口先がうまいとか、話が上手だといふだけではありません。勿論話もうまいでせうが、それよりもヒツトラーの雄辯の尊さはその火のやうな熱です。眞心です。それで人々は動かされるのです。さつきヒツトラーが若い時に小さな會場でやつた演說が忽ち人々を感じさせたことを話しましたが、ヒツトラーが「我がドイツ國民諸君」

と呼びかけると、もう人々はその雄辯に醉はされてしまうのです。いつかラヂオでヒットラーの演說が日本にも中繼されたことがありましたが、これからもきつとあるでせうから、よく氣をつけてゐてきいてごらんなさい。たとへ意味がわからなくてもヒットラーの魂がラヂオを通して傳つて來るでせう。

　ヒットラーは非常にすぐれた才能をもつてゐることはいふまでもありませんが、ただ生れつきの才能だけではえらくなれません。もう一つ大切なことは努力です。さつきもいつた通り一日に十八時間以上も働くといふことが、普通の人の出來ることではありませんが、ここで忘れてならないことは、ヒットラーは常にただ一つの目標に向つて進んでゐるといふことです。ヒットラーの目的はたつた一つ、その目的のためにはどんな邪魔物があらうと障碍があらうとこれをつき破つて行くので、たとへ天才があつても努力はしても度々目標をかへるやうでは、どの目的も達することが出來ません。

ではヒツトラーのただ一つの目標といふのは何でせうか、それはりつぱなドイツ國

を作り上げるといふことであります。これより外にヒツトラーは考へたことがないです。寝てもさめても大ドイツの建設といふことだけがヒツトラーの頭の中にあるのです。ドイツ國民はヒツトラーを尊敬してゐるけれどもユダヤ人のやうにヒツトラーに敵意をいだき、ヒツトラーの命をねらつてゐるものも少くないでせうが、

「私がドイツのために働いてゐる間は決して自分に彈丸はあたらない。」

と信じて、危いやうな場所へも平氣で出かけて行くさうです。何といふ強い信念でせう。

しかしヒツトラーのめざましい働きを見て、ただ智慧のすぐれた策略に長じた人だと考へるのは大きな間違ひです。ヒツトラーは實に正直な人なのです。ヒツトラーに出會つた或人が、

「私はヒツトラーをえらい人だといふことはあまり感じなかつたが、正直で決して嘘のつけない人だと思つた。」

といつてゐる位です。

毎日の生活は大變質素で、お金に對して少しも慾がありません。自分の俸給さへも一切身につけないで寄附してしまふといふことです。それではどうしてくらすかといへば、自分の書いた本のお禮を本屋から貰へる、それがヒツトラーの生活の費用になるといふことであります。

ハイル・ヒットラー

こんなに自分のことを少しも考へないで、只國家のことしかヒットラーの頭にないのですからドイツ國民のヒットラーに對する尊敬は非常なものです。ベルリンのウィルヘルム街七番地に十七世紀の古びた建物がありますが、ここがヒットラーの住居です。建物の前にウィルヘルム廣場があつて、いくつかのベンチがならんでゐますが、雨が降らうが風が吹かうが、そこには年中群集がゐないことはありません。どうかしてヒットラーが出入りする姿を、一目でもいいから見たいといふのが、ドイツ人の望みなのです。時折窓をあけて、ヒットラーの姿が露臺に現れようものなら、人々はもう氣狂ひのやうになつて、

「ハイル・ヒットラー」

と叫びます。これは「ヒットラー、萬歳!」といふ意味です。するとヒットラーは右手を高くあげてこれに答へるのです。私たちが「今日は」と挨拶するやうにドイツ人

といつて挨拶をします、それがいつのまにか、「ハイラー」と聞えるやうになつたほど、どんな人でもこの挨拶を交します。だから日本人がドイツ人に會つて、この挨拶をやるときつと喜ぶにちがひありません。

ヒツトラーは即位こそしてゐませんが、ドイツの皇帝のやうなものです。まるで神様として崇拜されてゐます。ドイツに行くとよくヒツトラーとヒンデンブルグの肖像がならべてかかげてゐます。

ヒンデンブルグ元帥は世界大戰の時ドイツ軍を指揮した有名な將軍で、大統領となつて國民の尊敬を一身に集めましたが、昭和九年にこの世を去つた人であります。この二人の偉人がフレデリック大王と一しよにならんだ石版畫もよく賣てゐます。

實にヒツトラーの出たことによつてドイツは元氣づき、擧國一致大ドイツの建設に

向つて進んでゐるのでありますが、ヒツトラーのナチスがどんなにしてドイツを統一して來たか、それからどうして世界の舞臺で活動するやうになつたか、改めてお話することにしませう。

さう〳〵もう一つヒツトラーについてつけ加へておくことがあります。ヒツトラーはまだ夫人がない位ですから子供のある筈もありませんが、非常に子供が好きで、子供たちもヒツトラーが大好きです。ヒツトラーが子供好きなのは子供が可愛いからでありますが、もう一つ子供は將來のドイツを背負つて立つ大切な國の寶だと考へてゐるからでありませう。ドイツの子供はドイツの寶なら、日本の子供は日本の寶です、これからの日本をもつとりつぱにして行くのは皆さんです。このことをしつかり心にとめておいて下さい。

十　ナチスの話

ナチスの誕生

今のドイツはヒットラーのドイツであり、ナチスのドイツです。ですから今のドイツを知るためには、ヒットラーを知り、ナチスを知らねばなりません。それではこれからナチスがこれまでどんなことをして來たかをお話しませう。

この前、ヒットラーがドイツ勞働黨の仲間に入つたことをお話しましたが、このドイツ勞働黨といふのは名前だけはりつぱだけれども、黨員はヒットラーを加へてたつた七名しかなかつたのです。

それから黨員は度々演說會を開きましたが、いざ開いてみるといくら待つても人が集まつて來ませんでした。しかし決して落膽しないでいろ〳〵工夫して人を集めることに骨を折りました。

ヒットラーがドイツ勞働黨の仲間に入つてから、數ヶ月たつて、今までの黨首ドクスラーに代つてヒットラーが黨首になりました。黨首といふのは黨を率ゐる一番頭です。そのときはやはり黨員は自分を加へてたつた七人しかゐないし、黨の財産が僅か三圓七十五錢だつたのですから、小さい黨でありましたが、この頃からヒットラーは人の上に立つえらいところがあつたにちがひありません。

やがてヒットラーによつて黨の名がかへられました。それが「國民社會主義ドイツ勞働黨」といふ長いむづかしい名で、前にいつたやうにナチスとかナチといふのはそれを略したものです。

そして一九二〇年二月には、この「國民社會主義ドイツ勞働黨」の名で始めて演説會を開きました。

ナチスの旗じるしの下に、演説會が開かれたのは、これが最初であつたのです。いはゞナチスの誕生を世の中に知らせる第一聲であつたのです。

るのがこれが始めてでしたが、ヒットラーの雄辯は忽ち人々を感激させ、人々は我先きにとお金を出しました。次から次へと箱の中に投げこまれる銀貨や白銅の音を聞いて仲間の者は、

「ありがたい、今にナチスの天下になるぞ。」

とおどり上つて喜びましたが、それがやがて事實となつたのです。

監獄

たつた七人から出發したナチス黨は一九二〇年の五月には百三十人の黨員となり、十月にはもう一千人に達し、日に月に大きくなつて、三年後にはバイエルンの一大政治勢力となりました。それを喜ばなかつたのは共産黨です。共産黨はナチスの成長を妨げようとして必死になりました。

そこでナチスの方では突撃隊を組織して、共産黨に備へましたが、ナチスと共産黨

とはいつか衝突しなければならなかつたのです。

一九二三年十一月八日の夜、ミユンヘンに大騒動が持ち上つて、あらしのやうにミユンヘンを吹きまくつたナチスは、その翌日ヒツトラーやルーデンドルフ將軍を先頭にミユンヘン市街をねり歩きました。

しかしそのとき不意に現れた警官隊のため、さん〳〵な目にあひ、まもなくヒツトラーもその友人もみんな捕へられました。

ヒツトラーは革命を企てた罪で、五ケ年の刑をいひ渡されて、ランズベルクといふところの要塞監獄に投げこまれました。監獄は日本では刑務所といつてゐますが罪人を入れるところです。

監獄には小さい中庭があつてそのまはりに十二の部屋があり、ここに十二人のナチス黨員が入れられてゐました。

一日にたつた二時間だけ小さい中庭を散歩することを許されましたが、後の總統ヒ

ツトラーもこの中庭の散歩が一番うれしい時で、

「青空が見える。〳〵」

といつて子供のやうに喜びました。

中庭に出ると黨員と共にいろ〳〵なことを話しましたが、一言も政治のことを口にせず、空の太陽や月や星について話すばかりでした。

「僕はどうも月はきらひだね、何だかまるで死んでゐるやうだから。」

ヒツトラーは最もたよりにしてゐる仲間のヘスに向つて時々こんな話をしました。ヒツトラーはやはり燃える太陽のやうな人ですから、月が嫌ひなのも無理がありませんが、このときには大雄辯家の姿も革命政治家の姿はどこにもなく、まるで死んだ月のやうでした。

けれどもヒツトラーは死んではゐなかつたのです。或る日ヘスが、ふいにいひました。

「ちようど今が一番よい時だと思ひますが。」
「それは何のことだ。」
「我々ナチスの運動を天下に知らせるために本を書くときだと思ふのです。」
「さうだ、たしかにさうだ。」
ヒツトラーの目は喜びに輝きました。そして八百頁の「我が戰ひ」といふ大きな書物がこの牢屋の中で書き上げられたのです。

演說禁止

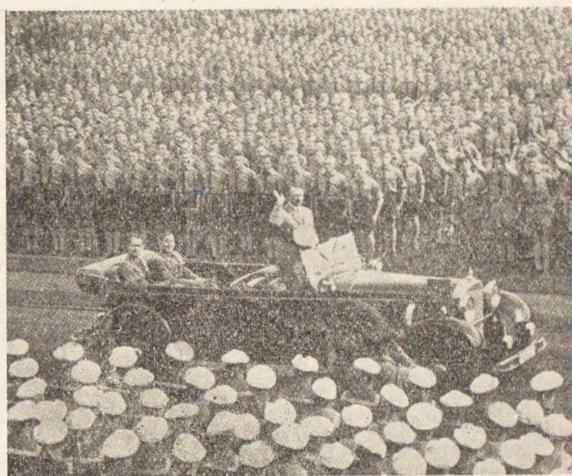
幸なことにヒツトラーは、まもなくゆるされて監獄を出ました。しかしそのときには、ナチスの網がすつかり破れてしまつてゐたので、もう一度結びなほす必要があつて、ヒツトラーはぢつとかくれてゐてどこにも姿を現しませんでしたから、どこにゐるのかさへわかりませんでした。
「ヒツトラーは故鄕へかへつてゐるさうだ。」

「ヒットラーは政治を思ひきつてしまつたさうだ。」
こんな噂が方々に聞えました。
ところがまもなくヒットラーは再びミュンヘンの演說會に現はれるといふニュースがどこからか聞えて來ました。その夜三千人の人々がホフプロイハウスといふ會場にぎつしりとつまり、まだ外には千人の人々が一言でもヒットラーの聲を聽かうとして立ち騷いでゐました。人々はまるで凱旋將軍を迎へるやうに氣狂ひのやうになつて、ヒットラーの一語一語に拍手を送りました。
「これは大變なことだ、又何か起るかも知れない。」
おどろいたバイエルン政府は、遂にヒットラーに對して、
「今後演說してはならぬ。」
といふ禁止令を出しました。ヒットラーの最も恐るべき武器雄辯を奪つてしまつたのです。それはバイエルンだけではなくプロシヤでもサクソニヤでも禁止せられ、ヒッ

トラーの演説を許されたのは、ドイツ國內でただメクレンブルクとチューリンギアといふ小さい二州ばかりでした。

ヒットラーの演説が止められた位ですから、ナチスは頭から抑へつけられました。一番ひどい目にあつたのは突撃隊で、すべての武器は取上げられ、鉛筆をけづるナイフ一つ持つてゐてもすぐつかまへられるといふ有様でした。しかしこれでナチスはもう立ち上れなかつたでせうか。

二年の後ヒットラーの演説がやつと許されたとき、ミュンヘンのチルカスクローネといふ七千人まで入れる大會場に、八千人が身動き出來ないほどにつめかけ、まだいくらでも蟻のやうにつづいて押しよせました。

その年の六月六日、ヒットラーが監獄を出てから最初のナチス黨大會が開かれたとき一萬の黨員が集まりましたが、エッセンの坑夫たちは、親分ヒットラーの顔が見たくて、トラックで四十時間ゆられながらはる〳〵やつて來たほどでした。

もうふくれ上るナチスを壓へることは出來ません。忽ち黨員は二倍となり三倍となり十倍となり、共產黨その他の反對黨がどんなに邪魔をしようとしてもただのびるばかり。かうして一九三三年にはヒットラーは總理大臣になつて、內閣を組織することになりましたから、いよ〱今までのナチスの考へてゐたことを、どし〱實行して行きました。

街頭のヒットラー

その中で大切なことの一つは、一九三五年(昭和十年)にナチスの旗をドイツの國旗と定めたことであります。

ドイツ國旗

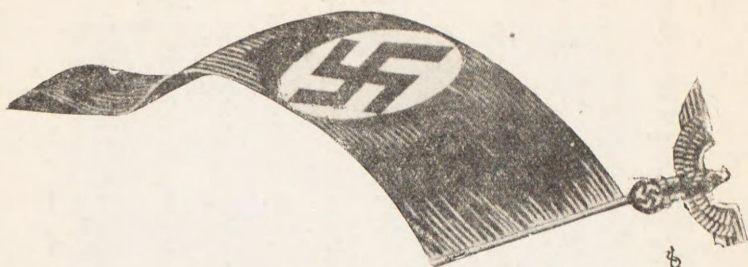
皆さんはドイツ國旗を知つてゐますか　この頃よく日本、ドイツ、イタリー三國の國旗がならべてかかげられますから、きつと皆さんも見たことがあるでせう。

「地圖にあるお寺のしるしと同じです。」

といふ人があるかも知れませんね。成程非常によく似てゐますが、少しちがつてゐます。地圖のお寺のしるしは卍といふのですが、ドイツ國旗は卐で、お寺のしるしと反對になつてゐます。

これにはどういふ意味があるのでせうか。

ドイツの國旗は始めナチス黨のしるしとして用ひられたもので、赤色の地の中央に白色の圓をぬき、その中に今いつた卐が黒色でかかれたものです。この逆卍のことをドイツではハーゲン・クロイツ、日本語でいへば鉤十字と呼んでゐます。このしるしはドイツ人の先祖が大昔使つてゐた發火器を圖案化したもので、昔から神聖な尊い

ナチス旗

ものとされてゐたのです。しかしもう一つはヨーロッパの北の方でトロール神の槌として魔除にされてゐたものだともいはれてゐます。トロールの神といふのは雷の神様で、一つの鐵の槌を持つて巨人たちとたたかつたのだといひ傳へられてゐます。それはまあどうでもよいとして、このしるしは光明と幸福のしるしで、赤色は熱血、赤誠、太陽をあらはしたものなのです。序にいつておきますが、帽章その他のしるしに兩翼をひろげた鷲が圓におさめられた鉤十字をつかんでゐる姿が、用ひられてゐるのを皆さんも見たことがありませう。

第三國家

これまで度々話しましたが、ドイツは聯邦といつていくつかの

國がより合つて一つになつてゐるので、うつかりするとそれがゆるんでばら〳〵にはなれてしまひやすいので、聯邦をやめて全ドイツを一つにするといふことは、今までも考へられたのでしたが、ビスマルクのやうなえらい人でさへ、それをやることが出來ませんでした。ところがナチスは、りつぱにやりとげてしまつたのです。そこで始めてほんとに統一したドイツ國家が出來上りました。

一九三四年、ドイツ國旗が定められた前の年の八月二日、ドイツ共和國の大統領として、ドイツ全國民の尊敬を一身にあつめてゐたヒンデンブルグ將軍が、八十七歳でこの世を去りましたので、ヒツトラーは總理大臣であるとともに、將軍のあとをついでドイツを治めることになりました。

ヒツトラーは皇帝でも王様でもないのですから、ドイツはやはり共和國のやうですが、ナチスドイツはフランスやアメリカ合衆國のやうな共和國とはよほど様子がちがつてゐます。ヒツトラーも大統領といはないで「指導者」といふ名を用ひてゐるので

すが、まあ世間でいつてゐるやうに總統としておきませう。

このナチスのドイツ民族を統一した國家を、「第三國家」といつてゐます。第一國家は九六二年にオットー大帝の築いたドイツ、それから一八七一年ビスマルクが建設したドイツ帝國が第二國家、そして今ナチスのドイツが第三國家なのです。

十一　ヒットラー周圍の人々

第三國家のドイツが出來上つたのはまだ間のないことで、これからどんなにのびて行くか見物でありますが、これまでにきづき上げたヒットラーは兎に角えらいものです。しかしヒットラーがどんなにえらくとも、たつた一人でこれだけの大きな仕事をなしとげることが出來ません。ヒットラーのまはりにヒットラーをたすけるりつぱな人々がゐるからです。

ではヒットラーの周圍にはどんな人々がゐるかといひますと、一人や二人ではあり

ませんが、よく新聞や雜誌に出てくる主な人々のお話だけ少ししておきませう。

ヘルマン・ゲーリンク

ゲーリング航空相

寫眞で見ると一寸ムッソリニーに似た顔ではありませんか。一八九三年一月、バイエルンのローゼンハイムに生れました。お父さんはもとのドイツ領西南アフリカの總督であつたといふから、りつぱな家庭に育つた人です。中央幼年學校を優等の成績で卒業すると、ミユールハウゼンの歩兵聯隊に入りましたが、まもなくミユンヘン大學で歷史と國民經濟といふ學問を學びました。世界大戰が起ると第百十二聯隊と共に出征、斥候として非常に功を立てましたが、しばらく病氣のため野戰病院に入つてゐました。それから二十一歲の

とき空軍に入つて、一九一八年有名なリヒトホーフェン飛行隊長として敵機二三機を射落して勇名をとどろかせました。

大戰後の講和條約でドイツは今後空軍をおくことはならないときめられてしまつたので、飛行隊を解散しなければならなくなりましたが、そのときのゲーリンクの殘念さはどんなであつたでせう。今にきつと強いドイツ空軍を作つて見せると心に誓ひ、涙をのんでしばらく飛行隊とお別れしました。現在のドイツ空軍がゲーリンクの力によつて、めざましい發展をとげて來たことを思ふと、人の一心は恐ろしいものだと思ひます。

今ゲーリンクは元帥で航空大臣、ドイツの空軍と航空界を一身に背負つてゐる人で非常な親日家つまり日本びいきの人です。日獨防共協定が結ばれたのはゲーリンクの骨折によることが少くないのです。

ヨセフ・ゲツベルス

この人は宣傳大臣です。宣傳大臣といふと日本にはありませんが、ナチス政府がいろ〳〵の仕事をやつて行く上には、それを正しく國民に知らせなければならない、さうして國民がナチス政府を信頼し、みんな力を合せて行かねばならないが、さういふ役目をするところが宣傳省でその大臣が宣傳相です。宣傳省の仕事は新聞、ラヂオ、映畫等いろ〳〵の方面があつて、國民を導いて行くところだと覺えておけばよいでせう。

ゲツベルスはからだが小さくて、おまけにやせてゐるので、一寸見ると如何にも弱弱しさうに思はれるのですが、一度壇の上に立つて演説を始めると、どこからあんな力が出るかと思はれる位、その一言々々が、きいてゐるものの胸に深く入りこんで行くのです。

一八九七年ラインランドに生れボン、ミユンヘン、ケルン、ベルリン等の大學で歴

史や言語學といふ學問を勉强し、ハイデルベルクの大學で哲學博士を授けられました。それから一九二二年ナチスに入ると、その雄辯がヒツトラーにみとめられて、ぐん／＼力を伸し、その雄辯と文章は何人も眞似が出來ないといはれてゐるほどです。

ルドルフ・ヘス

ヘスは現在副總理で、ゲーリンクやゲツベルスと共にヒツトラーのあとつぎと考へられてゐる位で、ヒツトラーのよい相談相手であります。ヘスは一八九六年四月エヂプトのアレキサンドリアで生れ、そこのドイツ學校を卒業すると、父の店につとめてゐました。世界大戰のときは出征して、ヴエルダンの戰で斥候となつて重い傷を受け、一時は戰死したものとばかり思はれてゐたのですが、全快したヘスは更に飛行學校に入り卒業後はゲーリンクに劣らぬ荒鷲となつて西部戰線をあばれまはりました。

一九二四年にヒツトラーがミユンヘンで演說をするのを聞きに行つてすつかり感心し、さつそくナチスに入つて、熱心に働きました。そのため反對のものからねらはれ

二度も負傷し、七ケ月も牢屋に投げこまれたといふほどで、その雄辯もゲッベルスに劣らぬといはれてゐます。

ヨアヒム・フオン・リッペントロップ

ノイラート男のあとをついで外交大臣となつた人で、ラインランドの生れです。日獨防共協定の成立につくしたリッペントロップは今外相としてナチス外交の陣を進めようとしてゐます。

アルフレッド・ローゼンベルグ

ナチス黨の外交部長で、リッペントロップと手をとつて、ナチス外交を背負つてゐる人、一八九三年その頃のロシヤ領で大戰後獨立したエストニアの首府タリンで生れました。モスコー大學で建築を學び、卒業後ドイツに來たとき初めてヒットラーの演説を聞いてすつかり感心し、すぐナチスの仲間入りをしたといふ人です。

ワルデル・フンク

長い間ドイツの經濟に力をつくしたシャハト博士が、昭和十二年十一月にやめたあとに、經濟大臣となつてゐます。經濟大臣といふのは大藏大臣と商工大臣とを兼ねたやうなものなのです。一八九〇年東プロシャに生れ、ベルリン、ライプチヒ等の大學で勉强し世界大戰にも加はつたことがあります。ナチスドイツの臺所をきりまはして行く重い役目を引き受けたフンクは、これからきつとすばらしい働きをすることでせう。

ヒツトラーの周圍にはまだ〳〵えらい人がいくらもゐますが、この位にしておきませう。ところでこの人たちがそろひもそろつて、大へん若い人であることは賴もしいではありませんか。ゲーリンクは四十四、ゲツベルスは四十、ヘスは四十一、リツベントロツプが四十五、ローゼンベルクは四十四、フンクが四十九、みんな五十にならない人ばかり、この若い人々がヒツトラーを中心に心をそろへ、力を協せて、若いドイツの成長のために、一身を捧げて働いてゐるのは實にえらいものだと思ひます。

十二　ナチスの外交

聯盟脱退

さてこれまではナチスがドイツ國内を統一したことを話しましたが、これから少しナチスドイツが外國に對してどんな働きをしたかつまりナチスの外交について話してみませう。

昔からドイツとフランスは仲が惡いときまつてゐます。そこで世界大戰に勝つたフランスはヴェルサイユ條約で、もう二度ドイツが立てないと思はれるほどの重荷を負はせたことは、この前お話した通りで、そのときのドイツは實にあはれなものです。領土は四方八方からけづり取られるし植民地は取上げられる、兵隊を置いてはならないといふし、おまけにとても拂へさうにもないたくさんの償金をいひつけられました。こんなにまでおさへつけられたら、もう立ち上がれない筈なのですが、ドイツ國

民はこの苦しさをたへしのんで少しづつ頭をあげて來ました。しかし一番困つたのは一切のパンを買ふのに、紙幣束をかかへて行かなければならぬといふやうになつたことで、こんなにひどくなると、ドイツから償金をとることも出來ないといふので、アメリカ合衆國なんかの力で、ドイツが立ちなほれるやうに骨を折りました。さうしてドイツも國際聯盟の仲間にはいるし、一九三三年には償金も三十億マルクにまでへらされることになりました。

しかしやはりドイツの苦しみは輕くならないし、いつまでも動けないやうにしばりつけられてゐることはドイツ國民は承知出來ません。早くドイツをしばつてゐるヴエルサイユ條約といふ繩を切りすててしまへといふ聲が、いつとはなしにドイツ國民の間に起つて來ました。このドイツ國民の願をかなへて、ドイツを世界大戰前のやうな狀態に取りもどしたいと、力づよく現れて來たのはナチスです。そしてヒツトラーは内閣を組織すると同時に、

「ドイツは償金はもう一錢も拂へません。」

ときつぱりいひきつてしまひました。

それから一九三三年には折角入つてゐた國際聯盟を脱退して世界をびつくりさせました。國際聯盟といふのは消防組合みたいなもので、世界大戰といふ大火事のあとでアメリカ合衆國の大統領ウイルソンがいひ出して、もう二度と戰爭といふ火事が起きないやうに、もし起きても小火のうちに消しとめようといふので國際聯盟といふ消防組合を作つたので、世界中の國々が大ていこの組合にはいつてゐました。始めのうちはほんとに組合の仕事をしてゐたのですが、年がたつにつれてこの聯盟もだん／＼まちがつたことをするやうになつて來ました。日本も隣の支那もこの消防組合にはいつてゐたけれども、支那が消防夫でありながら、火をつけることがすきでとう／＼滿洲にまで火をつけたので、東洋平和といふ大切な役目をもつてゐる日本はその火を消さうとして兵隊を出したのが滿洲事變です。このとき聯盟は火をつけた嘘つきの支那の

いふことをほんとにして、火事を消さうとしないばかりか、かへつて惡い支那の味方をするやうな有樣だつたので、日本が昭和七年聯盟を脱退したのですが、今度はドイツも脱退したのですから、聯盟もそろ〳〵ぐらつき出して來ました。

ドイツが聯盟を脱退したのは、ドイツが伸びて行かうとするのを、聯盟の中心となつてゐるフランスやイギリスが頭から抑へつけようとしたので、その聯盟の勝手なやり方に怒つてしまつたのです。

ドイツの聯盟脱退で一番驚いたのは何といつてもフランスです。ドイツがめき〳〵頭をあげて來るのは、フランスにとつて何より氣味が惡いので、ドイツを抑へつけておかないとフランスは安心して眠ることも出來ません。今まで聯盟といふ組合の力でドイツを抑へて來たのですが、ドイツが聯盟からぬけ出してしまつたから、何とかしてドイツの頭を抑へつけようとして、ルーマニア、ユーゴー・スラビア、チエコ・スロバキアそれからポーランドといふやうな國々と相談して、自分の味方の國々で垣根

を作つてドイツのまはりを取りかこんでしまひました。これでやれ〱とフランスが安心してゐましたが、すぐこのまはりの垣根がゆるみ出して來たのです。それはドイツがあまり強くなつて來たので、小さい國々はフランスばかりにたよつてゐると、ひどい目にあふかも知れないと考へ出したからであります。

ザールもどる

聯盟脱退で世界を驚かせたドイツは、一九三五年三月一日又世界をびつくりさせるやうなことをやりました。それはどういふことかといふとザール地方をドイツに取りもどしたことです。忘れたかも知れませんが、世界大戰の結果ヴエルサイユ條約でドイツのザール地方は、十五年間フランスが委任統治をして十五年たつてから、住んでゐる人々が投票によつてドイツにもどるかフランスにつくかをきめることになつてゐたのです。こんな約束はしてゐても、フランスとしてはいつまでもザールを自分の物にしておきたかつたにちがひありません。

ところが、いよ〳〵フランスかドイツか、ザールの住民が投票できめる日が來ました。フランスやドイツはいふまでもないこと、世界中が、その結果がどうなるか、目を見はつて待つてゐました。このときにはドイツにひいきする國はほとんどありません。ドイツが次から次へと思ひきつたことをするので、この投票がドイツにとつてうまくいつたら、今度は何をやり出すかわからないといふ心配もあつて、ザールがフランスのものとなつてゐることを多くの國々がのぞんでゐたのです。

ところがその投票の結果はどうだつたでせうか、意外にもザールの人たちはほとんどドイツの國民になりたいといふ投票をしたのです。もうフランスも反對することが出來ません。ザールは十五年振りでドイツにもどることになりました。これはザール地方には、ドイツ人が多く住んでゐたからでもありますが、もしドイツがフランスにくらべてずつと弱い國だつたら、ザールの人たちは、ドイツにもどることを望まなかつたかも知れません。

ザールは、面積はせまいところですが、有名な石炭の產地でありますから、ここを取りもどしたことはドイツにとつてうれしいことです。それよりもこのザールを取りもどしたことによつて、ドイツの力が世界にみとめられ、ナチスのドイツ民族が一つになるといふことと、失つた領土を取りもどすといふ大きな望みの第一步をふみ出したことを忘れてはなりません。

ザールを取りもどした早業に世界中が呆氣にとられてゐると、その月の十六日にはもつと〳〵世界をびつくりさせました。これもヴェルサイユ條約できめられたことなのですが、ドイツはこれまで軍備をととのへることが出來ないことになつてゐたのに、この日ヒツトラーは、

「ドイツはもうりつぱな國ですから、軍備をそなへてはならないといふやうな約束は今日限りやめていただきます。」

と叫んだのです。今までもこつそり軍備をととのへてゐましたが、これからは遠慮な

く兵隊もふやすし、軍艦も造るぞといふのです。

さあ、かうなると氣が氣でないのはフランスです。このままにしておいたらドイツが何をやり出すかわからない、それかといつてチエコ・スロバキヤやルーマニアのやうな小さい國々はあまりたよりになりませんから、誰か強い仲間をほしいと思つてゐると、東の方でやはりドイツを恐れてゐる國がありました。それはロシヤです。ドイツがこはいばかりに、フランスはいやな共産主義の國と手をにぎつたのです。それでは何故ロシヤがドイツを恐れてゐるのでせうか。

オーストリヤ併合

ドイツは世界大戰の結果領土を方々けづり取られて國が狹くなりましたが、日本と同じやうに人口はどしどしふえて行きます。いつまでも狹い領土中にとどまつてはゐられません。どつかへ出て行かねばなりませんが、一體ドイツはその土地をどこに見つけようとするのでせう。ヨーロッパの地圖を開いてみると、ドイツの西の方は非常

に人口が多くて、とてもドイツ人がひろがつて行くすき間のないことがわかります。さうするとドイツの伸びて行く道は東の方より外にありません。東にはウクライナといつてロシヤの國の南の方に共産主義のために苦しめられてゐるところがあります。ドイツはそこに伸びて行かうとするのです。それはロシヤにとつて薄氣味の悪いことでありますから、フランスの力を借りて何とかしてドイツの東へ伸びるのを邪魔しなければならないのです。

ドイツが東へ伸びようとするとともに、大戰の結果失つた海外の領地つまり植民地を取りかへさうとしてゐることも、ひろい領地をもつてゐる他の國々にとつては氣味の悪いことで、

「ドイツはこの次に何をやり出すか。」

ヨーロッパの國はびく／＼してゐました。何とかして抑へつけたいけれども、力つよく伸びて行くドイツをどうすることも出來ないので、ドイツが何をやつてもただあれ

〱と見てゐるばかりでしたが、今度はもつと〱大きなことをやり出したので、他の國々殊にフランスは腰をぬかしてしまひました。それはどんなことであつたか、一つはドイツ、イタリーがしつかり手をにぎり合つたこと、日本と防共協定を結んだことそれからオーストリアを合併したことなのです。前の二つのことはあとでお話することとして、先づオーストリア合併のことをお話しませう。

オーストリアは大戰前のオーストリア・ハンガリー帝國がこはれてからは、その領土も非常に小さくなつて、ひとり立ちがむづかしくなつたし、その住民にはドイツ民族が多いのだから、ドイツに合併されることは自然の成行であつたのです。しかしドイツがオーストリアを合併するやうになると、たださへ恐いドイツが更に大きな國家になつては大變でありますから、フランスは勿論、イタリーもこれに反對して來ました。

ところがドイツのオーストリア合併の希望は益々強くなるばかりで、ナチスの勢力

がだん／＼オーストリア國内に伸びて、ぢつとオーストリア合併の機會を待つてゐました。

オーストリアの首相ドルフスはフランス、イギリス、イタリーの力を借りて、ドイツ、オーストリアの合併を企てるオーストリア國内のナチスを頭から抑へつけようとしました。そのため一九三四年にはナチスの暴動が起つて、ドルフス首相が暗殺せられ、シュシュニックが代つて首相となりました。このことから危くヨーロッパに又大戰爭が起るかと思はれましたが、その頃はまだドイツの軍備が弱く、イギリス、フランス、イタリー三國の力の前には手を出すことが出來なかつたので、ぢつと我慢してゐるより外はありませんでした。

ところがそのうちに、ドイツのオーストリア合併に一番反對してゐたイタリーとドイツとが、だん／＼仲がよくなつて來ました。そこでナチスはもう大丈夫と思つてゐた矢先、オーストリアのシュシュニック首相が、昭和十三年の三月十三日に、ドイツ

とオーストリアとを合併するに贊成か不贊成かを、二十四歳以上の國民の投票できめようとしました。これはヒツトラーとシュシュニック首相との約束にもそむくことなので、ヒツトラーはオーストリアに軍を進め、あつといふ間もなくオーストリアを合併し、列國を仰天させました。シュシュニック首相が二十四歳以上のものに投票させようとしたのは、それより若い者にはナチスが非常に多いから、若い者を除けば合併反對の投票が多いと考へたのでせう。

ドイツはかうしてオーストリアを併合し、ドイツ民族が一かたまりになるといふ希望がだん／＼達せられて來ましたが、このドイツのやり方を見てふるへ上つたのは、チエコ・スロバキアです。チエコ・スロバキアは大戰後もとのオーストリア・ハンガリーの一部が獨立して出來た國でありますが、この國のドイツに近い方には全人口の五分一以上、三百餘萬人のドイツ人が住んでゐて、このドイツ人たちは大ドイツへ一しよになることを望んでゐるし、ドイツは勿論合併したがつてゐるのでありますから、

これからどんなことが起るかも知れません。

十三　ドイツの國防

軍備の制限

ここまでお話したらきつと皆さんは、何故フランスやイギリスがドイツのオーストリャ併合を、だまつて見てゐたのかとふしぎがるにちがひありません。フランスやイギリスは勿論、ドイツのオーストリャ合併には大反對です。それだのにどうしてそれを邪魔をしないのでせうか、いえ、フランスやイギリスは決してボンヤリ見てゐたのではないのです。

ドイツが次から次へと思ひ切つたことをするので、フランスやイギリスがそのたびにきびしく文句をいふのですが、もうそんなこと位で、びく／＼するやうなドイツではありません。ドイツがこんなに思ひ切つたことを何故やれるのでせうか。他の國々

邪魔することも、それを抑へることも、何故文句をいふだけで、ドイツがどんなことをしても何故出來ないのでせうか。フランスはドイツが盛んになることを一番おそれてゐる國だのに、何故早くドイツの頭をたたきつけておかないのでせうか。それはやりたくても出來ないのです。ドイツがあまり急に強くなつて來たので、うつかり手を出すとかへつてひどい目にあふかも知れないからです。今まで小さかつたライオンの仔どもが急に大きくなつたのと同じで、こんなに強くなつてはどうすることも出來ません。

ドイツが強くなつたといふのはいろ〳〵の方面でありますが、フランスなどが一番怖いのは何といつてもその軍備でせう。ライオンでいへばその歯や爪が怖いのです。果してドイツはフランスや他の國々が怖がるほど強い軍備をもつてゐるのでせうか。世界大戰前にはドイツは世界で、一番強いといはれる陸軍と、英國に次ぐ大海軍とをもつてゐましたが、ヴェルサイユ條約で手も足も出ないやうに小さくちぢめられてし

まひました。陸軍はたつた十萬人にへらされるし、その上戰車のやうな攻撃に大切な武器をもつてはならないといふことになりました。海軍の方もただ許されたのは、自分の國の海岸を守るための軍艦だけで、ドイツの一番お得意な潜水艦は一隻ももてないことになり、軍艦も大きいものを造れないことになつたのです。それどころか陸海軍ともに軍用飛行機は決してもつてはならない。その他の飛行機でも自分の國では造つてはならないといふのですから、全くどうすることも出來ません。フランスやその他の國々はかうしてドイツから牙をぬき爪をとつておいたら、もう大丈夫と安心してゐたのですが、ドイツ國民はそのままだまつてゐるやうな意氣地なしの國民ではなかつたのです。

しばらくの間は大戰で大きな傷を受けたのでぢつとしてゐましたが、だん〳〵傷がなほり國力を取りもどしてくると、自分の國の軍隊をおいたり軍艦を造つたりすることを、よその國から指圖されるといふ道理はないといふので、一九三二年には、國際

聯盟で、ドイツも他の國と平等に軍備をととのへる權利があるといふことを承知させました。しかしそれはたださういふ權利があるといふだけのことで、今すぐ強い軍備をととのへてよいといふのではありませんでした。つまり「百圓上げる」といふ書付だけ貰つたけれども、ほんとの百圓を貰つたのではないのと同じことなのです。そこでその翌年、ナチスが天下を取るやうになると、そんな書付だけでは承知をしない、今すぐに戰前のやうな軍備をととのへるからと申出ましたが、これはフランスやイギリスなど大戰のときの聯合國がうんといひません。國際聯盟といふ組合の力で、どこまでもドイツを抑へつけておかうとしました。するとドイツは、

「そんな自分たちの都合のよいことばかり考へてゐるやうな仲間にははいらない。」

といふので、さつきもいつた通りドイツは國際聯盟を脱退してしまつたのです。

それならドイツを出來るだけ抑へておきたいフランスなんか、ドイツの軍備をととのへないうちに早くドイツをたたきつければよいと思ふかも知れませんが、これまで

だつてドイツは内々軍備をととのへてゐたので、それがフランスなんかにとつて薄氣味惡いのと、もう一つはフランスだつてイギリスだつて、世界大戰に勝つたといふもの丶やはり大きな傷をうけてゐるのですから、なるべく戰爭はしたくはないのです。ですからドイツを無理に抑へつけて、もし戰爭にでもなつたら大へんですから、おどかして見る位のことしか出來ないのです。

ヴエルサイユ條約中の軍備について、ドイツをしばりつけてゐた取りきめをすててしまふことを宣言したナチスドイツは、直ちに徴兵制度を行ひ、平素五十萬の軍隊を備へるといふことを發表しました。日本では皆さんも御存じの通り徴兵制度で、日本國民として生れたものは誰でも兵役の義務がありますが、アメリカ合衆國の如き國は志願兵制度で、なりたいものだけ兵隊になるといふのです。ドイツはもとは徴兵制度だつたのですが、大戰の結果無理やりに志願兵制度にされてゐたのを、又もとの徴兵制度にもどすことにしたのです。

かうしてドイツの軍備は、他の國がかれこれいつてもおかまひなしにすばらしい勢で進み、北の方からヨーロッパの平和をかきみださうとするロシヤを抑へる大きな力となりました。海軍はイギリスと新に約束を結んで、イギリスの三割五分をもつことが出來るやうになりました。三割五分といふと半分にも足りないのですが、全世界にひろい領地をもつてゐるイギリスとドイツとではわけがちがひます。陸海軍の發展につれて、いろ／＼な軍需工業が發達し、精鋭無比な新しい武器が次々と製造されるやうになつたし、ヒットラー自身が國防軍の最高司令官となつて陸海空軍をすべることになりましたから、ナチスドイツの國防はその基礎がいよ／＼固くなつて行きました。

現在の軍備

ではドイツの現在の軍備はどのやうになつてゐるかといひますと、陸軍は平時つまり平和な時には十二軍團、三十六師團で、約六十萬人、十八歳以上四十五歳以下の國

民は滿二年間、現役に服する義務があります。勿論國民といつてもドイツ人だけで、ユダヤ人は除け者です。何しろドイツは學問の進んだ國ですから、毒ガスや、防毒用具については、他の國の眞似の出來ないほど研究を進んでゐるのですから、いざとなつたらどんなすばらしいものが飛び出すかも知れません。

海軍はさつきもいつたやうにイギリスの三割五分、潜水艦だけは四割で、全部で四十二萬噸といふことになつてゐます。噸數からいへばイギリスの足許にもよれませんが、あのポケット戰艦といふやうな新式のすぐれた軍艦が多いし、殊に世界大戰中ドイツの潜水艦が世界中をあばれまはつた位で、潜水艦にはなか／＼恐るべきものがあるらしいから、馬鹿には出來ません。

ドイツには日本とはちがつて空軍が獨立してゐます。大戰の結果軍用機は一臺ももつてはならないし、飛行機は自分の國で作つてはならないと動けないやうにしばりつけられてゐたが、一九二八年から、飛行機は作つてもよいといふことになつたので、

軍用機こそもてないけれども、商業航空はぐん〳〵翼をひろげて行きました。この商業用の飛行機も、いざといふときにはすぐ軍用機に早がはりすることが出來ますが、今では遠慮なく軍用機をもつてゐることはさつきいつた通りで、なか〳〵侮れない力をもつてゐます。昭和十年の軍用機數は四千臺でありましたが、今ではもう一萬臺にも達してゐるかも知れません。

これだけでドイツの陸海空軍が、なか〳〵おそるべきものであることがわかりますが、まだこのほかに、命令一下直ちに戰線に立つことの出來る約十萬の警察隊があり、六十萬の突擊隊、二十萬の親衞隊、五十萬のドイツ航空聯盟、五十萬のナチス自動車隊、會員が百萬人以上もあるといふドイツ自動車クラブ、それから四十萬の勞働奉仕者などが後にひかへてゐることを忘れてはならないのです。

警察隊は說明しなくてもわかるでせうからはぶいて、その他のものをざつとお話しておきませう。

突撃隊と親衛隊

突撃隊と親衛隊！　名からして勇ましさうですが、この二つはドイツ青年の華であつて、ドイツ青年のあこがれの的であります。ドイツの青年たちは誰でも、突撃隊員や親衛隊員になりたいといふ望みをもたぬものがない位です。

一體ドイツでは青年團はいふまでもなく、軍隊の士官も兵士もみな若くて、そしてその若いからだの中には愛國の血が流れて、祖國のためには、いつでも自分の生命をすてるといふ覺悟が見受けられるのですが、突撃隊と親衛隊こそ、愛國心のかたまりであります。

突撃隊は一九二一年に始めて出來ました。最初はナチスの演說會で、共產黨やその他の反對者のために邪魔されて、お巡さんだけではしづめることの出來ないことが度々あつたので、腕の強いものをつのつて護らせたのが起りです。一九二三年ミュンヘンで第一回のナチスの大會が開かれた時、卐章のしるしのついたジヤケツに灰色のス

キー帽をかむり制服姿で現れたことがあります。

それからだん／＼隊員が増加しましたが、その間にも政府から非常にいぢめつけられて、充分な働きが出來ませんでした。しかし一九二五年にヒットラーはこれをつくりなほして、ナチスの會の保護をさせたり、又宣傳させたりして、制服は褐色の服と帽子で、これに卐の腕章をつけることにしました。ヒットラーも宣傳相のゲッベルスもこの隊服が好きだと見えて、よくこの服を着た寫眞が出てゐることがあります。氣をつけてゐてごらんなさい。

今ではドイツ青年として、祖國につくす道は、突撃隊に入隊するのが一番よいと考へられるやうになつて、青年團を出たもので、突撃隊へ入隊するものが非常に多くなりました。隊員は祖國に對しては絕對に服從することをちかひ、その制服は隊員の誇であるとともに、大變神聖なもので、何か惡い心が起つても、もし惡いこと、まちがつたことをすれば、その制服に對してはづかしいと考へて身をつつしむのです。自分

のことよりいつも國のため、世の中のためといふことを第一にして、人のためにはよろこんで働くといふ氣風が、隊の中にみなぎつてゐますから、隊員は國民の模範として尊敬されてゐるのです。

隊長はヴイクトル、ルツツエといふ人で、世界大戰中には出征して四回も負傷し、左の目を失つたといふことだけで、どんな人かわかるでせう。この人の下に今では六十萬人の隊員があつて、警察官のやうに交通の整理、警備、案內等をつとめる外、犯罪防止つまり惡い者が出ないやうに骨を折つてゐます。昭和八年からは在鄉軍人の團體も突撃隊に加へられて、全國を七つの部隊に分けられてゐます。

突撃隊といへば必ずホルスト・ウエツセルのお話を思出します。ホルスト・ウエツセルはベルリンの豐かな牧師の家に育つた大學生でありましたが、その安樂な生活をすてて、まだその頃あまり勢力のなかつたナチスの仲間に加はりました。そしてまもなく一團の突撃隊を率ゐることになりましたが、この突撃隊はどし〳〵共產黨をやつ

つけたので、共産黨をふるへ上がらせてしまひました。そこで共産黨では何とかしてウエツセルを亡き者にしなければならぬとつけねらつてゐました。とう〳〵ウエツセルはエルゼ・コーンといふ少女に率ゐられた十數名の共産黨員に家をかこまれ、不意をうたれて、非常に重い傷をうけました。それでもひるまず敵とたたかつたのですが、それから一ヶ月餘りで、その傷がもとで死んでしまひました。そのときまだ二十二歳であつたが、同じ仲間のものはいふまでもなく、國を思ふ人々は皆その葬式に列したといふほど、その死が惜しまれました。

このウエツセルは仲間のものをはげますために、たくさんの歌を作つたが、その中の一つは「ホルスト・ウエツセルの歌」と呼ばれて、ドイツ國歌とともに全國民に歌はれ、路傍であそんでゐる小さい子供たちでさへこの歌を歌つてゐるのをきくことがあります。それはこんな歌です。

ホルスト・ウエツセルの歌

一

高く掲げよ、我等の隊旗を
しかと組め、我等の隊伍
エス・アーは堂々と行進する
赤色と反動のために殺された
同志の魂は
我等と一しよに行進してゐる。

二

大道は褐シヤツ隊の進むがままだ
大道は突撃隊員の思ふがままだ
見よ、數百萬人が希望にあふれて
鉤十字を見上げてゐる

自由とパンを克ち得る日の
黎明は告げられた！

三

集合ラッパはひびきわたる
戰鬪の用意は出來たぞ
ヒットラーの旗は
街々にひらめく
奴隷のくびきもすぐくだかれる

四

高く掲げよ、我等の隊旗を
しつかと組め、我等の隊伍を
エス・アーは堂々と行進する

赤色と反動のために殺された
同志等の魂は
我等と一しよに行進してゐる。

歌の文句は少しむづかしいが、何度も何度もくりかへしてゐると、たとへ一つ〳〵の意味がわからなくても、何だか強い力が歌の中に滿ちてゐるやうな氣がするでせう。歌の中にあるエス・アーといふのは突擊隊を略した言葉です。

親衛隊は、突擊隊の中から、最もすぐれた隊員を選んで組織したもので、今日では二十萬人にもなつてゐますが、その中特に三千人位のものがヒットラーの身を守ることになつてゐます。つまり親衛隊中の親衛隊です。突擊隊の制服は褐色ですが、親衛隊員は黑の制服に、頭蓋骨と脚の骨をくみ合せたしるしをこの上もない誇としてつけてゐます。何故こんな氣味の惡いのをつけてゐるのかといふと、國のためナチスのためヒットラーのためには骸骨になることをちつともいとはない、いとはないどころか

精神が、非常な名譽に思つてゐるからなのです。

だから隊員はりつぱな精神をもつたものでなくてはならぬことは勿論ですが、精神ばかりでなく、身體もりつぱでなくてはならないので、隊員となるのには心臓、目、齒、足などに隊員としての資格があるといふ證明書がいるのです。身體、精神どこから見てもナチスの中の選りぬきで、十七から二十九までの年齢になつてゐます。隊長はハインリツヒ・ヒムラーといふ人でまだ三十八になつたばかりのはち切れる元氣をもつた人であります。

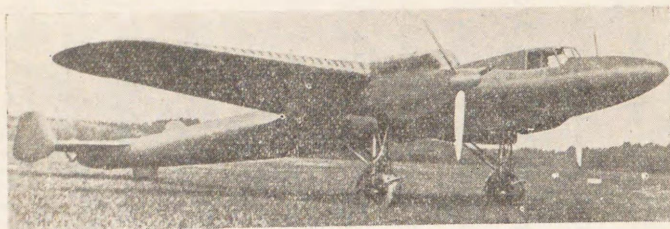
空へ空へ

次が航空聯盟のお話をしませう。飛行機が今日の戰爭にどれほど大切なものであるかは支那事變で一そうはつきり敎へられました。萬一日本の航空隊が支那の航空隊より劣つてゐたらどうでせう。日本軍が今日のやうに早く進擊することが出來ないばかりか、日本の空に敵の飛行機が盛んに飛んで來て、どん／＼爆彈を落し、落ち着いて

勉強も出來ないかも知れません。

その空軍が發達するためには、空軍の兵隊が強くなることの必要なことはいふまでもないけれども、第二線となる民間の航空が發達し、又飛行機を製造する生産力がなくてはなりません。支那なんか自分の國で殆ど飛行機が出來ないから、みんな外國から買ひこむのだが、こんなことではまさかのときに困つてしまひます。ドイツではヒツトラーの命を受けた現在の航空大臣のグーリンクが、非常に骨を折つて空軍を建設するとともに、航空界の發達に力をつくして來ましたから、ドイツの空軍はめざましい勢で立ち直り、民間の航空の進歩もおどろくばかりです。

今ではドイツで一番大きいデッサウ市のユンカース工場には、一萬五千人の職工がゐて、同じ型だけの飛行機を製造するとすると、一ケ月に一千臺を生産することが出來るさうですからすばらしいではありませんか。その他全國十一の航空機製造會社は休みなしに製造をつづけてゐます。

全國には四十餘ヶ所飛行場があり、操縱者を養成するために、六つの航空學校が設けられ別に空戰學校、水陸用航空學校を始めいろ／＼の學校がある。その他民間に設けられてあるのがドイツ航空聯盟なのです。全國を十六區に分けて、それ／＼の中心地を設け、小都會や村にも青少年の航空クラブがあつて、クラブに入る資格を得たものは寄宿舍で月謝いらずの教育を受け、十八歳になるとその才能に應じて航空工業の方に進むものもあれば機關士になるものもあり、又空軍へも入隊出來るやうになつてゐます。かやうに民間の養成所で訓練される青少年は一區毎に毎年六百人ですから、全國では一萬人近い操縱者が送り出されるので、さあ戰爭といふやうな場合には、忽ち五十萬人の民間飛行家が戰線に出ることが出來るといはれてゐます。それに比べると日本なんか心細い話です。日本の陸海軍航空隊のすぐれてゐることは、今度の事變ではつきり世界の人々の前に示すことが出來ましたが、第二線である民間の航空がまだ／＼振はないのです。空へ！　空へ。これからの日本の子供は大いに空へも伸びても

ルフトハンザー機

らひたいものと思ひます。
ついでにドイツの空の交通の方はどうかといふと、ドイツには世界に有名なドイッチエ・ルフト・ハンザ航空會社があつてドイツの國内はいふまでもなく、ヨーロッパ各國との間に網のやうに航空路が設けられてゐます。昭和九年二月世界で一番はじめての南太西洋横斷定期航空路を開いたのもこのハンザ會社で、今までにもう二萬回以上もベルリンとブエノス、アイレスの間を往復したといふ話です。ブエノスアイレスは南アメリカ、アルゼンチンの首府であることはよく知つてゐるでせう。昭和十年にはブエノスアイレスからチリの首府サンチヤゴまで延ばされて一萬五千三百粁をたつた四日で連絡されることになりました。ルフ

トハンザの最近十年間に飛んだ距離は約九億四千萬粁でありますが、これは地球を二千三百五十回まはつたことになり、これだけの距離を燕號列車で走るとすると約百四十年もかかるといふからおどろくではありませんか。それから十年程前には一ヶ年に三萬七千人のお客だつたのが、今ではその五倍位になつてゐます。

それでは日本はといふとまるでお話にならない位です。日本では日本航空輸送會社があつて、東京から朝鮮、滿洲、北支、臺灣、札幌、富山などに定期航空が開かれてゐるのと、その他の會社でも多少航空路がありますが、まだ〳〵ドイツの足許にもよりつけません。何とかして民間航空も外國に負けないやうにしたいものです。

さて今日航空機といふと大てい飛行機を指しますが、ドイツには名高いツエッペリンの飛行船があります。ツエッペリンといふのはツエッペリン伯が初めて作つたからです。ツエッペリン伯が一九〇〇年最初の飛行船を作つてから、幾度も幾度も失敗したりいろ〳〵災難に遭ひましたが、それに恐れず益々りつぱな飛行船を作ることに力

をつくしました。世界大戰のときツエッペリン飛行船がロンドンやパリーを空襲してイギリスやフランス國民をふるへ上らせたのです。

大戰後非常な重荷を負はされ、ドイツ國民は其の日の生活にも苦しまねばならなかつたのに、ツエッペリン伯の志をついで飛行船の發達につとめ、一九二八年にはとう〳〵グラフツエッペリンが出來上つたのです。これがほとんどドイツ國民の寄附金で出來たのです。ここが實にドイツのえらいところです。翌年にはエッケナー博士が指揮して、日本の空にも飛んで來たのだが、そのときにはまだ皆さんは小さかつたから覺えてゐないかも知れません。

東京驛の上を通つたとき、下の大きな東京驛がぽつくり入つてしまひさうでした。こんなすばらしいツエッペリンの飛行船が、霞浦に着いたどきの騷ぎといつたらありませんでした。飛行船が着くと宿屋がいります。乘つてゐる人の宿屋はわけはありませんが、飛行船の宿屋つまり格納庫が大變です。幸霞浦にはこの飛行船を入れる

格納庫がありました。ところがこの格納庫が面白いことにドイツから持つて來たものなのです。

世界大戰でドイツが敗けると、戰爭に使つた軍艦、飛行機、飛行船などみんな聯合國が取上げてしまつたことはもうこれまでのお話で知つてゐるでせうが、そのとき日本も少し分け前を貰つたのですが、その中に飛行船の格納庫がありました。こんな大きな建物をどう始末したものだらうと相談の上、バラ〳〵に壞して船に積んで日本に運び、霞ケ浦に建てたのがこの格納庫ですから、ツエツペリン號はなつかしいもとの自分の家に入つたのです。

このエツケナー博士のグラフ、ツエツペリンは無事空の旅を終つてドイツへかへりましたが、昭和十二年五月、ヒンデンブルグ號の飛行船はアメリカのレーク、ハーストといふところで爆破したことは皆さんも知つてゐるでせう。飛行船が始めて出來た頃から今まで二十五年の間に各國飛行船の大災難が十六回もあり、三百八十四人の命

が失はれてゐるし、このヒンデンブルグの惨事で、飛行船がどうなつて行くかいろ／＼考へられて來ましたが、その本家のドイツではこれにもひるまず、益々完全な大飛行船を造ることに骨を折つてゐます。

ドイツのグライダーの流行もすばらしいものです、グライダーは發動機のない飛行機で、近頃日本でもだん／＼盛になつて來ましたが、ドイツとはくらべ物になりません。模型飛行機も盛です。兎に角ドイツ青少年の空へ空へのあこがれはおどろくべきもので、今日の子供たちが大人になつたら、ドイツの航空は更にびつくりするほど進歩することでせう。

ナチス自動車隊

ナチス自動車隊は政府や軍隊の作つたものではありませんが、その隊員の規律と教練のきびしいことは軍隊とは少しもちがはないのですから、航空部隊や化學部隊とともに、ドイツ國防の華であるといつてもよいのです。陸軍の自動車隊や戰車隊は、大

ていこのナチス自動車隊から選ばれることになつてゐます。ほとんど自分で自動車かオートバイをもつた勞働者ですが、車を持たない勞働者でも隊員となつて備付の車で練習することが出來るのです。

今日でも何十萬といふ入隊志願者があつて、日曜祭日その他の餘暇にいろ〱の稽古をした上で、それが終ればはじめて入隊を許されます。隊員の總數は約五十萬人でありますが、國內には二百萬人以上の自動車運轉免狀を持つたものがゐて、その大部分は「ドイツ自動車クラブ」を組織してゐます。いざ戰爭といふ場合自動車がどれほど大切であるか、したがつてこれを運轉するものがどんなに必要であるかは支那事變で一層教へられたのです。

現在ドイツにある自動車のうちで、十五萬餘臺がナチス自動車隊に屬してゐるといふことですが、これだけで、日本の自動車の總數に當るのだからすばらしいではありませんか。

なほこの隊では全國三十餘ヶ所に自動車競技學校があつて、ここでは一般の國民に自動車運轉の技術を教へます。日數は六週間ですが、その練習はすべて軍隊式で、只運轉のことばかりでなく、射擊とか偵察とか傳令とか、全く兵隊と同じやうなことを學ぶのですから、さあ戰爭となると誰でもすぐ戰線に立てるやうになつてゐます。強い軍隊があるといふことは勿論大切ですが、軍隊を第一線とすれば第二線にいつでも軍隊として出動出來るものがひかへてゐるといふことは國防上實に大切なことです。

このナチス自動車隊とはなれることの出來ないのはさつきいつた「ドイツ自動車クラブ」で、その本部はミュンヘンにあつて、今では會員が百萬人以上を有してゐます。會員はみんな運轉免狀を持ち、大ていはナチス自動車隊員と同じやうに軍務に服するやうになつてゐます。每年ナチス自動車隊と一しよに開く野外競技は、その大規模なことは驚くばかりで、ナチスがどんなに自動車の普及に力を注いでゐるか、又自動車が國民の間にテニスやベイスボールと同じやうに、スポーツとしてひろく用ひられて

ゐるかを知ることが出來るのです。

十四　青年のちかひ

勞動奉仕團

皆さんは勞働奉仕といふことを知つてゐると思ひます。いや、知つてゐるどころか皆さんも勞働奉仕を實際に行つてゐると思ひます。神社の境内をきれいにするとか、學校の運動場を自分たちでつくるとか、勞働奉仕の道はいくらもありますが、今年は日本でも勞働奉仕が一層ひろく行はれ、どこの學校でも休日を利用して何かの勞働奉仕をやつてゐます。これは一つは世のため人のために働くといふ尊い精神を養ふこととなるし、又勞働といふことをいやがらないで喜んでやるといふ心を育てて行くためです。

殊に皆さんも知つてゐる通り、日本では今たくさんの兵隊さんが出征してゐますか

ら、そのお留守に家族だけでは今まで通り仕事が出來ないことがあります。例へば田舍の農家で中心になつて働いてゐた人が出征して、田植のやうな時、人手が足りなくて困る、そんな時近所の人々や、村の青年團の人々が出征した兵隊さんに代つて働いて上げる、かういふ勞働奉仕が全國どこにでも行はれてゐるのはまことに心强いことです。さてドイツの勞働奉仕のお話に移りませう。

ドイツの勞働奉仕の制度もつまり、今日本で出征家族のために働いてゐるやうなことから起つたのです。といふのは世界大戰の頃、ドイツは殆ど世界を敵として戰つたのですから國中の働き盛りの人がみんな、戰線に出てしまつてあとには働き手がありません。それでは留守の人が困るばかりでなく、國家としても產業が衰へて永く戰つて行けなくなります。殊に大切な食糧を生み出す農村の仕事が止つてしまつては大變なのでありますが、何しろ人が足りないからどうしても今までのやうに手がまはりません。そこでその農村の少年たちが、大人に代つてよく働いたことはいふまでもあ

りません、がベルリンとかミュンヘンのやうな都會のいつもあまり勞働をしたことのない十四から十七までの少年が、何千何萬となく地方の農村に出かけて行つて、無報酬つまり御禮も賃金も貰はずに働いたのです。

それから大戰が終つてかへつた兵隊たちが、開墾して農業をするために、北の方のバルト海沿岸地方を占領しようとしたのですが、これは思ふやうに行かなかつたのです。しかしこれから一層勞働を奉仕して開墾を行ひ、植民しようとする考がドイツ國中にひろまつてしまひました。大戰で海外の領地は取り上げられてしまつたし、どこへも領地をひろめることも出來ない、けれども

「何も國外ばかりに目をつけることはない。まだ〳〵ドイツ國內には開墾しなければならぬ荒地や沼地がたくさんあるのだ。」

といふことに氣がついたのです。

かうして一九二六年（昭和元年）に勞働奉仕道場といふのが出來ました。日本にも近

頃これに似たものが出來ましたが、ここで勞働奉仕の力が養はれるのです。今まで鍬も持つたことのない人が、いくら勞働奉仕の心持があつても、ほんとの働きが出來ないでせう。そこでこの道場で奉仕の精神とともに、奉仕の仕方を學ぶのでありますが、道場での期間は大てい四ヶ月以内です。

ナチスがまだそれほどドイツの政治の上に勢力のなかつた頃から、「働く力のあるドイツ國民は勞働奉仕の義務があり、これは兵役と同樣國民の名譽である。」

といふことを強く叫んでゐましたが、ナチスが政治の權力をにぎるやうになつてから昭和五年にはコンスタンチン・ヒーエル大佐が、ヒツトラーの命を受けて規則を作り、勞働奉仕が義務制となるやうになりました。そこでヒツトラー青年團の勤を終つた青年は、必ず勞働奉仕の勤をしなければならないやうになつたのです。

始めは男子は身體のわるいものを除いて皆義務で、女子の方は大學に入學する希望

の者の外自由であつたのが、昭和十三年からは一般の女子も男子と同じやうに義務となりました。だから今のドイツ國民は軍隊生活の始まるすぐ前には、男も女も金持も貧しい人も身分の高い低い、教育があるかないかといふことをかまはず、誰でも一生に一度土の勞働に從事して祖國の土に親しむ「鍬の兵士」として養成せられるのです。男女の勞働奉仕團が、身分とか職業に頓着なく、みんなたのしさうに働いてゐる姿は實に美しいものです。近頃ドイツに行つた人が或るお百姓の家に行つたら、豚小屋の中でまつくろに蠅にたかられながら、上品な女の子が豚のお世話をしてゐました。

「お孃さん、そんなことといやだと思ひませんか。」

と尋ねたら、その少女は飛んでもないといふやうな顏つきをして、

「とても樂しいのです、一生の中にこんな樂しいことが二度とないと思ひます。」

と答へながらもせつせと働いてゐたので、尋ねた方がきまりが惡くなつたといふことです。どうです、皆さんも豚のお世話が出來ますか、皆さんの學校にも豚の飼つてゐ

ゐところがあるかも知れません、豚はゐなくても鷄や兎を飼つてゐる學校がたくさんありますが、ドイツの女の子に出來ることが、日本の子供にも出來ない筈はありません。

ところで大切なことは同じ働くにも、いや〳〵働くのでなく、このドイツの少女のやうにたのしく働くといふことが大切です、何も田舍へ行つて豚を飼ふことだけではありません。おうちのお手傳だつて喜んでしなくてはなりません。

さて勞働奉仕團の仕事は、普通一人や二人では、出來ない仕事ばかりが選ばれるので、その主な仕事をならべて見ますとこんなことがあります。

(一)土地の改良――荒地や沼地を田や畑にすることや、海の埋立、堤防を造つたり河をよくしたり池を掘つたりする。

(二)植林――荒地や、沼地などに樹木を植ゑたり、暴風雨、山火事、害虫などで荒された森林地の植林。

（三）農民移植事業――農民を新しい開墾地などに移す仕事。
（四）都會の郊外に小住宅を建てる事業。
（五）道路開拓。

この外自動車道路を建設するお手傳ひ、飛行場を造つたりその仕事はとてもひろいのです。かうして今までの荒地や沼地がいつのまにか畑にかはり、青々と樹木が茂るやうになつて來たのは驚くほどで、協同一致の勞働がどんなに大きなものであるかを私たちに敎へてゐるのです。

日本ではまだ勞働はいやしいもののやうに考へてゐるものがないではありません。そんなことを考へることがはづかしいことです。ドイツの青年たちは勞働は大きな誇です。それも自分のために働いてゐるのではなく、世の中のために、ドイツの公益事業に奉仕してゐるといふ考をしつかりと植ゑつけられるのです。それかといつて自分の仕事も大切でありますからいつまでも勞働奉仕をやつてゐるのではなく、奉仕期間

は六ケ月、その年齢は十八歳から二十歳までですが、おそくとも二十五歳までには、必ず勞働奉仕をやりましたといふお免状を貰つておかなければなりません。さうでないと大學へ入學することも出來ないし、職につくことも出來ないのです。

その期間の日課は軍隊式で、とてもきびしい規律に從はなければなりません。みんなそろつた制服、その制服といふのは霜降土色で、帽子は昔のドイツ農民がかむつたのと同じ形で、徽章は鋤と麥の穗が組み合されてゐるのですが、その制服で鋤をかついで行進もします。

この勞働兵士は僅かなお小遣を貰ふだけで、うちから送つて貰つたり、よけいなお金を持つことはかたくとめられてゐます。その毎日の時間表を見ると、全く少しのひまもなくはりきつた生活をしてゐることがわかります。

六、〇〇　起床（夏は五時）

六、〇五―六、一五　運動

六、二〇―七、一五　洗面、寢臺整理、朝食
七、二〇　國旗掲揚
七、三〇　仕事場へ出發
七、四五―一〇、〇〇　勞働奉仕
一〇、〇〇―一〇、三〇　朝食
一〇、三〇―一四、〇〇　勞働奉仕
一四、〇〇―一四、一五　仕事場から引揚げ
一四、三〇―一五、〇〇　晝食
一五、〇〇―一五、一〇　新聞閲覽
一五、三〇―一七、〇〇　體操、遊戲
一七、一〇―一八、〇〇　政治教育
一八、〇〇―一八、四五　點呼

一九、〇〇　　命令傳達
一九、一五―一九、四五　　夕食
一九、四五―二〇、一五　　掃除、修繕、洗濯
二〇、一五―二一、四五　　唱歌、演說、餘興
二二、〇〇　　消燈、就寢

よくごらんなさい、全く息つく間もないほど忙しいことがわかるでせう。皆さんにはこんな眞似が出來ますか。

この時間表の中に、一四時三十分などと出てゐるのは、一日を午前午後にわけないで通して數へた時刻です。ですから十四時三十分は午後二時三十分のことです。

滿洲國の汽車時間表はやはり二十四間を通して數へるやうになつてゐます。「あじあ」號列車が新京へ着くのは、十八時二十分といふといかにもおそいやうな氣がするが日本式にいへば午後六時二十分といふことになるのです。

さつきも一寸話したやうに、女子の方の勞働奉仕も今では義務的で、十四歳から二十一歳までの女子の義務制度が出來てゐます。しかし義務でなかつた時でも志願者が多すぎて困つた位なのです。

その勞働群は奉仕する仕事の種類によつて三つに分けられます。第一群は家事や世の中の仕事をお手傳ひするのが敎育の目的であるから、奉仕道場は大てい都會の近くにあつて、炊事、洗濯、裁縫、園藝、家畜の飼育、それから介抱したり繃帶したりするやうな救護のことを敎へられます。さつき話した豚の世話をしてゐた女の子は多分この第一群の少女だつたのでせう。

第二群といふのは、將來ずつと農業に從事させる少女たちで、近くの農場で働かせます。第三群は開墾地で家庭や厩などにお手傳をするのがつとめです。お小遣は男の方よりもつと少い。かうして共同生活をしてゐるうちに、協力一致の尊さを敎へられるし、將來ドイツのりつぱなお母さんとなる基がきづかれるのです。

こんなことは自分のことだけ考へてゐるやうなことではとても出來るものではありません。自分をすてて國のために、世のため人のためにといふ考が、先にならねばならない。ほんとうにドイツの少女たちはえらいではありませんか。

ヒツトラー・ユーゲント

これまでのお話の中に度々青年團のことが出ましたが、ドイツの青年團はヒツトラー・ユーゲントと呼ばれてゐます。今年(昭和十三年)の八月に日本へその代表者が來ました。このヒツトラー・ユーゲントと、さつき話した勞働奉仕團と學校の教育との三つは、はなれることの出來ないものなのです。この三つの教育でりつぱなドイツ青年を作りあげるので、これが又軍隊につながつてゐます。ではこれからこのヒツトラー・ユーゲントについてお話して上げませう。新しいドイツを知るためには、どうしてもヒツトラー・ユーゲントを知つてゐなければならないのです。

世界大戰でたたきつけられた祖國を大ドイツに築き上げることは、ナチスの最も大

なければなりません。それは自分一人のことを忘れて、國家のためには何物もおそれない、祖國のためには火の中水の中にでも喜んで飛びこむといふ、かういふ精神を作ることが何より大切だといふことを考へたナチスは、教育に非常に力を入れてゐることはあたりまへであります。

このドイツ魂をきたへ上げるのには、ただ小學校で教育した位では足りない、ヒットラーが、

「ナチスの國民教育は、何歳から始めて何歳までやれば、それでよいといふのではない。つまり生れてから死ぬまでが教育である。」

と、いつてゐるやうに一生の教育であるけれども、一番大切な時は少年、青年の時期であります。少年、青年はもうすぐ次のドイツを背負つて立つ人ですから、萬一この少年、青年にドイツ魂がなかつたとしたら、ドイツは將來衰へて行くことは目に見

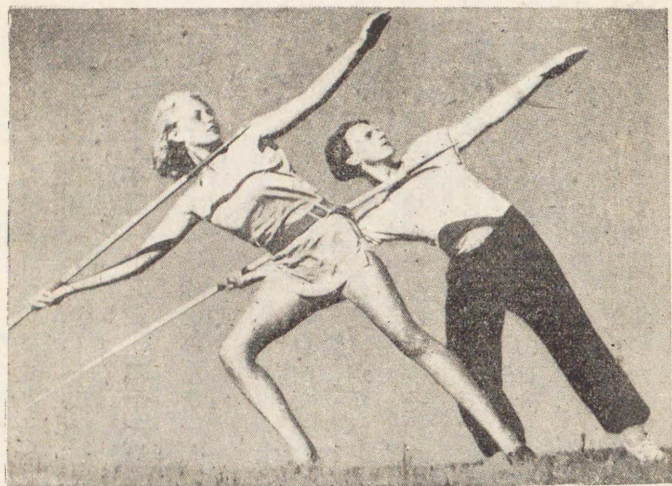
えてゐます。だからドイツの青年に對するきびしい訓練は、世界の歷史の上に未曾有のはげしい訓練だといはれてゐる位であります。

青少年の大切なことはドイツに限つたことではありません。日本の將來を背負つて立つのも今の青少年であります。この青少年の體力や精神によつて、次の日本はどうなるかを考へることが出來るのです。どうぞ皆さんしつかりやつて下さい。

さてヒツトラー・ユーゲントはこの青年訓練の一つで、各國の青少年團と似たところもありますが、その組織や精神は全くナチスの特別のものです。このヒツトラー・ユーゲンドこそドイツ國家の大事業で、この中に將來のドイツの姿があるのです。

ヒツトラー・ユーゲントが始めて生れたのは、一九二六年我が國の昭和元年で、この頃はドイツにとつて實に危い時でありました。といふのは共産主義が教育の上にものびてゐたからです。さういふ中から生れたヒツトラー・ユーゲントを指導する人々は勞働者や農民や商人それから學生たちで、この人たちはこの當時精神の上にも物質

の上にも、いひ知れないほどの苦しみをなめた人たちでした。それだからこそ一層ドイツが立ち上るためには、身體も精神もともに强健なドイツ青少年をつくらなければならないと考へたのでせう。

しかしこれより前にもドイツの青年運動がありました。それは一九〇一年に生れたワンダー・フォーゲルといふのですが、その意味は「渡り鳥」といふことです。何故こんな面白い名がついたかといふと、渡り鳥のやうにあちこちまはりあるいて、その間に身體や精神を練る運動であつてからです。これがだん〳〵と全國にひろまつて、いろ〳〵な青年、少年、少女の團體が生れるやうになりました。ヒットラーがドイツの政權をとると、自分の考へてゐるやうなりつぱなドイツ國家をつくるのには、十年二十年といふ長い年月がかかる、さうすると十年、二十年先にドイツを背負つて立つ今の子供たちを、よく育てることが何より大切なことだと考へ、將來ドイツ國民としてのびて行く苗木や若木を作りはじめたのです。そして一九三三年にはドイツ全國の

若者ドイツ

すべての青少年團をヒットラー・ユーゲントに統一して、

「お前たちこそりつぱなドイツをつくる大きな任務をもつてゐるのだ。」

といふ考を青少年の頭に植ゑつけました。

今では團員が六百萬人もあるやうになりましたが、普通にヒットラーユーゲントといはれてゐる中には四つの種類がふくまれてゐます。

ドイツ少年團（十歳—十四歳の少年）

ドイツ少女團（十歳―十四歳の少女）
ヒツトラー青年團（十五歳―十八歳の男子）
ドイツ女子青年團（十五歳―二十一歳）

この四つに分かれてゐるのをみんな一しよにして、ヒツトラー・ユーゲントと呼んでゐるのです。

入團をするのはめい〳〵の自由で義務ではありませんが、この四つのどれかの團員でないと、ドイツ青少年の資格がないといはれる位ですから、誰でも爭つて入團します。毎年一回身體檢査を受けて、その身體に適當した部隊に編入されます。たとへば盲目の人だつたら盲人部に入るのです。入團は十歳になつた年の四月二十日に行はれることになつてゐますが、この日はヒツトラーの誕生日なのです。

日本では大てい學校の先生が、青年團や少年團の指揮をしたり、お世話をしたりしますし、學校が青少年團の集つたり訓練を受けたりする場所になつてゐますが、ヒツ

トラー・ユーゲントは全く學校とは別になつてゐて、その指揮者も學校の先生とは別の人です。しかし家庭と學校とヒットラー・ユーゲントとは、互につながり合つてゐるのですから、この三つは青少年を教育する大切な場所になつてゐます。そこで昭和九年七月からは、一週間をこの三つの教育場所に分けてつかふことにしました。五日間を學校に、土曜日はヒットラー・ユーゲントに、日曜日には家庭で教育されるやうになつてゐるのです。

「健全なる精神は健全なる身體に宿る」といふ格言がありますが、この身體と精神の兩方がそろつてゐなくては、ほんとにりつぱな人とはいはれない。そこでヒットラー・ユーゲントは團員の健全な身體をつくるといふことに非常に力を注いでゐます。そのために六百名の團員をもつてゐる部隊には一人の醫者がゐて、病氣や負傷のときにはすぐに手當をする、いやそれよりも病氣にかからないやうに充分氣をつけるのです。そこで團員は入團のときと十五歳になつたときに、くわしく身體の檢査をし、これに

よつてめい〳〵が、そのつとめにたへられるかどうかをたしかめるのです。その他毎年四月には、男女團員の身體の樣子をしらべ、からだの弱いものは一層ていねいに診察して治療を加へ、或は療養所へ送られます。

ヒツトラー・ユーゲントは男も女も、みな熱心にスポーツをやつてゐます。しかしそれは別に選手を作るのが目的ではありません。日本の學校の中には選手だけは非常にすぐれてゐるけれども、選手を除いたあとのものは、非常に劣つてゐるやうなといふやうなものがないではありませんが、一人二人の選手よりもみんながそのスポーツによつてりつぱな身體や精神を作り上げるやうにしたいものです。ヒツトラー・ユーゲンドのスポーツは全く團員みんなの身體をきたへ、そして健全な精神を養はうとするのです。

又全國には二千餘の團員の宿泊所があつて、どこへ行つても泊ることが出來ます。暑中休暇などには二月も三月も家をはなれて旅行もします。近頃日本でも青年の徒步

旅行が盛んになつて來たのはうれしいことですが、こんな宿泊所が方々に出來たらいいでせうね。褐色の制服を着たドイツの少年たちは、白くふちをとつて黑の卐の章をつけた赤色のバンドを左の腕にまいて、大小の旗を押し立て、大鼓の音と一しよに勇ましい歌を合唱しながら、町から町へ村から村へと行進をつづけて行く、その少年たちの顔にははちきれるやうな元氣がみち、熱烈な愛國心があらはれてゐます。世界のどこにこんな元氣な少年たちがありませう。無邪氣な四つ五つの子供までが、ハイルヒツトラーを叫び、ナチスの歌を歌ひながらあそんでゐる有樣は、よその國では見られない風景です。

かうして精神と身體とをきたへられてこそ、將來どんな困難にぶつかつても、これをうちやぶり、祖國をになつて立つ資格が出來るのです。日本の子供たちもドイツの子供たちにまけないやうにしつかりやつてもらひたいと思ひます。

十五　ドイツのあちこち

ドイツの大きさ

今までドイツがどうして今のやうな國になつたか、ナチスドイツの様子をお話して來ましたが、これから少しドイツの地理をお話致しませう。

ドイツがどこにあるか、そんなことは地圖を一目見ればわかることですが、ヨーロツパのほぼ中央にあると思へばいいでせう。北の方だけはバルト海と北海に面してゐますが、あとは全部陸つづき、西はフランス、ベルギー、オランダに接し南にはスイス、イタリー、ハンガリーがつづき、東の方にはポーランドやチエコ・スロバキアがあります。まだこの他の小さい國々も數へるとドイツの周圍には十以上の國々が取りまいてゐます。こんなに多くの國々と境してゐる國は世界のどこにもありません。

日本の長野縣は八つの縣と境してゐることを知つてゐるでせうが、これは日本の中

ドイツ國略圖

ですから何でもありませんが、ドイツは周圍を外國で取りまかれてゐるのですから、少しも油斷が出來ないわけです。殊に西の方フランスとは昔から厄介な問題が絶え間のないことはこれまでのお話でよくわかつたでせう。

では一つ皆さんに尋ねて見ませう。

「日本とドイツとくらべたら、どつちが大きいでせうか。」

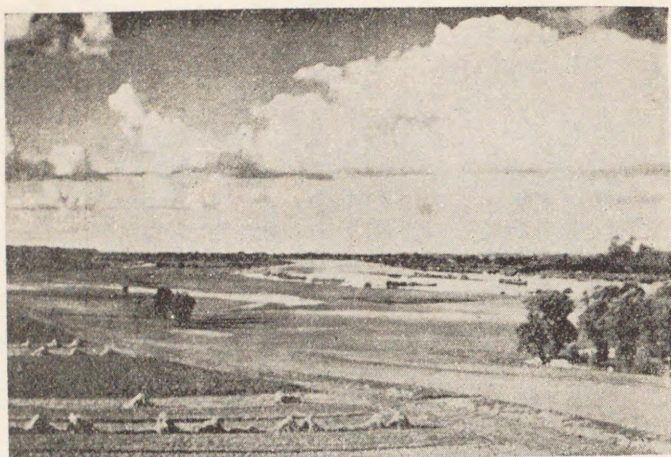
この質問にはドイツの方が大きいと答へる人が多いのです。ところがかへつて日本の方がドイツより大きいのです。

ドイツの面積は四十七萬六千方粁位で、朝

鮮を除いた日本の廣さ位でありましたが、最近オーストリアを合併しましたから八萬四千方粁位が加はりました。それでも日本の六十七萬五千方粁よりは少し小さいのです。しかしヨーロッパでは海外の領地を別としてくらべると、ロシヤの次に大きな國です。そのドイツよりも日本の方が大きいのだから、日本もそんなに小さい國でないことがわかるでせう。けれどもドイツの平野の廣いのにくらべて、日本が山國であることを考へなければなりません。ドイツにも山はありますが、日本のやうに山が多くはありません。

ベルリン

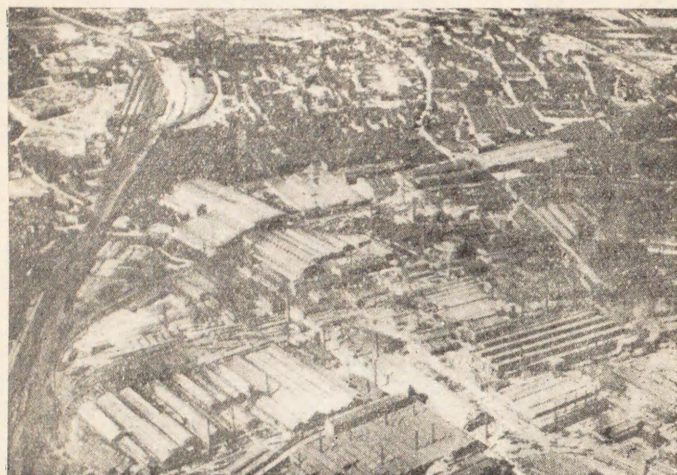
ドイツを地勢から分けて見ると三つになります。一つは北ドイツの平野、一つは中部と東南部の山地、もう一つは南ドイツのアルプス地方です。

北ドイツはヨーロッパ平野の中央を占めて、ドイツ全體の二分の一以上もあるのですからすばらしいものです。日本で一番廣いのは關東平野だが、ドイツの平野にくら

沃野展く

べるとその何十分の一位にしか當らないでせう。エルベ、オーデル、ウエーゼルといふやうな大きな河がこの平野をゆる〱と流れて北海やバルト海に注いでゐます。しかしこの廣い平野は荒地や、沼地が多かつたのですが、勤勉なドイツ人がだん〱開墾し、ナチスドイツになつてからは勞働奉仕團の力で、だん〱美しい畠にかはつて來ました。

その畠には主にライ麥や燕麥を作つてゐますが、ライ麥でこしらへた黒パンが我々のお米のやうに、ドイツ人の常食

です。又馬鈴薯はどこにでも栽培されてゐますが、これはそのままたべる外に、お酒にも造られてゐます。馬鈴薯の多いことはヨーロッパ第一です。甜菜もたくさん作つてゐます。これから砂糖を製造するのです。日本では主に甘蔗から砂糖を製造しますが、近頃は北海道あたりで甜菜を栽培するやうになつて來ました。しかしドイツの足許にもよれないことはいふまでもないでせう。ベルリンの西の方にあるマルデブルグがこの砂糖製造の中心地です。

平野と山地との境目あたりには石炭の出るところが多いのですが、西の方のルールと東のシレシアとが主産地で殊にルール炭田は産額が多い上に交通も便利ですから、非常に大切な地方です。ですから自然に工業が發達して、武器を製造する會社として名高いクルップ工場のあるエッセンを始め、多くの工業都市がならんでゐる有様は一寸日本の北九州に似てゐます。ここらあたり目にうつるものはただ林のやうにならび立つ工場の煙突、果しない建物の海、そして灰色の空であります。そこから新ドイツ

クルツプ工場

の勇ましいひびきが聞えて來るのです。
　エツセンは人口が五十萬の大都會ですが、その三分の一はクルツプ工場の人々なのです。日本にもそれとよく似た都會のあるのを知つてゐますか。
　平野の中央スプレー河にまたがつてベルリンがあります。ここはいふまでもなくもとのプロシヤの首府であつたし、ドイツ帝國の首府であり、今もナチスドイツの首府であります。人口も四百萬以上あつて政治、學術、交通、商工業の中心です。フランスのパリーのやうな華やか

ところはありませんが、街はまことにちやんとして氣持がよく、ベルリンの街を見ただけで、ドイツ人の氣持がわかるやうな氣がします。

ベルリンはドイツの中心であるばかりでなく、實にヨーロッパの中心であることは一目地圖を見れば成程とうなづかれるでせう。この位置がヨーロッパの中央であり、自然東西南北交通の交叉點になつてゐます。西の方のイギリス、フランス、スペインなどと東のロシヤ、ポーランドなどとを結びつけ、或は南部のヨーロッパと北ヨーロッパとをつなぐ大切な結び目になつてゐます。

それはかりでなくベルリンはスプレー河と運河によつて、水運にも惠まれてゐます。陸の交通はいふまでもなく、大陸の眞中にありながら、水運の便にも富んでゐるといふことは、ベルリンを今日のやうに發達させた地理上の大きな原因で、これこそベルリンの生命です。

何しろベルリンは大ドイツの都ですから、もし市内を見物するなら幾日あつても足りないほど旅人の心を惹きつけるでせう。ベルリンで一番にぎやかなところはリンデン街やライプチヒ街で、ライプチヒ街にはベルリン第一といはれる大百貨店ウエルトハイムをはじめ、大きな建物がならんでゐます。

このウエルトハイム百貨店の名をきくと、私はいつも哀れな盲導犬シトのことを思ひ出します。盲導犬といふのは盲人の杖の代りともなつて道案内をする犬で、ドイツではよく見られますが、これにはシエパード犬を使ひます。シエパードを知つてゐますか、今では日本にもたくさんあります。現在軍用犬は大ていこのシエパードで、小學校の讀本に出てゐる軍犬「那智」「金剛」もやはりシエパードなのです。もと〳〵シエパードはドイツの犬で、大きなからだ、ぴんと立つた耳、利巧さうな目、見るからに賢く勇ましさうで軍犬や警察犬、それから盲導犬などに使はれてゐます。シトもこの盲導犬でした。

あはれなシト

ドイツの都ベルリンの朝は、何もかも忙しさうに動いてゐます。電車は學校へ通る學生や會社工場に出かける人たちでぎつしりつまり、重さうに溜息をつきながら走つてゐます。

この往來のはげしい中を一頭のたくましいシェパード犬が走つて行きます。そのあとには如何にも粗末な手押車があつて、車に乘つてゐるのは一人の盲人です。盲人は左の手に一本の綱をにぎつてゐますが、この綱が前に走つて行く犬のからだにつながれてゐるのです。

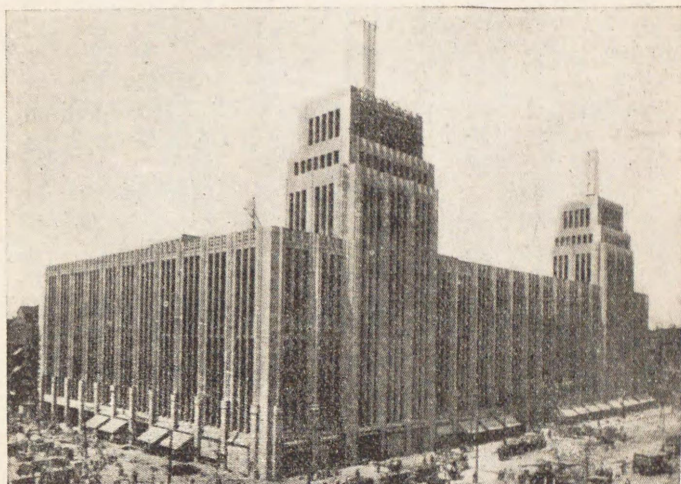
犬は車を決して他ものに衝突させるやうなことなしに、上手に盲人の案内をしてゐるので、車の上の盲人は全く少しの心配もなく、賢い犬に任せきつてゐる樣子です。

十字路に來ると赤や青の信號があります。田舍では見られませんが、少し大きな都會なら日本でもきつとこの信號があります。赤は止れ、青は進めの信號です。犬が十

字路に來たときには信號が赤でした。すると犬はぴたりと止りました。やがて青の信號が出ると犬は道を横ぎつて行きます。何といふ賢い犬でせう。人間でさへこの信號に氣づかなかつたり、知つても守らないで怪我をするものもあるのに、この犬は盲の御主人を少しも間違へずに案內してゐるのです。

十字路をいくつも橫ぎると、いよ〳〵にぎやかな通りへ出ました。そのにぎやかな通りには、まはりの建物からずつと高くぬけ出したウエルトハイムといふ、東京でいへば三越のやうな大きな百貨店があります。犬はこの百貨店の入口の橫でとまりました。すると盲人は車の前に小さい箱を置いて、そのまま車の中にしよんぼり座つてゐました。そのそばに犬がきつと耳を立てて、店に出入りする人々をながめてゐます。わかつた、ここで親切な人々からお金を投げて貰はうとするのです。

盲人はボルダーといつてもとは軍人でした。世界大戰のときフランスのベルダンで砲彈の破片を受けて兩眼がつぶれてしまつたので、政府から盲導犬としてシトといふ

ベルリン最大のデパート　ウエルトハイム

犬をいただいたのでした。もしヒツトラーも毒ガスでやられた目がそのまま見えなくなつてゐたら、どうでせう。

ポルダーとシトは裏長屋の一日中ちつとも光のささない薄暗い部屋に住んでゐました。部屋には何一つ道具らしいものもなく、ただ何年使つたか知れないやうな古寝臺と、そこらにかけたお皿が二つ三つころがつてゐるばかり。夜はこの寝臺で人と犬とが抱き合つて眠り、夜があける

とポルダーは、手押車に乗つてシトに案内され、ウエルトハイム百貨店の前に一日中人の親切を待つてゐるのです。

りつぱな身なりをした紳士や、きれいな着物を着た婦人たちが、織るやうに出たり入つたりしますけれども、大ていは哀れな盲なんか目にもつかないやうです。時々ふり向いても、汚い姿に顔をそ向けるだけで、一錢も投げてはくれません。たまにお金を投げてくれる人があると、

「どうもありがたうございます。」

といふつもりでせう、シトは一聲高く吠え立てますが、こんなことは一日にたつた五回か六回のこともあります。それではとてもポルダーとシトが、充分食べることが出來ません。けれどもポルダーはかうして生きてゐられるのは、シトのお蔭だと思つて自分のひもじさをぢつとこらへ、

「シト、さあお上りわしは食べたくないんだから!」

と、シトにパンをやつてもシトは食べようとしません。主人の顔を見上げて悲しさう
になきます。多分
「御主人が食べないのにどうして私一人食べられませう。」
といふつもりでせう。
「さうか、それぢや、少しでも半分づつ食べような。」
ボルダーがパンに手をつけると、シトもやつとそれを食べるのでした。
年の暮も迫つた十二月も末のことです。街路樹は大ていはだかになつてしまつて、
いつまでも枝にしがみついてゐる枯葉が、寒い風が吹くたびにカサ〳〵音を立ててゐ
ます。どんより曇つた空からは今にも雪が落ちて來さうです。
ボルダーはいつものやうに手押車を引き出して街に出ました。
「寒いだらうな、シト、いいや寒いより餓じいだらうな。しかしお正月までには
お前にもおいしいものを食べさせられるやうに一働きたのむよ。」

シトは心得て、いつものウエルトハイムの百貨店に急ぎました。そして入口の横手でぢつと親切な人を待つてゐました。

ところがどうしたのか、待つても〳〵ただ一つの銅貨も投げてはくれません。それどころか今日は人の足音さへ聞えないのです。

やつと中から一つ靴音が聞えて誰か近づいて來ましたが、お金を投げてくれる代りに、

「おい、お前さん、いくら待つてもだめだよ、今日はお休みだから、こんなところにゐると寒いからうちへかへつて休んだ方がいいぜ。」

と親切な言葉を投げてくれました。多分百貨店の番人だつたのでせう。けれどもうちへかへつたところで食ふものもない、ただ石炭のない古ストーブが待つてゐるばかりです。

「困つたな、シト。」

シトは心配さうに主人の顔を見つめてゐます。

「さうだ、公園に行かう、公園ならきつと人も出てるだらう。」シトは主人の獨語を聞いただけで、すぐ公園の方へ走り出しました。しかしこんな寒い日に公園にあそんでゐる人があるでせうか。

ボルダーは凍りついた噴水のそばで、人の足音に耳を立ててゐましたが、人の足音はどこにも聞えません。ボルダーは深い溜息をつきました。すると急に眠氣がさして來て、うと〳〵と眠り始めました。何とも知れぬよい氣持です。寒さも飢じさも何も感じません。廣い青草の上でシトと一しよにあそんでゐるやうな氣がしましたが、やがて野原もシトもみんな消えてしまひました。

「おい〳〵、起きないか、こんなところに寢てゐると風邪を引くよ。」

公園見巡りのお巡査さんが、手押車の中で眠つてゐるみすぼらしい男と、そばに丸くなつてゐる犬とを見つけたので、聲をかけましたが男は顔も上げません。

「よく、寢てゐるな……おや、死んでゐるぞ。」

お巡査さんはびつくりしました。ポルダーは寒さと飢のために死でしまつたのです。お巡査さんはどつかへ走つて行つて、他のお巡査さんとポルダーを運ぶ自動車とを呼んで來ました。

「もう、助かるまいが、大急ぎで病院へやつてくれ。」

お巡査さんたちがポルダーを自動車に運び入れようとすると、今までぢつとしてゐたシトは急に死物狂ひになつて吠え立てました。主人を連れて行かれては大變だと思つたのでせう。

「こら〳〵お前の主人を病院へ連れて行つて手當をしてやるんだよ。」

いひきかせてもやつぱりシトは吠えつづけました。それにかまはずポルダーは自動車の中に入れられ、冷たい風を切つて病院へ走りますと、シトは夢中になつてあとを追つかけ、幾度か自動車に飛び上らうとしてはふり落されました。

病院へ運ばれたポルダーはいろ／＼手をつくしましたが、もう生きかへる望みはありませんでした　門の外では悲しさうにシトが吠えつづけてゐます。

「可哀さうに、主人がこひしいのだらう、中に入れてやれよ。」

戸があくとシトは飛びこんで來て、寢臺に横はつた主人の顔といはず手といはずなめては、腹の底からしぼり出すやうな聲でなきました。

「もうお前の主人は生きて來ないのだよ。」

人々が何といつても、シトはポルダーのからだに、自分のからだをおしつけてはなれようとしません。お醫者さんもお巡査さんも看護婦さんも、顔をそむけて涙をふきました。

その晩、大雪が降りました。翌朝何のみよりもないポルダーを葬つてやるため、係の人々がポルダーを横へた寢臺に近づいたとき、シトはポルダーの腹に首をつつこんで丸くなつて寢てゐました。

「これ、起きろ御主人の葬式だぞ。」
呼んでもシトはぢつとしてゐます。
「おやこの犬も冷たくなつてゐます。」
「えつ、この犬も！」
「昨夜の寒さで凍え死んだのですね。」
「かはいさうにね。」
人々はあはれなシトのために泣きました。

風車小屋

ベルリンから西南へ三十粁位行くとポツダムといふところがあつて、ベルリンから汽車でも電車でもバスでも又川を船でも行くことが出來、ベルリン市民の遊び場所になつてゐます。驛のすぐ近くにランゲ橋といふ橋があつて、あたりの風景はオランダに似てゐます。オランダの風景にはきつと風車がついてゐますが、ここにも大きな風

車があります。
大きな槍をふりまはしてゐるやうに、ぐんぐんとうなつてゐるさまは、まるでお伽噺の國にありさうな風車です。
それはフレデリック大王が住んでゐたといふお城の近くにある風車で、これには面白いいひつたへが殘つてゐます。風車はくるくるまはりながら、その昔話を物語つてゐるやうに見えます。
御城の近くに一つの風車小屋がありました。フレデリック大王はお庭をひろげるために、この風車を臣下のものに取除くやうに命じました。ところがこの風車小屋はいつまでたつても取除かれる樣子がありません。
「あれはどうしたのか。」
大王のお言葉におつきのものが恐る恐る
「あの風車小屋には粉屋の親爺が住んでをりまして。」

と答へますと、大王は

「それならばあれを買ひ取つて、取りつぶしてしまへばよいではないか。」

「はい、ところがあの風車小屋の主人といふのは、まことに頑固親爺でございまして、どうしても賣り渡さないのでございます。」

「それが金が少いからであらう。代金はたくさん取らせるがよい。」

「いえ、代金はいくら取らせても承知を致しませぬ。」

「それはどういふわけか。」

「はい、主人の申すのには代々この風車小屋で暮して來たので、自分の代になつて手放すことが出來ないと申すのでございます。」

「さうか、あの小屋は金では賣れないと申すのぢやな。」

大王は何故風車小屋が取除かれないかそのわけがわかりましたが、どうもその小屋が邪魔になります。何とかして取り除いてしまひたいと思つて、

「朕の望みであることをよくいひきかせ、直段は望むほどに買つてやるがよい。」

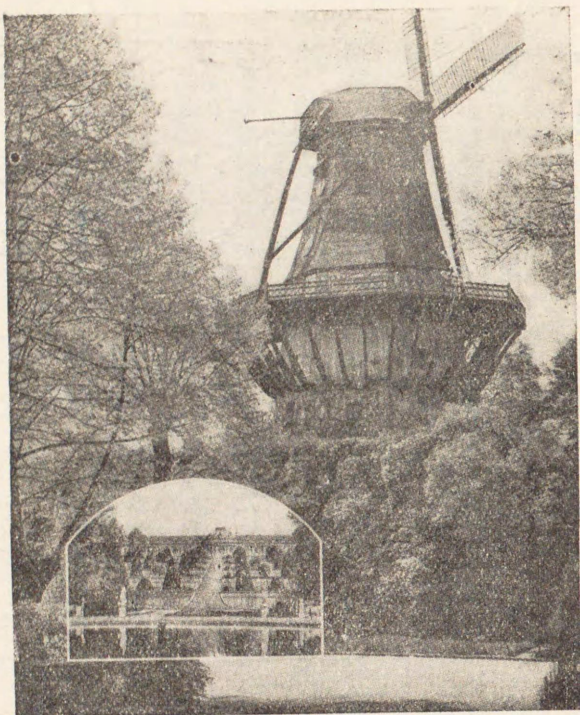
といつてもう一度臣下のものを談判につかはしました。

いくら頑固な主人も、王様のお望みならば、すぐにはい〳〵といふことをきくかと思つたら、どんなに頼んでも、いくらおどかして見ても、風車小屋の主人はどうしても小屋を賣り渡さうとはしません。これには大王も驚きましたが、自分で頑固爺さんを說いて見ようとお考へになつて、お城へお爺さんを呼びよせました。

お爺さんはお城の庭先に連れて來られると大王はおつきのものを從へてお出ましになり、言葉やさしく

「お前があの先祖から傳はつた風車小屋を賣りたくないさうだが、この庭をひろげるためにぜひゆづつてはくれまいか。」

とお頼みになりました。ところが風車小屋の主人は、

「まことに恐れ多いことでございますが、おゆづり申すことは出來ません。」

風車小屋

ときつぱりおことわりしてしまひました。

大王は呆れ顔に、主人の顔に目をそゝいだが、白髪頭でこそあれ如何にも丈夫さうな主人は、何の恐れるところもなくそこに立つたままです。

「お前があの小屋をゆづつても、りつぱに生活の立つやうにして上げるが！」

「いえ何と仰せられても、おことわり申上げるより外はございません。私の一家は代々あの小屋で暮してまゐりました。私もあの小屋で生れ、あの小屋で育ち毎日々々正直に働いてまゐりました。あのぐる〳〵まはる風車を見てをりますと、その喜びといふのは格別でございます。いくらお金をいただきましても、りつぱな家をいただきましても、あの小屋を失ひましたら、私の幸福はないのでございます。私はどうしてもあの小屋で安らかに死にたいのでございます。」

あまりの主人の頑固さにおつきのものが怒つてしまひ、

「これ〳〵、お前がそんな強情を申しても、大王様の御力でいやでも立退かせて見せるぞ。」

とおどかして見たが、主人は尙も心を動かしません。

「いえ、お情深い大王様がそんな無慈悲なことをなさる筈がございません。それにおつきの方が無理やりに私の手から風車小屋を取上げようとなさるなら　私はベル

リンの裁判所に訴へます。あそこの判事様は心の正しいおえらい方でございますから、きつと私の間違ひのないことをみとめて下さいませう。私はこんな粉屋の主人ですが、今まで何一つ不正直なまちがつたことをしてをりません。私の義務はちやん〳〵と果してをりますから、どこへ出ましてもちつとも恐いことはありません。判事様は必ず私の味方をして下さるにちがひありません。」

と少しも恐れるところなく申上げたので、おつきのものは益々腹を立て、

「この無禮者め」

と叱りつけました。ところが大王は笑ひながら主人に向つて、

「よし〳〵お前のいふことはわかつた。もう決してお前の小屋には手をつけないから安心して正直に働くがよい。」

といふと、主人は大喜び、何度も何度もお禮を申上げてかへつて行きました。

あとで大王は非常な御機嫌です。おつきのものがそれがふしぎでたまりませんでし

た。風車小屋の主人がどこまでも頑固を通したのですから、お腹の立つのがあたりまへだのに、何かひとりでお喜びの様子です、おつきのものがそのわけをお伺ひすると大王は、

「あの主人の言葉で、わしの裁判官たちがどんなに正しい裁判をしてゐるかを知ることが出來た。わしはそれが嬉しいのだ。それにあの主人の正直さうな顏、正しいことをしてゐれば何も怖くないといふあの心はえらいものだ。庭なんかどうでもいい、ああいふものこそプロシヤの寶だ。」

といつて一層嬉しさうでした。

如何にもフレデリック大王らしい話ではありませんか。

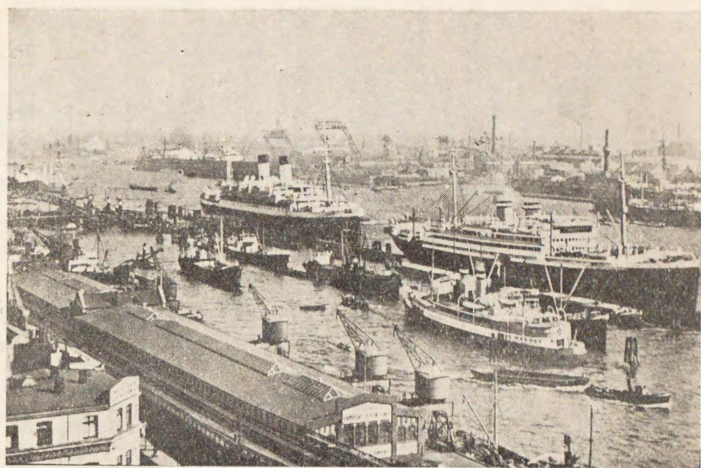
ハーゲンベック

ベルリンから約三百粁、エルベ河の流に沿つて行くとドイツ第一の貿易港といふよりはヨーロッパ大陸で一番大きな港ハンブルグがあります。エルベ河岸にある港です

が、どんな大きな船でも何隻も一度に横着け出來るといふからすばらしいものです。このエルベ河といふのが長さが千五百粁もあつて、その上ひろい平野をゆる〳〵流れてゐるので、河といつてもなか〳〵大きなものですから、ハンブルグのやうな港が發達したのです。支那の揚子江の如き、千粁も上流に漢口といふ支那事變で一層有名になつた港があります。その他ロンドン、ニユーヨーク、上海、アンベルスなど世界の大きな港が河の港であるのも面白いではありませんか。

港といふとすぐ林のやうに立つてゐる帆檣と、まう〳〵とした黑煙を思ひますが、ハンブルグにはそんな姿が見られず、その靜けさは、これが世界で指折の貿易港かとふしぎに思はれる位です。

このハンブルグに名高いものがたくさんありますが、一番世界に知られてゐるのはハーゲンベツク動物園でせう。ハーゲンベツク、何だかきいた名ではありませんか。

ハーゲンベツク動物園はその設備の大きいこと、サーカス用動物を訓練するところと

ハンブルグ

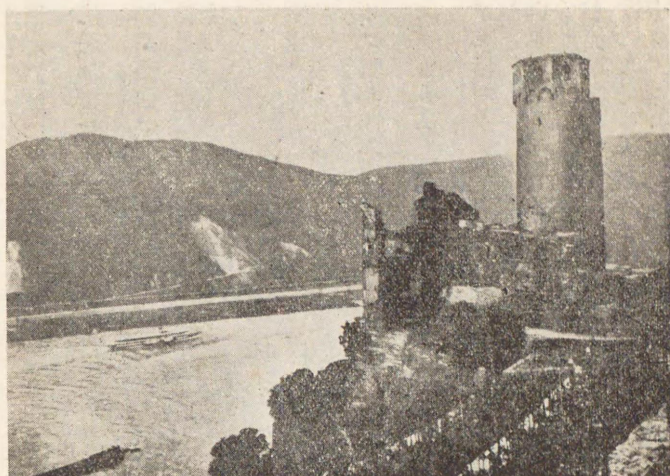
して世界にならぶものがありません。日本へもいつかハーゲンベックのサーカスが來て、すばらしい動物の曲藝をやつて人々をびつくりさせたことがあります。

ハンブルグから汽車で三十分ほど行つたところに、あのドイツ帝國建設の偉人ビスマルクが、ウイルヘルム一世からたまはつたところで、總理大臣をやめてから靜かに愛犬とともに暮したビスマルク邸の森林があります。

ハンブルグがエルベ河岸にあると同じやうにエルベとならんでゐるウエーゼル

河岸にはハンブルグに次ぐ大きな港ブレーメンがあります。これも何だかきいたやうに思ひませんか。いつかお話したグリム童話の中に有名な「ブレーメンの音樂師」といふ面白いお話のあるのを知つてゐるでせう。音樂師といつても人間ではなく、馬や驢馬や猫や鷄といふ動物なんです。

ラインの流れ

中央のドイツ山地の東の方は、サクソニヤといふ地方で、サクソニヤといふのはドイツ聯邦の一つの國でしたが、今では大ドイツとして統一されてしまひました。ドレスデンといふのがこのサクソニヤの首府で、美術で名高い都です。平野に近いライプチヒは有名な大學のあるところで又出版業では世界第一だといはれてゐます。出版といふと本を印刷して出すことで、學校の教科書だつてやはり出版物です。一體ドイツが出版業の盛なことはわけのあることだ、といふのは今日のやうな活版術は十五世紀の中頃ドイツ人のグーテンベルグといふ人が發明したのです。この發明によつて世

界の文明がどれほど進んだか知れません。

それから中部山地の西の方は有名なライン地方です。ライン河は千三百粁もある大きな河で、おしまひはオランダから北海に入ります。ライン河はドイツのふるさともいふべきで、ラインの守りは取りも直さずドイツの守りでありラインはドイツ魂の源なのです。

ライン下り！　その名をきいただけでも、何かふしぎな力で引きつけられるやうな氣がします、緑の丘、そびえる古城

ラインの風光

裸の岩、葡萄のみのる平野、靜かな村々が次から次へと繪のやうに目にうつつて來るばかりか、ふしぎな傳說がそこにもここにもつたへられてゐます。その中でもとりわけ有名なのはローレライの物語でせう。

ローレライ

ドイツの國ライン河に、ローレライの岩がそびえてゐます。その岩の上に、ふしぎな乙女が住んでゐました。それはライン河の水の精でした。

乙女は人間の魂を水の中にすひとることが、大好きでした。ですから船の影が見えますと岩の上に腰をかけて髮をほどきながらきれいな聲で歌をうたひます。この歌にはふしぎな力がこもつてゐるのです　その歌聲が耳にはいりますと、誰でもうつとりとなつて、すひつけられるやうに船をローレライの岩にごきよせます。すると劍のやうにとがつて岩が水にかくれてゐるので、船は底をやぶられて、そのまま沈んでしまひます。すると乙女はあやしい聲で笑ひます。人間の魂をたくさんすひとつたことが

ローレライの歌を聞くことも出來ますし、それでまた私はうれしいのです。

こんな恐ろしいことが度々起りますので、船に乘つて往來する人々はローレライの岩が見え出すと、みんな耳の孔に蠟をつめこみました。さうすればふしぎな乙女の歌に引きよせられる心配がないからです。果してそれからは乙女がどんなにふしぎな歌を歌つても、ちつとも船の人たちには聞えないのですから、船は平氣で岩のそばを通れるやうになりました。

くやしがつたのは乙女です。どうかして今までのやうに人間の魂をとつてやりたいと三日三晩考へこみましたが、とう〳〵乙女の胸にあやしい歌が思ひ浮びました。

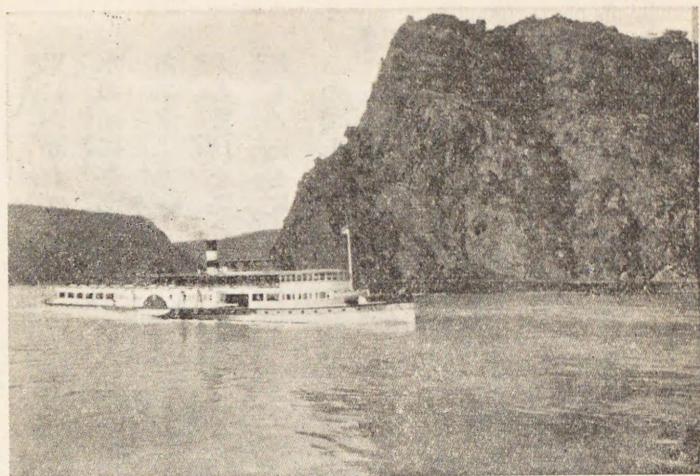
水深きラインの河の
流れみだして船は行く
よしや私の歌聲が
ふさいだ耳に入らずとも

風にふかれてふんわりと
水の面に落ちたらば
ああ水よ水よ
大きな口をあけて
船もろともに人を呑め

といふのでした。

乙女は大そう喜んで、岩の端に立つて船の來るのを待ちかまへてゐると、お晝頃になつて上手の方から一そうの船がゆる〳〵と下つて來ました。乙女はこおどりして喜びました。

この船にはライン河に沿うた或村の一番お金持が、大ぜいのお供をつれて乘つてゐました。いふまでもなくみんな蠟をつめて耳の孔をふさいでゐました。

船はやがてローレライの岩の横に來ました。お金持は岩の上に腰かけてゐる乙女の

ローレライの岩

姿を見つけました。しかしちつとも驚きません。耳の孔をふさいでゐるので歌聲が聞えないからです。

お金持は乙女の姿を見てゐるうちにふとよくないことを思ひつきました。少しからかつてやらうと思つたのでした。そして互に耳は聞えませんから、手眞似でお供のものに合圖をしますと、みんな舌を出したり、へんな手つきをしたりして乙女をからかひ始めました。乙女はいま〳〵しさうにそれをぢつと見つめてゐました。

「どうだい、くやしいだらう。」
「くやしかつたら船を沈めて見ろ。」
みんな大きな聲でどつと笑ひました。
そのときです、船の中の人たちは、乙女の口がしづかに動くのが見えました。何をいつてゐるのか少しも聞えませんが、乙女がくやしいとでもいつてゐるのかと思つて
「くやしかつたからここまでおいで。」
となほもよけいにからかひましたが、乙女の口からもれたのは、あやしいさつきの歌であつたのです。
その歌聲は船の中の人たちにはちつとも聞えないけれども、そよ吹く風にのつて、ふんわりとラインの流の上に落ちますと、忽ち船のへさきのところで水がさつと二つに裂けたかと思ふと、それが大きな渦になつて物すごくまはり始めました。
人々の顔はまつさをになりました。

大騷ぎを始めましたが、もうおそい、船は渦の中にまきこまれて、まるで小さい木の葉のやうにくる〳〵と二三度まはつたかと思ふと、へさきを下にしてまつさかさまに底深く沈んでしまひました。あとは今の出來事がまるで嘘のやうに、もとのしづかな流れになつて、岩の上では乙女がうれしさうに笑つてゐるのでした。

この噂が村につたはりますと、村中大騷ぎになりました。蠟で耳をふさぐやうにしてからは一度もまだ沈んだことがないのに、これはまあどうしたことかふしぎに思ひ恐ろしく思ひました。

しかしお金持が死んだことは別にかはいさうだとは思ひませんでした。それどころか心の中ではいい氣味だと思つてゐました。それはお金持は大そう慾ばりで、村の人たちはいつもひどい目にあはされてたからです。

けれどもやがてお金持の子のルイゼが氣の毒になつて來ました。ルイゼはお金持の

「大變だ〳〵。」

一人娘でしたが、お父さんとはまるで反對でとてもやさしい親切な少女でしたから、村人たちはお金持をにくんでもルイゼを愛しました。

ルイゼはお父さんのなくなつたことを心から悲しみました。そしてそれからもローレライの岩のそばを通る船が、度々沈んだことを聞くとゐても立つてもゐられませんでした。

とう〳〵、ルイゼは神さまに助けていただく外はないと思つて、夜になるとそつと村はづれの小さいお寺へ行きました。お寺といつてもそれは教會堂です。お寺には大理石で刻んだ聖母マリアの像が立つてゐました。マリアはイエス・キリストを生んだ方です。ルイゼはマリアの足もとにひざまづいて一心に祈りました。

「マリア様、どうぞライン河を往來する船が沈まないやうにして下さいませ。船の人たちが耳をふさいで、水の精の歌聲が聞える筈がないのにどうして船が沈むのでございませう。マリア様、私はどんなつらい目にあつてもよろしうございますから

村人たちのために船が沈まないやうにして下さいませ。」

ルイゼは毎晩からいつてお祈りしました。しかしルイゼがいくらお祈りしても、やはり船は沈みます。ルイゼはもう氣でありません。ほとんど夜通し祈りつづけました。

すると或晩のことでした。ルイゼはいつものやうにマリアの足もとにひざまづいて一心に祈つてゐましたが、毎晩よく眠りませんので祈つてゐるうちに頭がふら〳〵して何だか氣が遠くなるやうに思はれました。するとローソクの光にてらされたマリアの像が、ふいにむく〳〵と動き出したかと思ふと、眞白い手で頭にかけてゐた十字架をはづしてルイゼの前に投げました。

ルイゼはびつくりして目を見張りますと、聖母の口からやさしい言葉がもれて來ました。

「ルイゼよ、水の精は新しい歌を思ひついたから、いくら耳をふさいでも船は沈みます。しかしお前が私のいふことをきいたら、船は沈まなくなるでせう。」

「それはどんなことでございます。私はどんなことでも致します。」

ルイゼは思はず大きな聲を立てました。

「それでは私のいふ通りにするのですよ、それはお父さんが殘したお金を二つにわけて、半分はお母さんとあなたのものにして、あとの半分は村の人たちに分けてあげるのです。」

「ハイ、きつとさう致します。」

「ではその十字架を持つておかへり、そして夜が明けたら船に乘つてローレライの岩のそばを通りなさい、そのときにはその十字架を持つて行くことを忘れてはなりませんよ。もうそれでよいのです。」

ルイゼは床の上にひれ伏してゐました。しばらくしてしづかに頭をあげますと、もうマリアの像はちつとも動きませんでしたが、自分のそばにはちやんと十字架がありました。

ルイゼは十字架を持つて、夢心地でおうちへかへりますと、すぐにお母さんに話してお父さんの殘したお金を二つに分けました。そして夜があけると村の主な人々を呼んでわけを話し、半分のお金を村の人たちに分けてくれるようにたのみました。お金を受け取つた人々はルイゼのやさしい心に涙を流して喜びました。

「さあ私はこれからマリア樣のおいひつけに從つて、船に乘つてローレライの岩のそばへ行かなければなりません。けれども私は船がこげませんから、誰か一しよに來て下さいませんか。」

ルイゼからいふと村の人たちは互に顔を見合せました。誰も自分から進んで行かうといふものがなくみんなだまつてゐました。

「お願です、誰か一しよに行つて下さい。」

すると二人の若者が出て口をそろへて答へました。

「では、私たちが船をこいで上げませう。」

ルイゼは喜んですぐに若者たちと一しよに船に乘りました。お母さんも村人たちも果してルイゼたちが生きてかへるかどうかわかりませんので、いつまでもあとを見送てゐました。

船は波にゆられて、ゆる〳〵と下つて行きます。ルイゼはマリアからいただいた十字架を首にかけて、船のへさきにぢつと坐つてゐました。二人の若者は船をこぎつゞけます。

まもなくローレライの岩が見えました。二人の若者の胸は何となく騷ぎ始めました。しかしルイゼは平氣で坐つたままです。

いよ〳〵岩のそばに近づきますと、岩のかげからぬつと現れた水の精の乙女は、船の中の三人をながめてにつと笑ひました。今日も又この人たちの命をうばつて、魂を水にそひこめると思ふとうれしくてたまらなかつたのです。三人は頭から冷たい水をあびたやうにぞつとしました。

やがて乙女は眞赤な唇をひらいて歌ひ始めました。

水深きラインの河の
流れみだして船は行く

……………

歌聲は風に吹かれてふんわりと水の面に落ちました。すると船のへさきの水が忽ちさつと二つに裂けました。三人は思はずあつと叫びました。そのまま船は沈んでしまつたでせうか。

いえ、このときふしぎなことが起つたのです。ルイゼが首にかけてゐた十字架からさつと金色の光が出て、水の上に落ちたかと思ふと、裂けかかつた水が見る〳〵もとのやうになつて、船は何事もなくする〳〵とすべつて行きました。

水の精の乙女はこの樣子を見て齒がみをしてくやしがりました。そして雪のやうに白い手を高く空にさし上げて、何やら口の中でとなへたかと思ふと、岩の上から船の

中に飛びこまうとしました。三人はそれを見て顏色をかへましたが、そのとき又十字架から金色の光がさして、水の精の顏をてらしました。すると水の精はきやつとけたたましい叫び聲をあげたかと思ふと、そのままぐつたりと首を垂れ、岩の上からラインの流にまつさかさまに落ちこんでしまひました。

それからはもう二度と水の精の姿も見られないし、ふしぎな歌聲も聞えなくなつたのです。

ラインのあらし

なか〳〵面白いお話でせう。

「なじかは知らねど心わびし。」

とローレライの歌が日本の少女たちにもずいぶん歌はれました。皆さんはきつとこんなところへ行つて見たいと思ふでせう。今は岩にはトンネルがあつて、汽車が通つてゐます。

ところでこのしづかな如何にも美しいラインの谷は、決していつも平和な日がつづいてゐるとは限らないのです。いやここはいつもドイツとフランスの勢力の衝突する場所なのです。地圖をよく見てごらんなさい。ラインの谷はドイツ、フランスの境にあるでせう。世界大戰でドイツはアルサス、ローレンをフランスにとられたばかりでなく、ザール地方は十五年フランスの委任統治になる、おまけにラインにはフランスの軍隊が入りこんで來てドイツの見張りをしてゐました。そのフランスの軍隊は一九三〇年には引き上げてしまひましたが、ラインの廣い區域は軍備禁止區域といつて、ドイツの軍隊を一人もおけないことになつてゐたのです。

ところが昭和十一年のことです。ドイツは自分の國の中へ自分の方の兵隊をおけない道理はない、砲臺を造つてとがめられる筈はないといふので、このラインの軍備禁止區域へ堂々と軍隊を進軍させてしまひました。これにはフランスを始め列國はびつくりして、

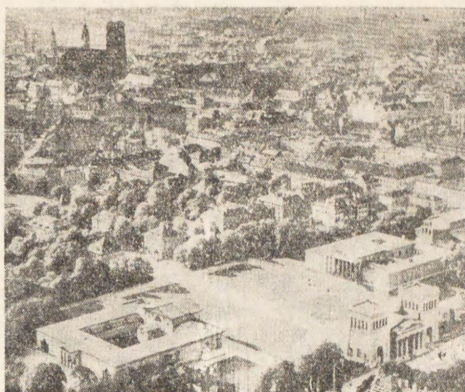
「そんな約束にそむくやうなことをしては困るではないか。」

とドイツをおどかして見たが、ドイツの方では、

「はい、さうですか。」

と引きさがる筈がなく列國はドイツを抑へることが出來ませんでした。かういふといかにもドイツが亂暴なやうですが、もと〳〵この約束といふのは、ドイツの國力がまだあまり強くない頃、フランスなどの都合のよいやうにきめた約束なのですから、ドイツが強くなれば、そんな國の恥になるやうな約束を破つてしまつたからとて、ドイツをとがめることは出來ないでせう。

南部の高地アルプスに近くバイエルンがあります。これは聯邦の一つで、プロシャに次ぐ大きな國でしたが、今では大ドイツに統一されてゐます。このバイエルンにつゞいて新しく合併されたオーストリアがあるのです。

ここは、ヒツトラーに緣の深いところで、ヒツトラーがオーストリアのウィーンか

せら移つて來たところが、バイエルンの首府ミユンヘンであつたことを憶えてゐるでせう。ミユンヘンは實にナチスにとつて忘れられない大切なところです。人口は七十萬もあつて、南ドイツ第一の都會でビールの産で名高く、ミユンヘンビールの名は世界中にきこえてゐます。ビールはドイツが世界第一で、ドイツでお酒といへばビールのことです。

ミユンヘン市街

蹄のあと

ベルリンからミユンヘンに來る途中に、ニユンヘンベルクといふ町があります。

「ニユンヘンベルクを見ないとドイツがわからない。」

といはれる位で、ドイツを旅行する人々の心惹かれる町です。町はづれにお城があつ

てこの石段の上の中庭からニユンヘンベルクの街を見たら誰でも、

「おや。」

と思はず聲を立てるでせう。何故なら他の都會とはまるで樣子がちがふからです。その屋根はどれ一つとして眞直なのはなく、どれもこれも波のやうにうねつてゐます。どの家も少しかたむいてゐます。家の白壁が古くなつて鼠色にかはり、屋根の赤瓦も少しくろずんでゐます。街の道路は十五糎四方位の丸味を持つた角石でたたんでゐて、町は見渡す限り赤く波打つ屋根、かたむいた家、古いお寺の塔などつづいて、はるか向ふの、遠山のかすんだ姿が見えるのです。何もかもまるでお伽噺にありさうな町です。

このふしぎな町はいつ頃出來たか、いろ〳〵と言ひ傳へられてゐますが、今から九百年程に始まつたらしい。お城は町の北側にあつて、狹い城ですが、まはりに深さ三十米のお濠をめぐらし、物見櫓がいかめしくそびえてゐます、その一方の隅にある五

角塔の中は昔牢屋であつたさうですが、このお城から牢屋へ行く途中の石垣の上に、馬の蹄のあとが二つ殘つてゐます。それについてこんな面白い話があります。

十四世紀の頃この地方からライン一帶にかけては、我が國の戰國時代のやうに英雄豪族が要塞をきづいて互に勢を爭つてゐましたが、この町から五十粁ほどはなれたイリンゲン城には、エッケラインといふ大名が住んでゐました。强いにまかせてそこらを荒しまはりましたので、人々はエッケラインの名を聞いてさへふるへ上る位でした。

しかしこの亂暴者も遂にニュンヘンベルクの殿樣のために捕へられ、五角塔の牢屋の中に入れられて死刑をいひ渡されました。そのときエッケラインの狂ひ叫ぶ聲が城外の町にまでひびきわたつたといふのですから、ずいぶん物凄かつたのでせう。

いよ／＼死刑の日が來ました。エッケラインはお城の中庭に引き出され、そのまはりを大ぜいの兵士がぐるりと取りまきました。いくらあばれ者の强いエッケラインも

ただ死を待つばかりです。一段高いところでは、殿様が氣持よさうにこれを打ちながめてゐます。

このとき何を思つたかエッケラインは、

「私はここでいよ〳〵殺されるのですが、たつた一つお願があります。」

とさも神妙に申出ました。

「それは何事だ。」

武士の大將が尋ねますと、

「死んで行く前に、一度愛馬に別れを告げたいと思ひます。これだけをどうぞお聞き届け下さい。」

といふ心やさしいお願ひ。

やがてこの願が許されて、エッケラインの愛馬が一人の兵士に引かれて中庭に連れてこられました。主人の姿を一目見た馬は、うれしさうに高くないて、なつかしげに

エッケラインは慈愛をこめて馬のたてがみをなでました。まはりの武士たちは、この勇士と愛馬の別れに何となく哀れになりました　するとエッケラインは、

「今まで私を乘せて戰場を驅けめぐつたこの馬に、死ぬ前ただ一度乘ることをお許しいただきたら存じます。」

といふのです。

エッケラインの望みは武士として尤なことであるし、どうせ逃げ出す隙はないのですから、この願も聞き屆けられました。やがて兵士が馬の鞍を持つて來てこの馬の背に置きました。

ひらりとまたがる主人を乘せた愛馬は、うれしげに頭をあげカツ〳〵と敷石をふみならしました。兵士のかためた中で馬は一まはりすると、エッケラインは少し前かがみとなつて、かるく馬の首をなでました。すると馬は身ぶるひして急に物凄い勢で兵

士たちの前に近づきました。三十米のお濠にかこまれたこの城の中から逃げ出すことが出來る筈もありませんから、兵士たちは少しづつ後に退きました。
それからほんの少したつたとき、
「あつ。」
兵士たちは思はず驚きの聲をあげました。馬は主人を乘せたまま石垣をおどり越えてしまつたのです。しかし石垣の外は深いお濠です、馬も人も忽ちお濠の水深く姿をかくしてしまひました。
呆氣にとられてゐた兵士たちはやがて
「馬鹿なやつだ。死刑にされるまでもなく自分で水にのまれてしまつたのだ。」
といひながら水の面を見つめてゐました。
するとどうでせう。次に兵士たちの目にうつつたのは、少し下手の方に浮び上つたエッケラインとその愛馬の姿です。

門をひらいて釣橋を下し逃げて行くあとを追つたときには、もうエッケラインの姿はどこへやら影も形も見えません。あとには石垣に馬の跳つた蹄のあとがあざけるやうに殘つてゐたといふことです。

「それ逃すな。」

大きな袋

この地方にワインスベルグといふ小さい町がありますが、この町はづれにすり鉢をさかさにしたやうな小高い丘が見えます。今は平和な葡萄畑となつてゐるのですが、ここには昔堅固なお城があつて、今でも城趾が殘つてゐますが、このお城にも面白い物語が殘されてゐます。

今から八百年ほど前、このバイエルンのヴエルフ公が敵の國と戰つて敗れ、ワインスベルグの城をすつかり圍まれてしまひました。城の中では必死に防ぎましたが、だん〳〵兵糧もなくなつて來たので、とう〳〵持ちこたへられず降參して城を開け渡す

ことになりました。

ところが敵の王様はこのとき、

「今までてむかひしたのだから、男は一人もゆるすことは出來ない。ただ女だけは助けてやるから早く城を立ちのくがよい。しかしその際多くの荷物を持つて出ることはならぬ。一人について一つの袋だけゆるす、それより外のものは一切持つてはならない。」

と降參の使の者にきびしくいひ渡しました。

さてその翌朝、城内から女たちが一つづつ袋を背負つて出て來ました。どの袋もどの袋も大きな長い袋です。敵の方では袋一つはゆるすといつたが、女の持てる袋は小さいものだと思つてゐたのに、こんな大きな袋を見てびつくりしました。ずいぶん慾ばりな女たちだ、長い間城に立てこもつたので、へと〳〵になつてゐると見えて、お城を出るとすぐ倒れるものもありました。

「一體あの女たちは何を袋の中に入れてゐるんだらう、一つ調べて見よう。」

敵の兵隊は女たちを立ち止らせて、袋を下させました。そして紐をといてみると驚きました。袋の中に入れてゐたのは着物でもお金でもない、意外にも男の人でした、兵隊でした。

男は一人もゆるさないといふのに、一人どころかお城の中の男がみんな女の袋の中に入つてお城からぬけ出して來たのです。約束にそむいて男をお城から出したのだから、女共も一しよに殺してしまへと敵の兵隊が怒つたのも無理はありません。

しかし勝手に殺すことも出來ないので、王樣にお知らせしました。流石は王樣です。

「いや、袋を一つづつゆるしたのだから、中に何が入つてゐようと、とがめることは出來ない、このまま通してやれ。」

といふ一言で女共は何のとがめもありませんでした。それからしばらくは大きな袋を

背負つた女の行列がつづきましたが、袋の中の男といふのはみんなその夫であつたのです。女の人たちの賢い智慧で夫は無事に救はれたのです。

南ドイツの高地の西の半分がラインの谷のつづきです。谷といふといかにもせまいやうに思ふでせうが、どうして〳〵山の中に見事な平野があり、ドイツで一番農業の盛なところです。かういふと北の方の平野はどうかといふでせうが、日本とちがつて水をためる田圃に作るのでなく、畠であるから、北部平野のやうに沼地なんかの多いところより、ライン地方の方がよく發達してゐるわけです。

ウィーン

バイエルンを南に越えるとオーストリアで、その中心はウィーンです。ウィーンもヒツトラーにとつて思出の深いところ、最も苦しかつた五ケ年の生活をこのウィーンに送つたのです。

ウィーンは人口が二百萬、オーストリア・ハンガリー帝國の首府でありましたが、

世界大戰の結果、僅か人口六百五十萬の小國オーストリアの首府となり、今は獨墺合併によつてドイツ國內の一都會となりました。

流石に長い間大帝國の首府であつただけに、パリーとともに美しい都會だといはれてゐます。中央に高くそびえる敎會の尖塔、世界最大の大學の一つといはれるウィーン大學、五本の尖塔の立つてゐる市役所、さてはダニューブ河の大きな鐵橋など、見るべきところが少くありませんが、誰も見逃すことの出來ないのは、郊外にあるウィーン宮殿でありませう。フランスのヴェルサイユ宮殿をまねて造つたさうで實にりつぱな宮殿です。宮殿の中には千四百四十一の部屋があります。宮殿の美しさに目を見張る旅人はその後の庭に出て更にびつくりするでせう。目のさめるやうな花壇、一つ〳〵みがいたやうな白い砂利、噴泉を中心として四方にのびる綠の林、そのはるかかなたにダニューブ河をへだててアルプスの峰が見えるのです。

この宮殿は今から四百年程前に造られたといふことですが、こんなにりつぱな宮殿

にしたのは、マリア・テレサといふ女帝です。皆さんはきつとおぼえてゐるでせう、マリア・テレサがプロシヤのフレデリツク大王と戰爭をつづけたことを。宮殿の隅々庭の一本の木一つの石までも、みなマリア・テレサの指圖によるとさへいはれてゐますが、戰爭に疲れた女帝はここで心やからだをやすめたのでせう。
ダニユーブ河はウイーンのあたりで、アルプス山系とカーペシアン山脈とを割つて流れ、ハンガリーから遠くバルカンの平野を走つて黑海に注ぐ大切な河で、ドイツがオーストリアを併合して、一層ダニユーブの水運を利用することが出來るでせう。

十六　ドイツの産業

氣　候

皆さんが世界地圖を開いて見るとすぐわかりますが、緯度からいふと、ベルリンは日本の北の端よりも、もつと北になつてゐます。緯度といふのは、赤道を中心にして

南へ九十度北へ九十度引いた線を、赤道を零度として北緯何度といふやうに數へるのです。樺太の北端が北緯五十度であるのに、ベルリンは北緯五十二度を越えてゐますから、非常に寒いやうに思はれますが、ベルリンの冬は東京位で、夏は東京よりずつと涼しいのです。

しかし東部のポーランドに近い方は大陸性の氣候で、寒さ暑さの差が甚だしくて、冬はかなり雪も積るし、バルト海の沿岸は凍ることがあります。ドイツ全國を平均すると夏は十五度から十六度で、先づ日本の十月頃の暖さと思へばよい位で、一番暑い所でも三十四度位です。冬も西プロシャあたりでは零下二三度ですが、東プロシヤ東南のシレシアの方では零下五十五度になることもありますが、これは滿洲よりも寒いことになります。どちらかといふと、ドイツはラインを除いては少し寒い位で、產業上惠まれた氣候といふことは出來ないでせう。

農業

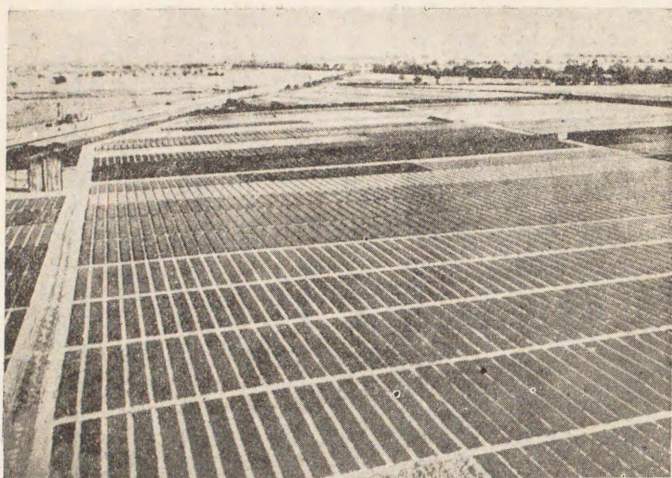
ドイツは地形といひ、氣候といひ、土質といひ、あまり自然に惠まれてゐないのですが、學問が進んでゐるのと、國民が勤勉なのとによつて、いろ／＼な產業がよく發達してゐます。

先づ農業からいつて見ると作物の栽培出來る耕地の面積が、全面積の四割四分に當つてゐます。日本はどの位かといふと內地が一割五分、朝鮮が二割、臺灣は二割三分で平均してもドイツの半分にも及びません。山の多い日本がドイツと同じ位になるのはむづかしいかも知れませんが、もう少し增加することが出來るだらうと思ひます。

それからドイツでは草地や荒地が二割五分、森林地方が二割五分、あとは川とか池とか都市とかです。荒地はだん／＼開墾されてゐますから、今にドイツ國內には荒地が少しもなくなる時が來るかも知れません。農民の數は全國民の三分の一あります。日本では水產業者を入れると國民の半分位で、ドイツよりずつと多くなつてゐます。

耕す田や畑がドイツの半分に足りないのに、耕す人がドイツより多いのですから、日本のお百姓の作る田畑の面積は非常に少いことがわかりませう。

ドイツの農業ではライ麥、燕麥、馬鈴薯が廣く栽培されてゐますが、そのうちでも馬鈴薯は年に四千萬噸も產し、ロシヤについで世界で二番目であります。甜菜は世界全體の三分の一を產するといふからえらいものです。ラインの谷で葡萄を作つてゐることはお話しましたが、葡萄が出來る位だから葡萄酒も造ります。しかしこれはお隣のフランスの足許にもよれません。その代りドイツではビールが多く、世界で一番です。ミユンヘンはその中心地だつたことはおぼえてゐるでせう。

ドイツは牧畜國ではないけれども、牛が約二千萬頭、日本內地の十倍よりも多いし、豚は二千四百萬頭もあります。これは人口百人について四十頭の割合で、日本內地では僅か一頭であるのに比べて實に驚くべき數ではありませんか。ですからよいうちの娘さんもよろこんで豚のお世話をするのです。

大森林の種苗圃

牛や豚が多いので肉類ミルク、バターチーズなどは、みんな自分の國だけで間に合つてゐます。羊、馬も少くはありません。

森林の面積は日本よりせまいが、槲や松や樅がよく茂つてゐて、森林についての研究は世界で一番すぐれてゐます。ドイツのどこへ行つても實に見事な森林が見られるのはうらやましいほどです。日本なんかもつと林業を盛んにしなければ世界の森林國だなんていばれません。

ドイツは世界で指折の石炭國です。大戰前にはルール、ザール、西サクソニヤ、上シレシア等の炭田からたくさんの石炭が出ましたが、大戰に敗れたので、その大切な産地をとなりの國からけづりとられて、その産額が大へん減りましたが國民の努力でだん〳〵増加し、アメリカ、イギリスにつぐ第三番目となりました。近頃はザールは取りもどすし、だん〳〵もとの領地を手に入れるやうになつたから、石炭も益々出るやうになるでせう。日本も石炭國であるけれども、ドイツの三分の一か四分の一位で、國内で使ふのにも足りないやうな有様だから心細い話です。

鐵も少くありませんが、世界大戰の結果アルサス、ローレンといふ鐵の一番大切な産地を、フランスに奪はれたことは、ドイツにとつて非常な痛事でした。けれども國内から相當出るし、尚スウエーデンやフランスから鐵鑛を輸入して鐵を製造し、世界の鐵産國の一つに數へられるし、最近オーストリアを併合したので、これから産額が

増加するやうになるにちがひありません。

それからドイツは岩鹽の大產地として有名です。その產額の三分の一位は輸出してゐます。岩鹽は日本にはありません。日本では海水から鹽をとるのです。瀨戶內海の沿岸が鹽の產地であることは皆さんもよく知つてゐることと思ひますが、臺灣にも關東州にも鹽を產します。しかし日本では鹽が非常に足りないので、年々滿洲、北支や遠くアフリカからもたくさん輸入してゐるのです。日本人はあんなからい鹽をそんなになめるのかと驚いてはいけません。鹽はただ食物に味をつけるといふばかりでなく、工業上にぜひなくてはならないし、殊に軍需品として非常に大切なのです。これが岩鹽としてたくさん產出されるといふのですから羨しいではありませんか。

工業

次に少し工業のことをお話しますが、皆さんは工業がどんなところに發達するか知つてゐますか。先づ原料が豊富なところ、交通が便利なところ、それから石炭とか電

るとよくわかるでせう。原料はそこになくても運んで來るのに便利ならよいわけです。日本の大きい工産地を考へて見るとよくわかるでせう。原料はそこになくても運んで來るのに便利ならよいわけです。

すると

氣の得易い人口の多いところに工業が發達します。日本の大きい工産地を考へて見るとよくわかるでせう。原料はそこになくても運んで來るのに便利ならよいわけです。するとドイツは工業の盛んな國でせうか。皆さんはきつとドイツは工業國だと答へるでせうが、その通りです。

ドイツはイギリスと共にヨーロッパの二大工業國で、主に中部の炭田區域や水力利用に便利な南部に盛んです。化學工業では世界第一で、殊にアニリン染料といふ染物料は、どこの國も眞似が出來ないといはれ、日本もドイツから染料を輸入してゐるのです。藥品とか石鹼とか爆發藥、ガラス、肥料、人絹などもなか〳〵盛んです。よくバイエルといふ名のついた藥が日本にもたくさん來てゐるが、これもドイツの會社の名であります。

製鐵の盛んなことはイギリスを追ひ越すほどで、機械、造船、ゴム、紡績など一々あげてゐたらはてしがない位です。どれもこれもみな相當のもので、自動車も一年に

十萬臺以上を製造し、世界の第四位を占めてゐます。ドイツの産業はこの位にしておいて、一寸貿易のことを附け加へておきませう。

貿易

世界大戰前のドイツはイギリス及びアメリカ合衆國とともに、世界三大貿易國であつたのですが、大戰の結果みじめな目にあつてしまひました。しかし不屈の精神でだん／＼と取りもどし、今では世界貿易の八分八厘で、世界第三位を占めるやうになりました。昭和十二年度の對外貿易は輸出五十九億マルク、輸入は五十四億マルクで、輸入よりも輸出が多くなつてゐます。こんな國を出超國といつて日本のやうに輸入の方が多い國を入超國といつてゐます。貿易先はオランダ、アメリカ、イギリス、フランス、ベルギー、イタリア等で、日本との貿易もだん／＼盛んになつて、日本のドイツへの輸出は昭和六年には僅か八百四十萬圓ばかりでありましたのが、昭和十一年には四倍近い三千五百萬圓となり、昭和十二年は一月から十月までで三千五百萬圓を超

えてゐます。一方のドイツからの輸入は昭和六年七千三百萬圓であつたのが、昭和十一年には一億一千萬圓、昭和十二年の一月から十月までに一億五千萬圓近くになつてゐる。それから、日本ではないがドイツは滿洲大豆の大切なお得意であることを忘れてはなりません。

十七　ドイツの交通

正しい汽車の時間

一八三八年日本の天保九年に世界中で一番早く、ドイツに始めて鐵道がつきましたが、それから鐵道の發達したことはすばらしいもので、ただ鐵道がよくついてゐるばかりでなく設備は世界で一番ととのつてゐるし、汽車の時間の正しいことはもう一つの國とともに、世界の模範といはれてゐます。もう一つの國といふのはどこでせう。イギリスでせうかアメリカでせうか、それはありがたいことに日本なのです。日本の

汽車は何か特別なわけのない限りほんとに正しく動いてゐます。西洋人が日本に來て びつくりもし感心もするさうですが、こんなに汽車の時間の正しい日本が、他の方で はあまりよく時間が守れないといふのは殘念ではありませんか。

日本と兄弟分のドイツが日本とともに汽車の時間が正しいといふのは愉快なことで すが、私たちはその他のことでもドイツに負けないやうに時間を正しく守るやうにし ませう。

さてドイツの鐵道はヴエルサイユ條約で約七千粁を失ひましたが、それでも五萬四千粁に達し、オーストリアの六千七百粁を加へると六萬粁を越えてゐます。之は面積一萬方粁につき十二三粁の割合で、日本は四粁餘りにしか當つてゐませんから、日本よりはるかに鐵道がよくついてゐるわけです。しかし日本は山が多いから、ドイツと同じやうには考へられないでせう。この長い鐵道はみんなドイツ國鐵會社といふ一つの會社がやつてゐます。こんな大きな會社は世界に二つとありますまい。この會社は

自動車道路も、この會社の仕事であります。

鐵道ばかりでなく、ナチスドイツの誇として今盛んにつくつてゐる

水運

船の方は大戰前五百四十五萬噸もあり世界第二位でしたが、大戰の結果一度に減つてしまつたけれども、だん〳〵盛りかへし、昭和八年頃には三百九十萬噸世界の第四位にまで上つてきました。世界第一はイギリス第二はアメリカそして第三は日本なのですから鼻が高いのですが、うつかりするとドイツに追ひ越されるかも知れません。

それから日本とちがつて、ドイツではライン、エルベ、オーデル、ダニューブなどの大きな河が、いくつも〳〵の運河に結ばれて、殆どどこへでも船で行けます。オーストリアを合併したからダニューブ河を一層利用出來るやうになりました。ダニューブといふのは二千八百粁も長さがあつて、ドイツから出てハンガリーを通りおしまひに黑海に入るヨーロッパでは非常に大切な河です。

運河で殊に名高いのはキール運河でせう。ドイツの北の方にはバルト海と北海があり、この二つの海の間に、ユトランド半島がにゆつとつき出してゐます。この半島の北の方がデンマークで南の方がドイツです。もしバルト海岸の船が北海の海岸に出ようとするには、この長い半島の北の方をぐるつとまはらなければならなかつたのですが、これでは不便であるし、いざ戰爭の場合こちらの海からあちらの海へ軍艦を移すのに、非常にたくさんの時間がかかります。そこでこのバルト海と北海とを結びつけるために出來たのがこのキール運河で、一八八七年から八年かかり、一億五千萬圓の金を費して出來上りました。運河の長さが百粁、有名な軍港キールがこの運河のバルト海側にあるのです。この運河のお蔭でどんなに便利になつたかはいふまでもないでせう。

空の交通のことは前にお話しましたからここではははぶいておきます。

十八　ドイツ國民

むづかしい民族の問題

ドイツの人口は凡そ六千六百萬人ほどで、日本の内地の人口と同じ位です。それに六百五十萬のオーストリアの住民も加はつたから、七千萬人以上になりました。これが殆ど純粋のドイツ民族で、オーストリアの住民も九割四分はドイツ民族なのです。しかしまだ國内にはいくらかドイツ人以外の民族も住つてゐます。北の方にはデンマーク人、ポーランドに近いところにはポーランド人、サクツニヤの方にはチエツコ人がゐるし、オーストリアにもチエツコやその他の民族がゐます。

かういふ民族よりもドイツにとつて、もつと／＼厄介なのは國内にちらばつてゐる六十萬のユダヤ人です。ユダヤ人のことは前にも話したことがありますが、ナチスが大ドイツを建設する上に何より邪魔になるのはこのユダヤ人なのです。たつた六十萬

人位、全人口の百分の一にも足りないのですが、ユダヤ人はいろ〳〵な方面に力をもつてゐたので、簡單に片附けてしまふことが出來ませんでした。しかしナチスとユダヤ人は決して仲よくなれないのです。それはユダヤ人の考へてゐることと、ナチスの考へてゐることとがまるで反對だからで、今までもヒツトラーがユダヤ人とどんなにたたかつて來たかを思ひ出して見ればよくわかるでせう。

もう一つドイツ民族について大きな問題が殘つてゐます。それはドイツ國外にあるドイツ人の問題です。世界大戰の結果、六萬五千方粁土地が失はれたのと一しよに、そこに住んでゐた六百萬人に近いドイツ人が、他國へつれて行かれました。この中ザール地方だけはドイツにもどつて來ましたが、チエツコ・スロバキアには三百萬人、フランスに百六十萬人、ポーランドに五十八萬人、その他イタリア、リトアニア、ハンガリー、ベルギー、ユーゴー・スラビア、デンマーク等にも住んでゐるのです。この外國に支配されてゐるドイツ人はいつもその國からいぢめられてゐるので、ドイツ

本國の方では何とかして、さういふドイツ人を救つてやりたいと考へてゐるのです。けれどもそのためには、そのドイツ人の住んでゐる土地も一しよに、ドイツへかへして貰はねばなりません。これはせつかく土地をとつたり貰つたりした國々にとつてはいやなことで、そこにいろ／＼とごた／＼が起る心配があります。殊に一番たくさんドイツ人の住んでゐるチエッコ・スロバキアとの間がどうなるか今世界の目がそこに向けられてゐます。この國に住んでゐる三百萬人のドイツ人は、大ドイツへかへりたがつてゐるし、ドイツとしてはかへつて貰ひたい、しかしチエッコ・スロバキアや、ドイツの大きくなることをいやがるフランスなどにとつては、そのドイツ人が大ドイツとして一しよになることを、決して喜んでゐないのはあたりまへのことです。殊にその地方は世界で最も鑛業や工業の盛な大切な地方なのですから倘更です。ザールを取りもどし、オーストリアを合併したナチスドイツが、この次にはどこをねらつてゐるでせうか、ヨーロッパのあらしはチエッコ・スロバキアのドイツ人問題から起りは

せぬかと、びく／＼してゐる國は決して少くはないでせう。抑へても抑へてもぐん／＼伸びて行くドイツ民族、世界大戰でひどくたゝきつけられて、もう二度と起き上がれないのかと思つたら、たつた二十五年で、今日のやうにつよくなつたドイツ國民のえらさは、今までのお話でよくわかつたと思ひますが、尙少しドイツ人とはどんな國民か、その國民性をお話いたしませう。

國民性

一體どこの國民にも國民性といふのがあります。日本人には日本人としての國民性があるし、支那人には支那人としての國民性があります。この國民性といふのは急に出來上つたものではなくて、その國の自然とその國の歷史によつて長い間に養はれて來たものなのです。たとへば支那のやうな大陸國に育つて、昔からたび／＼革命が行はれ、國がかはつたやうなところに住んでゐる人々は、どんな國民性を持つてゐるか日本人とは非常にちがつてゐることが考へられるでせう。だから支那人とつき合つた

り支那人と一しよに仕事をするやうな場合には、よく支那人の國民性をのみこんでかからなければなりません。

それではドイツ人の國民性はといふと、やはりドイツの自然によつて養はれて來たことはいふまでもありません。ヨーロッパを大きく三つに分けると、南部の方は氣候もいいし自然に惠まれてゐますから、そこに住む人たちはひとりでに陽氣な性質でありますが、どちらかといへば、ぢつと堪へしのぶところが缺けてゐます。フランス、イタリア、スペインといふやうな國々の國民がそれです。これとは反對に北の方は、年中陰氣な自然の中にとぢこめられてゐますから、どうしても辛抱強いかはりにのろまな人間になり易いのです。ロシヤ人がこのよい見本です。このちようど中程にあるのがドイツですから、その國民性もほぼ考へられるでせう。

ドイツの自然も南部のやうに明るくはなく、重くるしい空氣の中に育てられて來ましたから、南ヨーロッパの國民のやうに物事をすばやく感じるといふ方でなく、のろ

い方であるが、その代り辛抱強いことはおどろくばかりです。おそいけれどもたしかな性質、さとり方がのろくてもわかるまでしらべて行く辛抱と根氣で、どんな困難にぶつかつてもやり通すまでは決して後へは退かないといふやうなところから、一つの學問をあくまで研究してそれをなしとげるのです。そこから世界に誇るドイツの科學や哲學が生れたのです。

ドイツ人が正確を愛する、きちやうめんな性質は、他のヨーロッパ人には見られないところで、それはベルリンの街を見、ドイツの汽車や電車に乘つて見るとすぐわかることとです。

今日本で堅忍持久といふことがよくいはれてゐるが、ドイツ人はその國民性が堅忍持久で・不撓不屈の精神をもつてゐます。これがドイツ魂といふものです。ヒットラーを見ても、これまで話したビスマルクやヴエートーベンを見てもよくわかるでせう。忠勇、勇敢、規律、勤勞といふやうなドイツ魂があればこそ、世界大戰に食ふものが

ないまでになつても、尙よくその國を守ることが出來たのです。そして今ナチスの新しいドイツが、大ドイツ建設のためにいろ〳〵な困難に打ち克ちつつ、國民が一致團結して進んでゐる有樣は實にめざましいものであります。ここにドイツの國民性を示す面白いお話を二つ三ついたしませう。

二萬圓と五十圓

古い話ですが世界大戰の前、日本のある工場で働いてゐるドイツの技師がありました。この技師は會社から一年二萬圓を貰つてゐたのですから、大臣よりも多い俸給であるのに、小さい家に住んで、一ケ月五十圓位の生活をしてゐました。一ケ月五十圓だと一年に六百圓ですから、二萬圓の給料は大部分殘るわけです。あまりけちん坊なので、笑つたり惡口いふものが多かつたが、ドイツ人技師は何といはれても何と笑はれても、平氣でやはり細い生活をつづけてゐました。そこへ世界大戰が起つて、ドイツは世界を敵としてたたかふことになりました。するとそのドイツ人技師は、今まで

ためておいた金を惜しげもなくみんな國家へ寄附してしまひました。笑つた人々も始めてドイツ人のえらさがわかつたといふことであります。

一枚の荷札

或る日本人がベルリンからハンブルグに旅行して、驛に着くとすぐ手荷物を受取りに行きましたら、その荷物につけてある荷札が何回も使つたらしいものなので、驛員がその荷札をとつたとき、

「一寸それを見せて下さい。」

といひますと、驛員は變な顏をしながら、その荷札を日本人の目の前にさし出しました。手にとつて見るともう八回目の使用で、小さい紙ぎれに番號を書いてはりつけるやうにしてゐます。荷札の値段は知れたものですが、この小さい荷札を何回も何回も使用することだけで、ドイツ人のえらさがはつきり分つたやうな氣がしたのです。

防空演習

又或る日本人がドイツの田舍の町へ行つたときのことでしたが、そこでちようど防空演習をやつてゐたので、その人も見に行きました。ところがこれはどうしたことでせう。老人や女の人や子供たちだけが出てゐて、肝腎の若い人たちが出てゐないのです。ふしぎに思つたから一人の女の人に、

「もし〳〵、今夜は若い男の人が見えませんが、どうしたのですか。」

と尋ねたら

「休んでゐます。」

と答へたのでいよ〳〵驚きました。

「どうして大切な演習に若い男が出ないのです、あなた方だけではうまく出來ますまい。」

と又きいたら、その女の人がかへつてふしぎさうな顏をして、

「若い人が出ないのはあたりまへですよ。」
「どうしてです。」
「だつてこれは演習ですけれども、いざといふときの用意でせう。さあ戰爭のといふとき、若い男の人たちは皆戰場に送られます。そこへ敵の空襲を受けたとしたら、若い男の人がゐないから防空が出來ませんといつてゐられますか。ですから日頃から若い男の手を借りないでも、銃後をしつかり護れるやうに訓練してゐるのです。わざと若い男の人たちに出ていただかないのです。」
かういはれたとき、その日本人は思はず「えらいな」と心の中で叫びました。日本でもぜひかういふやうになりたいものです。僕は子供だから何も出來ない、私は女の子だから何も出來ないなどど考へたら大間違ひです。いざといふときは、日本の子供だけでも銃後をしつかり守れるやうにしなければなりません。
このえらいドイツ人の國と、私たちの日本とは防共協定によつてしつかりと手を握

り合ふことになりましたが、今までは日本とドイツとどんな關係であつたのでせう。

十九　日本とドイツ

ドイツ人はいつ來たか

九段の靖國神社に參拜して、そのそばにある遊就館に入ると、そこにはいろ〳〵な昔からの武器がならんでゐますが、その中に德川三代將軍の頃に造られた臼砲が發見することが出來ませう。この臼砲は日本にはじめて來たドイツ人のブラウンといふ鑄物師が、平戶(長崎縣)で日本人のために造つた臼砲の一つなのです。

その頃はまだプロシヤのフレデリツク大王が出ない前で、ドイツの國力は他の國々にくらべてずつと劣つてゐました。本國は小さくともオランダが盛に東洋に手を伸ばしてゐたのでした。そのオランダが東洋に東印度會社を設けて活動してゐましたが、德川時代に他の國には禁じられたのに、オランダだけは日本にもやつて來ました。そ

の頃來たドイツ人といふのは、すべてこの東印度會社にやとはれた人だけで、日本とドイツとが國としてはおつきあひしてゐなかつたのでした。

ブラウンの造つた古い大臼砲は、彈丸を千米位も飛すことが出來たので、日本人は大いに喜び、たくさんのお金と二枚の絹の着物を與へたばかりでなく、身分の高い人のやうに馬や駕に乘ることを許したと傳へられてゐます。昭和十年にはこの大臼砲の模型が造られて、ドイツのウルム市におくられ、日本とドイツとの交際の記念となつてゐます。

ブラウンの後にもドイツ人は十數人日本にやつて來ましたが、商人と醫師だけでした。來たのはたつた十數人に過ぎませんが、その人たちはドイツ國民の偉大なことを深く日本人の心に刻みつけました。殊にシーボルトとケンペルといふ二人の醫者の名は、いつまでも日本國民から忘れられません。ケンペルは二囘江戸に上つて鋭い目で日本を研究しました。シーボルトの來たのは一八二三年(十一代將軍家齊時代)で、

長崎に住んでゐましたが、その頃日本の地圖を手に入れたといふことを怪しまれて、三十年間日本を立ち退くことを命ぜられました。一八五八年(安政五年)再び老人になつてからやつて來ましたが、今度は日本人は心から迎へました。しかし他の外國人たちに除け者にされて又ドイツへかへらねばなりませんでした。

その頃ドイツでは聯邦の中でプロシヤが非常に盛んになつた時代で、他の國々が日本とそれ〴〵修好條約を結ぶことに成功したのを見て、プロシヤも徳川幕府と條約を結ぶために、オイレンブルク伯爵を日本に派遣して來ました。オイレンブルク伯は非常に苦心の末、日本とプロシヤとの間に條約を結ぶことが出來て、今の東京芝公園近くに住んでゐました。

何しろ外國人が日本の建物に住むのですから不自由なことでしたが、ただひとり喜んだものがありました。それは何だつたでせう。船に乘せて來たドイツ山羊だつたのです。山羊は船の中で鋸屑ばかり食べさせられましたから、陸に上つてから青草を

食べさせてやらうとすると、その方は見向きもせず、おうちの窓の方へ首を伸ばしました。窓には大好物の紙を張つた障子がはまつてゐたのです。山羊のお蔭で窓がみんな破られて寒くて仕方がないので、とても山羊は飼つておけないと、或日本人にやつたところが、山羊君又そのうちの障子もみんな平げてしまつたといふことです。

忘れられぬ人々

日本にはその頃尊王攘夷の論がやかましく、天下はさわがしかつたのですが、幕府は安政六年長崎と横濱とを開港することになりました。するとドイツ人と――いつてもその頃はまだプロシヤ人と稱したものですが、日本にやつて來ました。多數のドイツ人は長崎よりも横濱の方が見込みがあると考へたのでせう、横濱には文久元年頃からドイツ人の店がだん〳〵出來て來ました。しかし他の國々にくらべるとずつと少かつたやうです。

その後外交官や學者などが次々とまゐりましたが、大ていの人は日本にゐる期間が

短かく、充分日本の研究することが出來ませんでした。しかし地理學者のライン、天文學者クニツピンク、動物學者ヒルゲルドルフ、法律學者ワイペルト、レエーンホルムミハエリス、モツセや日本の醫學發達の恩人ミユーレル、ホフマン、シユルツエ、スクリーバ、ベルツ等の名は忘れることが出來ません。

日本陸軍とドイツとの關係は非常に深いもので、家光時代に來て臼砲を造つて日本人を驚かせたブラウンは別として、日本の開國が行はれて間もなく、まだ大名たちがめい／＼その領地を支配してゐた頃、紀州の殿樣はドイツの曹長ケツペンとその部下に兵隊を養成させて五千人の軍隊をもつてゐました。

その後明治五年、日本に徴兵制度が布かれてからも、ドイツ陸軍の指揮官が日本に招かれて來ました。その中でも最も有名なのは、その頃少佐であつた陸軍少將メツケルで、その日本陸軍につくした功績が、どんなに大きかつたかは、その碑が日本に建てられてゐることでもわかるでせう。この碑は日露戰爭に勝つたのはメツケルの力に

負ふことが多いといふ感謝のしるしでした。實際日本の陸軍はドイツに學んだことがなか〳〵多かつたのです。
次に日本に大きな足跡を殘した人に哲學者フロレンツを初め、ベルリン大學の東洋語の先生となつたランゲや、五十年餘も日本にゐたハンブルグ大學の先生グンデルト、ベルリン大學のトラウツやボーネル、ユーバーシャル博士等は、みな日本のよい友であります。
日本の音樂もドイツの敎を受けることが多く、日本の音樂學校にはドイツの先生がゐることが普通で、エクハルト、ユンケル、ベツオルト夫人等の名は、日本音樂の恩人として忘れてはならない人々です。
その他建築家デラーラント、機械技師ワグネル、レーマン、麥酒技師ヘツケルト、アイヘルベルク等も日本の文明を進める上に大きな功績のあつた人々で、明治時代の日本の進歩につくしたドイツ人は決して少くはありません。今日本に建てられてゐる

ブラント、ミューラー、スクリーバ、ベルツ、レーマン、それからさつきいつたメッケル少將等の記念碑は永久に日本とドイツを結ぶ礎となるでありませう。

國と國

日本とドイツが外交の舞臺で出合つたのはそんなに古いことではなく、日清戰爭後の三國干渉のときからです。日本は明治二十七八年清國と戰つてこれに勝ち、遼東半島、臺灣、澎湖島を得ましたが、ドイツ、フランス、ロシヤの三國が、日本が遼東半島をもつてゐることは東洋平和をみだすもとであるから、清國へかへすやうにとすすめて來ました。かういふといかにもやさしいやうですが、もしそれをきかなければ三國が相手になつてやるといふおどし文句ですから、日本も戰爭のあとではあるし、相手が世界の三大强國ですから、おとなしく遼東半島を支那にかへしてしまつたのです。これが三國干渉で日本としてはどれほど殘念であつたか知れません。

ところが日本に遼東半島をかへさせたロシヤはそれを恩に着せて、その頃清國の一

部であつた滿洲に手をのばし、朝鮮までも危くなつて來ましたので、日本はだまつてをれず、明治三十七八年の日露戰爭となり、日本はロシヤを滿洲から追ひ拂つてしまひました。

日淸戰爭の頃、ドイツは長年の望みであつた帝國が建設せられ、カイゼルと呼ばれたウイルヘルム二世が皇帝となつて、國内をよく治めるとともに、海軍の大擴張を行ひ、世界に雄飛しようといふ野心を抱いてゐた矢先、まさかと思つた淸國が日本に負けたので、フランス、ロシヤとともに日本に干涉し、淸國に恩を賣つておいて、明治三十一年淸國から靑島をうばひ取りました。それからイギリスは威海衞を、フランスは廣州灣を淸國から租借したことは誰もよく知つてゐるでせう。

それから十年間は日本とドイツとの間には何の問題も起らなかつたのですが、世界大戰が起るに及び、日本は日英同盟によつてドイツに宣戰して靑島を攻め、ドイツの東洋根據地をくつがへしたのです。大戰が終つてから日本はドイツ領であつた南洋群

島を委任統治することになりました。

その後日本とドイツとの間には、外交上に全く問題はなく、ただ學問文化では益々密接な關係をつづけ、大學生を交換することなど絶えずつづけられてゐました。その間に兩國民にとつてうれしい思出となるのは、ツエペリン號が日本に飛んで來たことと、第十一回のオリツピツク大會がベルリンで開かれたことでした。

昭和五年日本の空にすばらしいお客樣が來た。それはエツケナー博士の指揮するツエペリン飛行船フリードリツヒ、ハーフエンが世界一周の際東京の空に現れ、霞ケ浦に着陸したのだ。そのとき日本の人々はこの空の珍しい大きなお客を見てどんなに驚きの目を見張つたことでせう。そしてどんなにか心からこの空のお客を迎へたことでせう。

ベルリンに第十一回オリンピツク大會が開かれたのは昭和十一年のことで、この大會で日本とドイツとの關係は運動を通じて固く結ばれ、次の第十三回大會を日本で

開くことについてもドイツでは非常に骨を折つてくれました、その大會は支那事變のために中止にはなりましたが、ドイツの親切は忘れられないのです。

防共協定は何故出來たか

かうして日本とドイツはだん〳〵仲よくなつて來たのですが、その深い兩國の關係が更に更に密接となり、東京とベルリンとが強く結ばれたのは、昭和十一年十二月二十五日の日獨防共協定であります。

日獨防共協定は何故生れたのでせうか。そのわけはかうなのです。

日本はいふまでもなく萬世ゆるぎなき尊い國體を誇り、益々國威を輝かし、進んで東洋永遠の平和をかためようとするのですが、この日本の使命を妨げようとしてゐる一番にくむべき敵は共産主義なのです。一方ドイツは久しくベルサイユ條約によつて抑へつけられてゐた上に　擧國一致を妨げようとする共産黨になやまされて來ましたが、昭和三年ヒツトラーの政權が成立するとともに、共産主義のユダヤ人を國外に追

ドイツの少女

ひ拂ひました。

かやうに日本とドイツはともに共産主義をたたきつぶさうとする目的に向つて進んで來たが、しつこい共産主義の害を取りつくすことはなか〱容易ではないので、日本ドイツの兩國が互に力を合せて、效果をあげようとして成立したのが、日獨防共協定なのであります。

ヒツトラーは「共産主義といふのは肺結核のバイキンのやうなものである。」といつてゐます。人間に病氣があるやうに國家にも病氣があります。その病氣には

ものもあれば、結核のやうにそろ〳〵と襲つて來るものもあります。ペストは物すごい勢で押しよせて來て人々に怖がられますが、結核は人の氣づかないうちに人間の命を奪つてしまひます。人間はペストに對しては全力をつくしてたたかひますが、結核に對しては油斷し勝ちであります。國家でいへばペストは外敵であり、結核は國民の心をくさらせる共産主義の思想です。この恐るべき國家の結核菌が氣づかないうちに世界各國を襲ひかからうとしてゐます。この結核菌を一匹も入れないやうにと、日本とドイツが防共協定を結んだのです。

支那事變とドイツ

一方ヨーロッパではドイツとイタリアの仲が益々よくなつて、兩國は昭和十一年十月二十四日、しつかりと手を握り合ふやうになつたので、自然日本とイタリアとも近づきになり、昭和十二年十二月六日、イタリアも日獨防共協定に仲間入りをするやうになりました。

これより前七月七日の蘆溝橋事件から全支那に燃えひろがつた支那事變は、支那の蔣介石國民政府が長年排日抗日の種を蒔いて來たその結果であつて、國民政府の惡いことはわかりきつたことであるのに、列國は日本に味方するよりは支那に味方するものの方が多い有樣です、これはいろ〳〵なわけがありますが、列國が今まで支那で持つてゐた利益を日本にとられてしまひはせぬかといふつまらぬ心配もその一つのわけであります。

支那は自分の方の惡いことを棚にあげ、何とかして列國の力で日本を抑へつけて貰はうと思つて、國際聯盟に訴へて出ました。そこで十二年の十月から十一月にかけてベルギーの首府ブリユツセルで、九ケ國會議といふ會議を開いて、日本と支那との爭ひの始末をつけようとしたのです。頭から支那ばかりをひいきにするのですから、日本がこの會議に出なかつたのがあたりまへですが、日本と兄弟分のドイツも、日本の正しいことに味方してさそはれても會議に出ず、まだ防共協定は結んでゐなかつたが

イタリアも日本の助太刀をしたので、會議は開いたがめちや〳〵になつてしまひました。その上この會議中に日、獨、伊三國の防共協定が成立したのだから、支那ばかりでなく世界中がびつくりしたのも無理はありません。

これだけでドイツとイタリアが、日本の正しいことをよく理解して、日本の力強い味方であることがよくわかるでせうが、殊にドイツは支那に二億數千萬圓といふ經濟上の權益をもつてゐるのもすてて、どこまでも防共協定の約束を果さうとしてゐます。近頃支那軍を指導してゐたドイツ人の顧問も、ヒツトラーの命によつてみんな引き上げてしまつたのです。それでは防共といふことと支那事變とがどんな關係があるのでせうか。

ヒツトラーと日本

日本は支那の蔣介石政府を打ち倒して、新しく生れた親日の政府と手をとり合つて東洋平和をしつかりかためようとしてゐるのでありますが、その蔣介石政府のかげに

支那は共産黨におどらされてゐるやうなもので、表面におどつてゐるのは支那といふ男ですが、そのかげで共産黨がうまく支那男をあやつつてゐるのです。だから日本は支那とたゝかつてゐるとともに、共産黨とたたかつてゐるのです。

この共産黨を防がうといふのが防共協定ですから、ドイツが蔣介石政權を倒さうとする日本に味方することが成程と合點がいくでせう。

ドイツが日本に味方するといふことは、ナチスドイツの總統ヒットラーが、日本に對して非常に好意をよせてゐるといふことです。ヒットラーが日本に對して持つてゐる氣持は想像以上に眞劍なものです。それは今度の支那事變で、ドイツが心から日本に同情し、自分の國の經濟上の利益をすてても、日本を援助してゐることでもわかるでせう。

ヒットラーが日本びいきであるのは今急に始まつたことではないらしい。昭和十一

年日獨防共協定が成立した日、我が武者小路大使の手をしつかりにぎつたヒツトラーは、

「人間の一生の中には嬉しいといふ日はそんなに度々あるものではないが、今日はそのめつたにない嬉しい日である。これは私が三十年前から抱いてゐた夢がほんとうになつたのです。日露戰爭のとき私はまだ十五の少年でありましたが、日本海でロシヤのバルチツク艦隊が、東郷提督の艦隊に撃滅されたといふ報道を聞いたとき、私の目から思はず涙がにじみ出ました。その頃から私は、將來世界の中心となるものは、日本とドイツであると思つてゐたのです。」

と喜んださうでありますが、今その日本とドイツがしつかり手を結び合つたのです。そこへイタリーも加はつて防共三兄弟が出來上りました。それに滿洲國はもと〳〵日本と兄弟分であり、新しい支那の政府も、スペインもハンガリーも又防共の仲間に入り、みんな力を合せて恐ろしい共產主義といふ惡魔の手から世界を救はうとしてゐる

のです。この防共の最も力強い兄弟國ドイツは、ヒットラー總統の下にすばらしい勢で進みつつあります。

皆さん、もう一度ヒットラーのいつた言葉を思ひ出して下さい。

「その頃から私は將來世界の中心となるものは日本とドイツだと思つてゐました。」

と。

果してこれからの世界の中心は日本とドイツでせうか、或はイタリーでせうか、アメリカでせうか、それともその他の國でありませうか、それはその國の國民が一致團結して、その國のためにつくすかどうかによつてきまるのです。

次の日本を受けつぐ皆さんは、日本の子供として恥づかしくないやうにしつかりやつてもらひたいと思ひます。

ドイツ物語 終

昭和十三年十月十五日　印刷
昭和十三年十月二十日　發行

定價金壹圓
郵送料金拾錢

ドイツ物語
奥付

著者　櫻葉勇
東京市四谷區新宿一丁目八十八番地
發行者　北村幸雄
東京市四谷區本村町四番地
印刷者　鈴木芳太郎

發行所
東京市四谷區新宿一の八八
振替口座東京二七一三〇番
合資會社　三友社
電話四谷(35)三三一一番

東京・三友社印刷・四谷